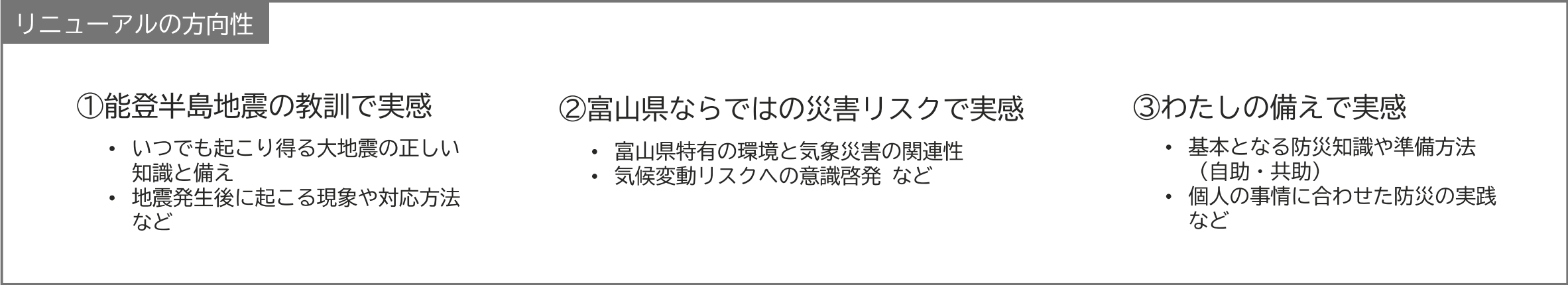
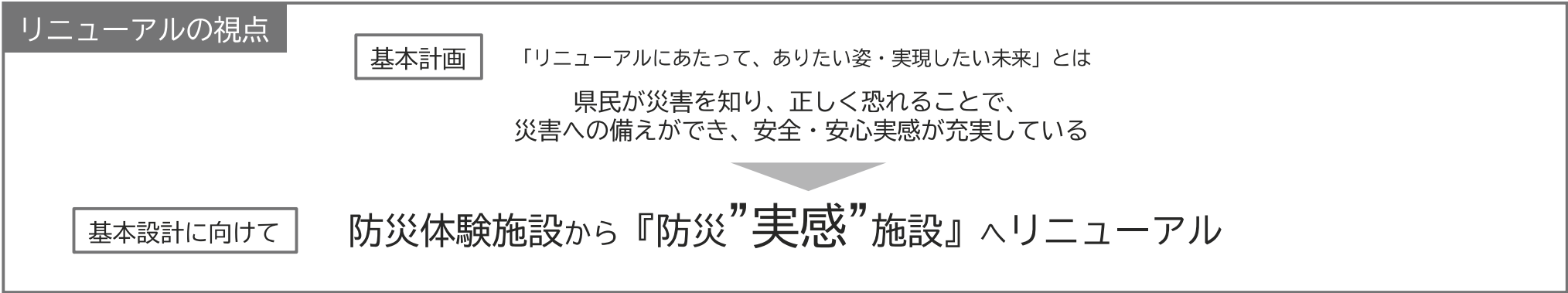
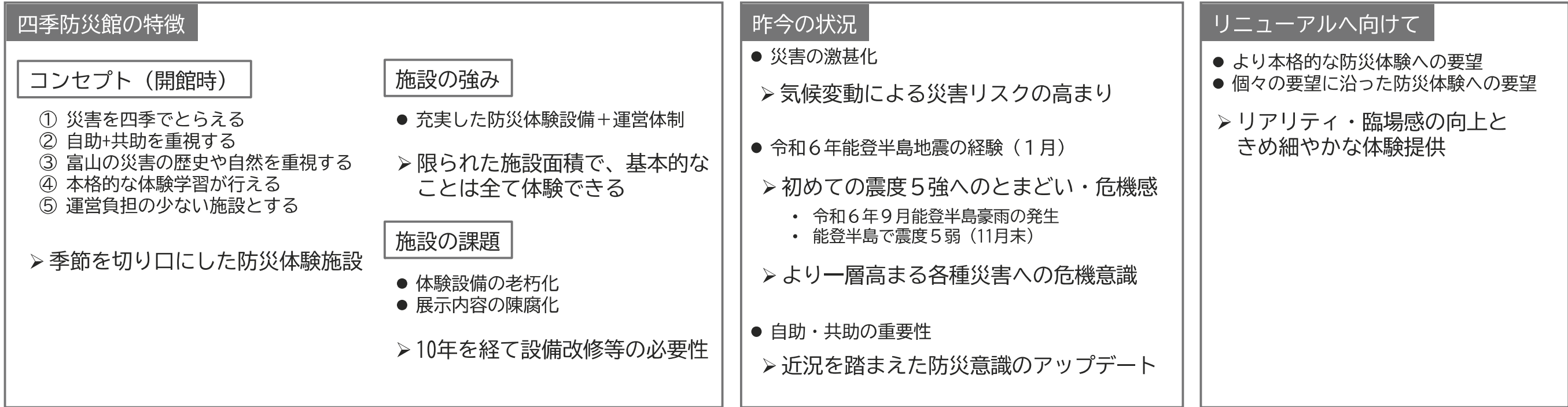


令和 7 年
四季防災館展示リニューアル
＜基本設計図＞

目次

<基本設計図>		
1	表紙	-
2	目次	-
3	基本図：リニューアル方針	基01-基02
4	基本図：ゾーニング図	基03-基05
5	基本図：コーナー詳細図	基06-基07
6	基本図：来館者のコース案内例	基08
7	意匠図：解体図	解01-解03
8	意匠図：平面・展開図	意01-意18
9	備品図	備01
10	グラフィック図	グ01-グ14
11	映像コンテンツ/機器	映01-映06
12	演出システム図	演01
13	電気図	電01-電03
14	全館共通：システム更新・オーバーホール	共01-共05



展示構成の考え方

『いつでも』『どこでも』『だれにでも』の視点で館をつなぎ、防災を自分ごと化することで”実感”に引き上げる

1. 防災の実感につながる「いつでも/どこでも/だれにでも」フロアごとにねらいを明確化し、ポイントとなる焦点を定める

- 1階 『いつでも』 発生しうる地震災害と関連災害を理解するフロア
- 2階 『どこでも』 起こる災害の多様な状況と対応策を学ぶフロア
- 3階 『だれにでも』 役に立つ個々の備えを知るフロア

各フロアで防災の実感につながる展示・体験を展開する。

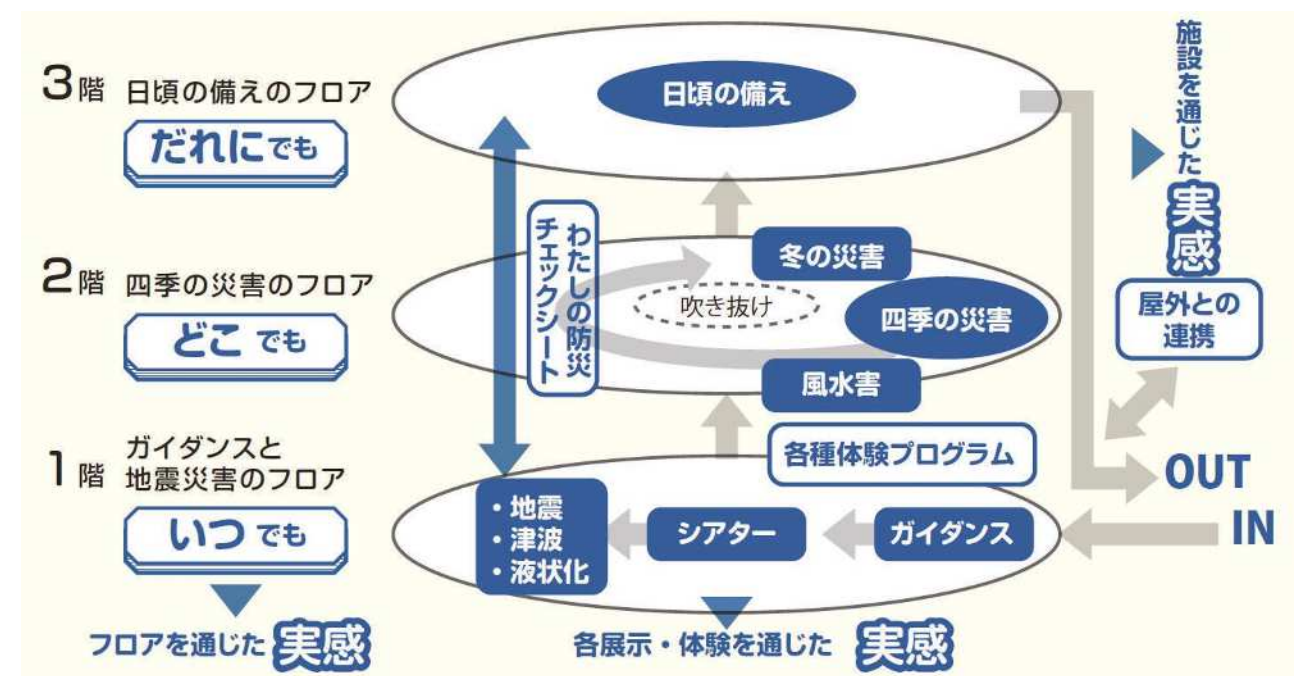
2. 各種体験や屋外連携で施設全体を活用し防災実感を創出

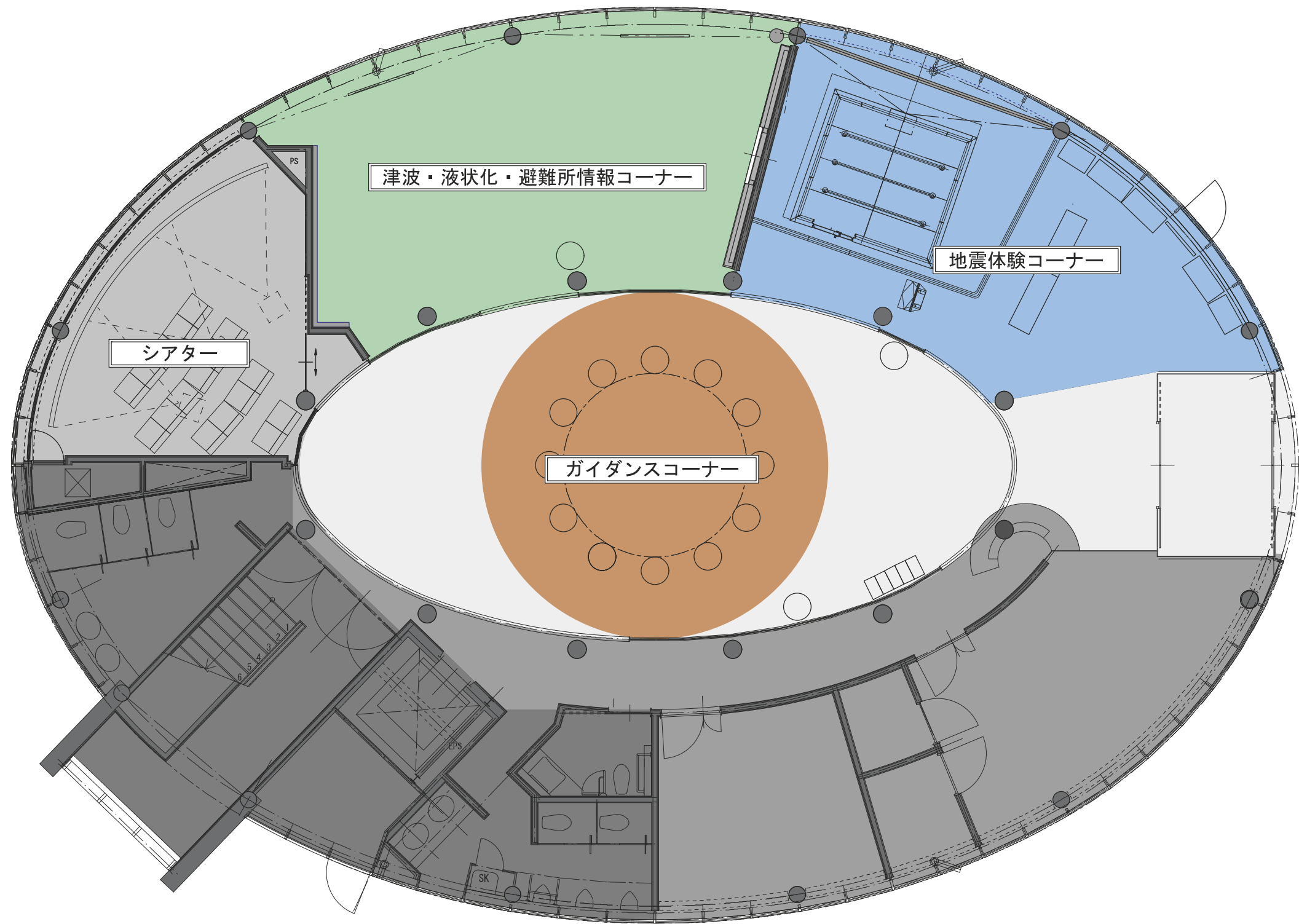
屋内外での連携した体験など、施設全体を通じてさらに充実した防災体験により、防災の大切さを実感してもらえる活動を展開する。

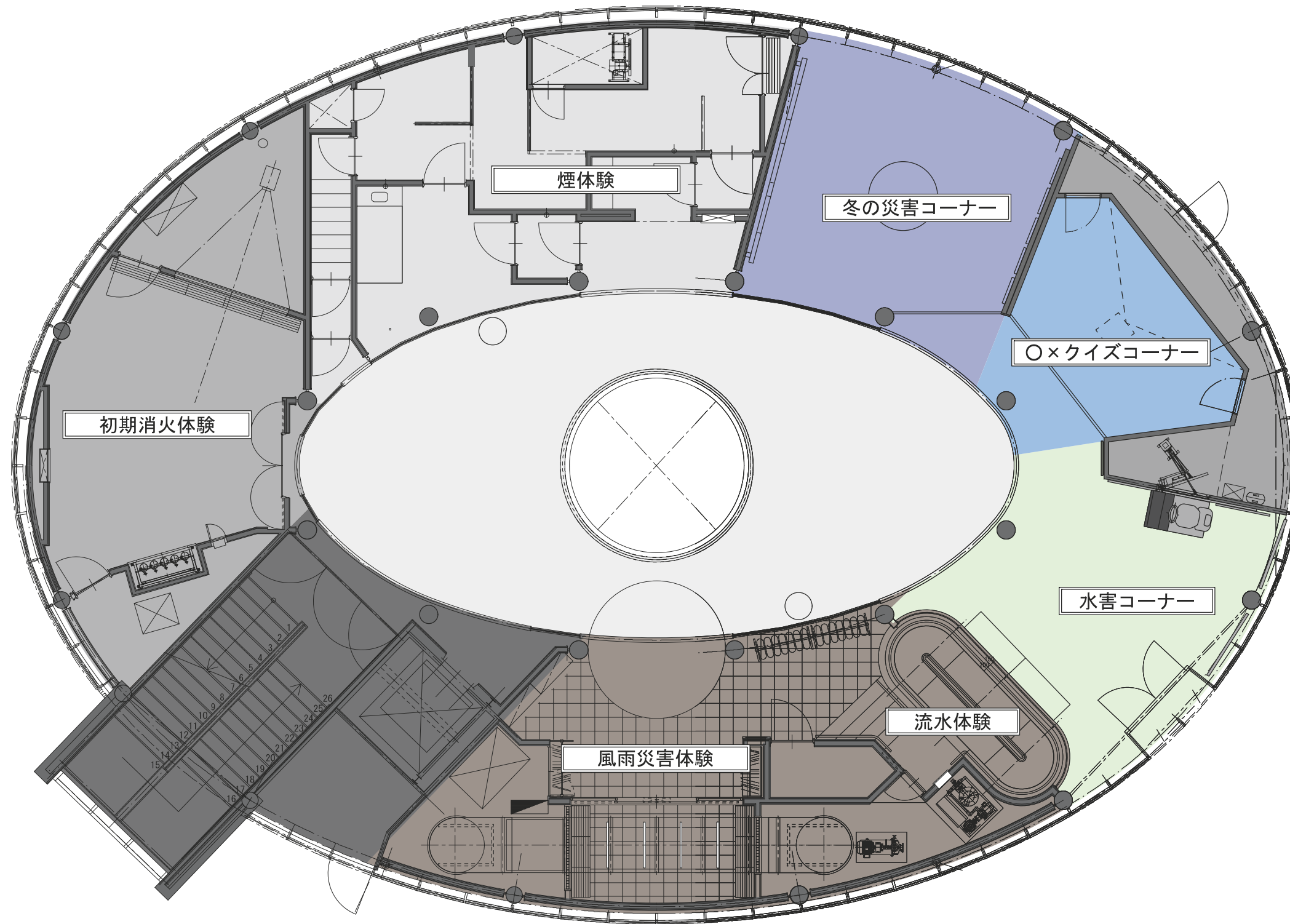
3. 防災を自分ごと化し実感する新ツールでフロアをつなぐ

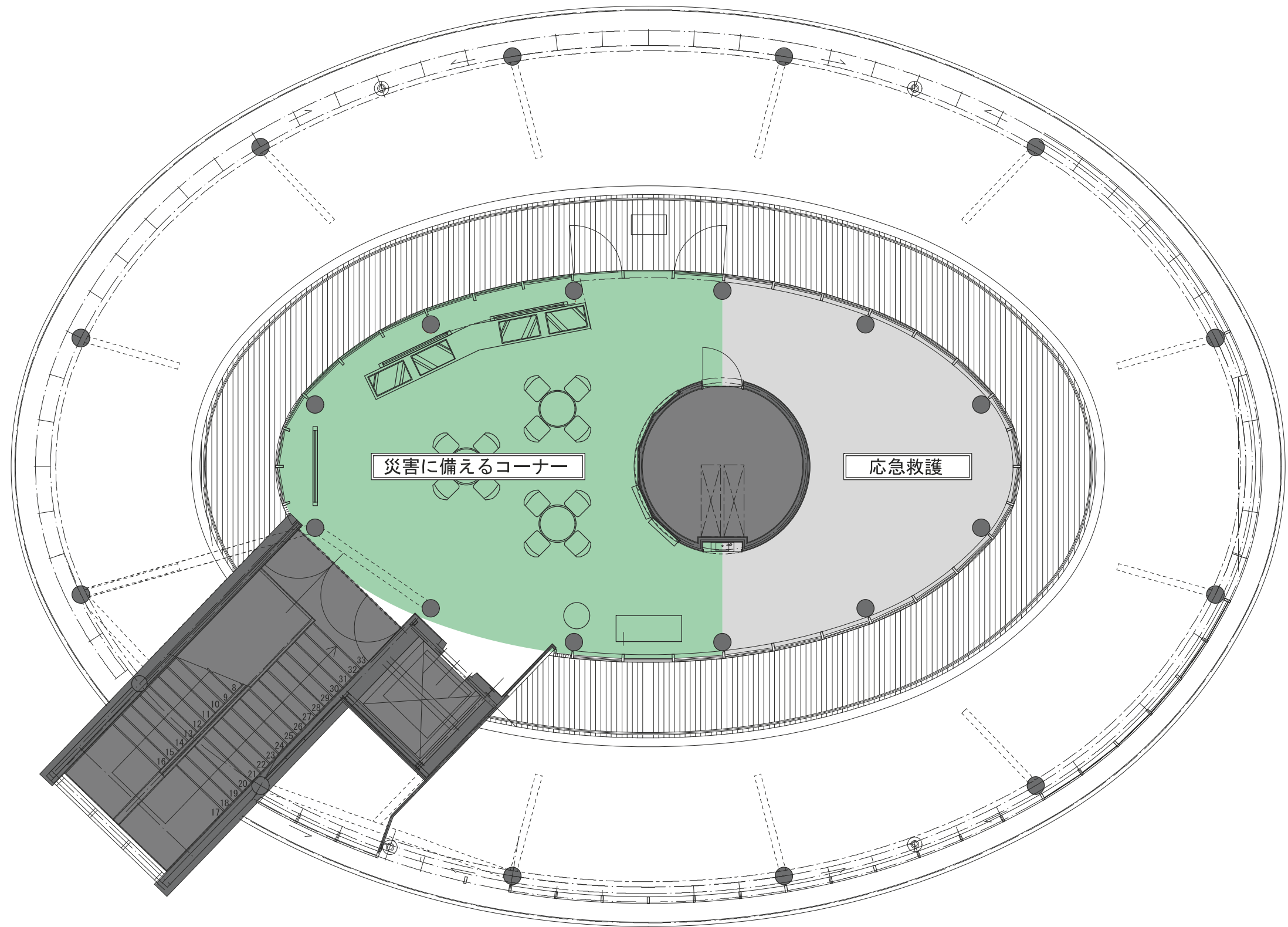
フロアをまたいで使えるワークシート「わたしの防災チェックシート」を新たに開発し、学びを家や学校に持ち帰る仕組みを導入。また、スタンプラリー等と組み合わせて楽しく体験ができるようにする。

概念図 展示体験・フロア・施設全体で”防災実感”を育む









MEMO

四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託

REVISION

TITLE

基本図

SUBJECTS

三階ゾーニング図

NO.

基-05

DRAWN

DESIGNED

CHECKED

DATE

2025. 04

SCALE

-

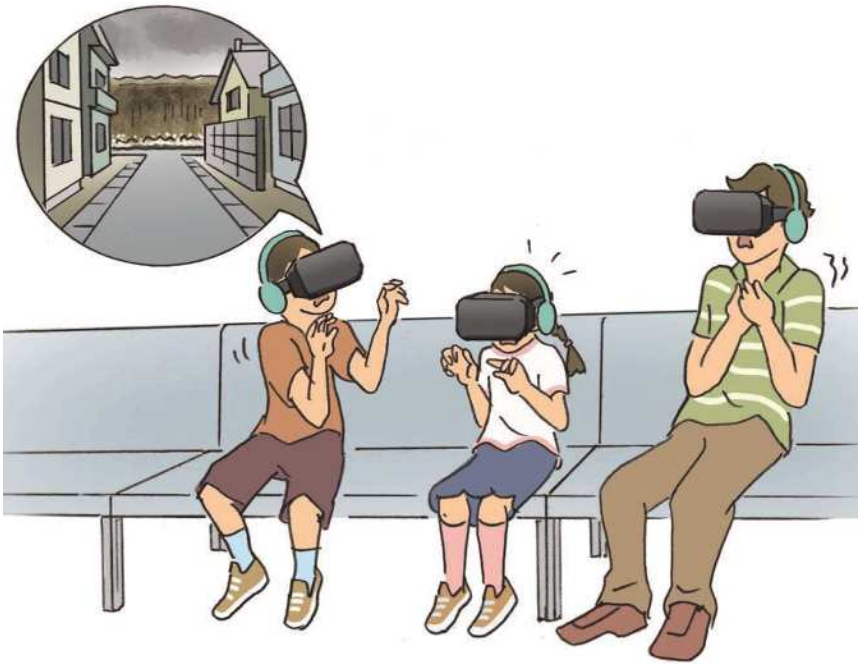
1F ガイダンスコーナー

防災の大切さを実感するため、心構えと目的意識をもって体験をスタートするコーナー。
見通しを良くし、溜まりスペースを確保するため、フラットな環境に改修した空間と床面映像で展開する。



1F シアター（VR）

地震後に発生する津波と豪雨災害の様子をVRゴーグルで体験するコーナー。
災害現場にいるかのようなリアリティある映像で、災害の恐ろしさを体感し、災害時の適切な行動の大切さを実感してもらう。



1F 地震体験

起震装置の新たな展開として、何気ない日常の暮らしが突然の激しい揺れに襲われ、避難を余儀なくされるまでをストーリー仕立てで演出する。
いつ来るかわからない地震を実感するとともに、揺れの後の避難や被害の拡大防止行動につなげる。



1F 津波・液状化・避難所・情報コーナー

地震後に起きる災害を扱う情報展示コーナー。
屋外や避難所の被災の様子を模した空間で津波や液状化の情報を展示するほか、地域の被害想定情報なども発信することで、いつ起きてもおかしくない地震への危機感を持ってもらう。



MEMO

四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託

REVISION

TITLE

基本図

DRAWN

DESIGNED

CHECKED

SUBJECTS

コーナー詳細-1

DATE

2025. 04

SCALE

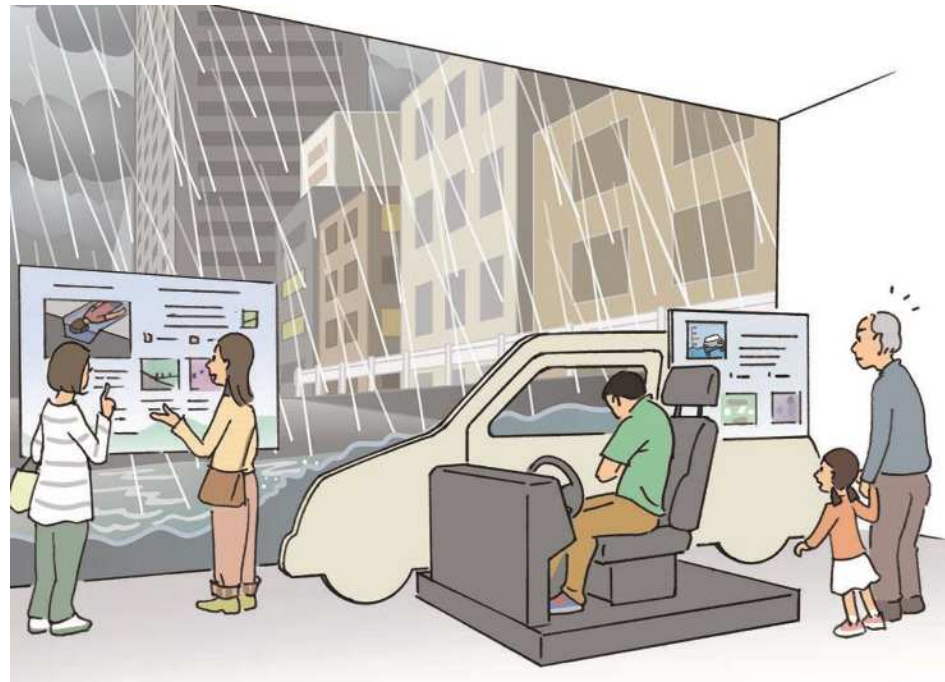
-

NO.

基-06

2F 水害コーナー

富山県で警戒すべき風水害について啓発するコーナー。
豪雨や台風時に遭遇する状況を想定し、自動車に乗った状態で水の重さを体験する水圧ドアを設置するほか、農業用水路事故の事例等を扱い、県民への注意を促す。



2F クイズコーナー

災害時、または発災前のシチュエーションを再現し、クイズを通して自分の取るべき行動を考えるコーナー。
災害につながる多様な状況と、その対処方法・ヒントを提供することで、どこにでもある災害リスクや、自分で判断する重要性を実感してもらう。



2F 冬の災害コーナー

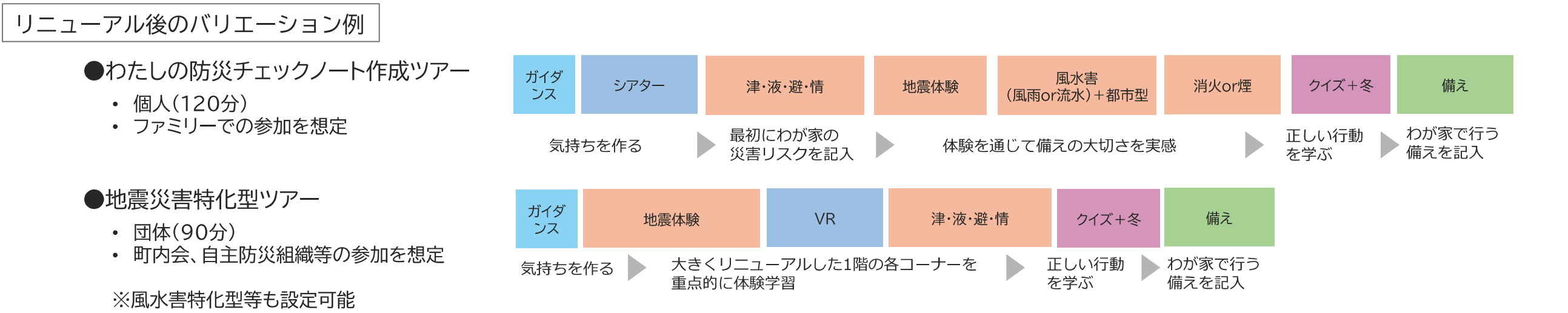
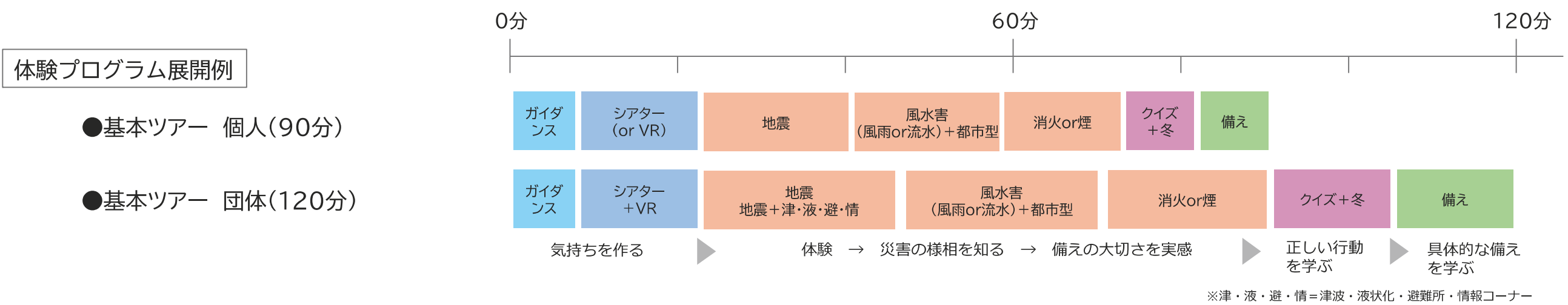
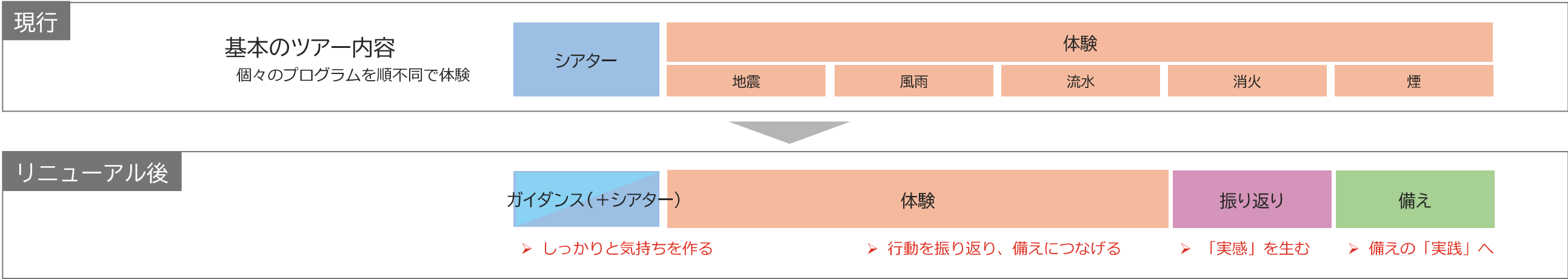
低温や降雪がもたらす富山県の冬の災害リスクにフォーカスし、市街地や郊外・山間部で起こりうる危険を一覧できる展示を展開する。また、過去に起こった大雪災害の状況や教訓を紹介する。

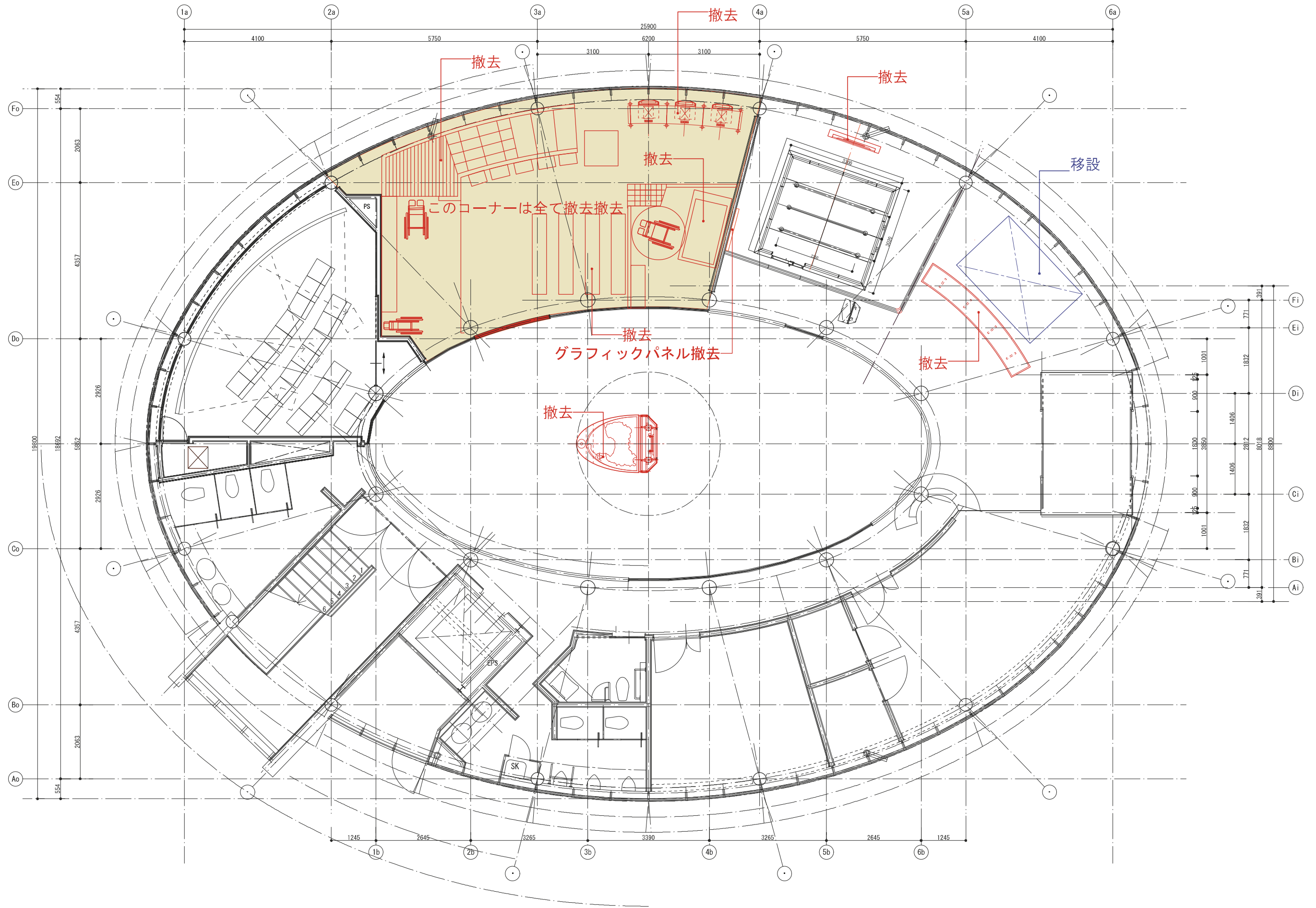


3F 災害に備えるコーナー

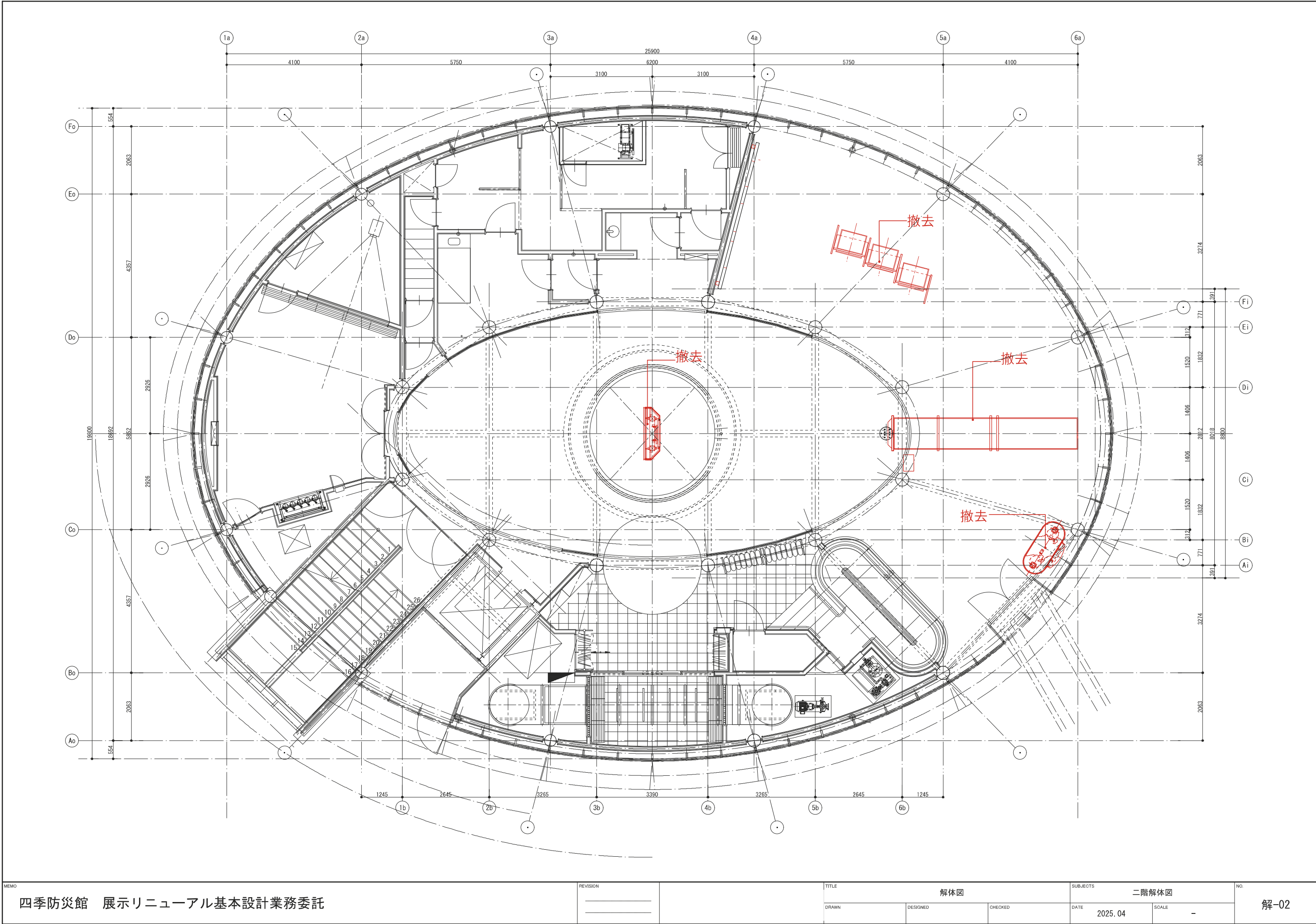
実物を活用して具体的で実践的な備えを発信するコーナー。
住宅の耐震化、家具固定など基本的な備えのほか、生活必需品の備蓄、非常持ち出し品の準備など、個人・家庭ごと多様な属性に応じた備えを知り実践につなげる。



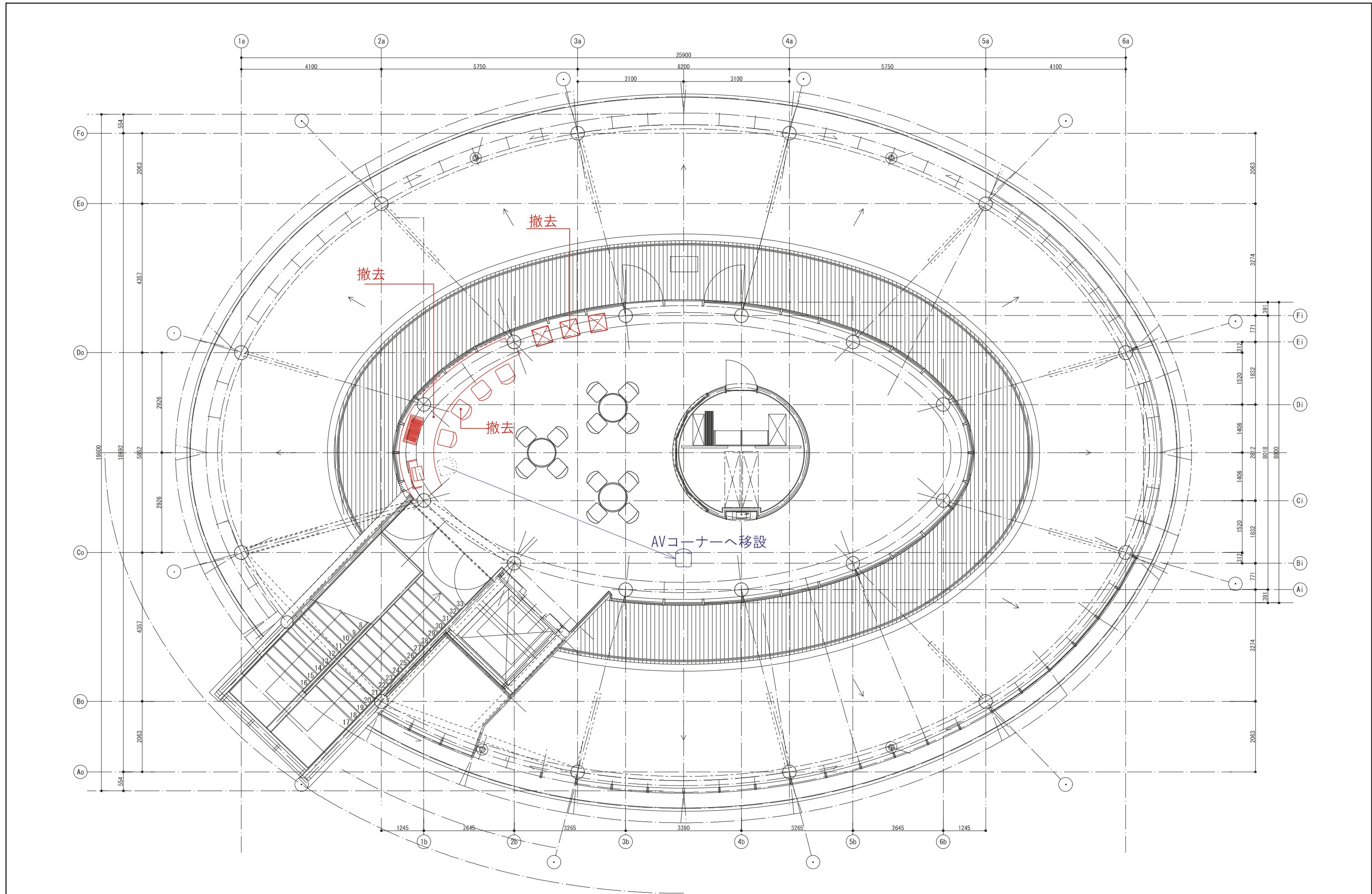


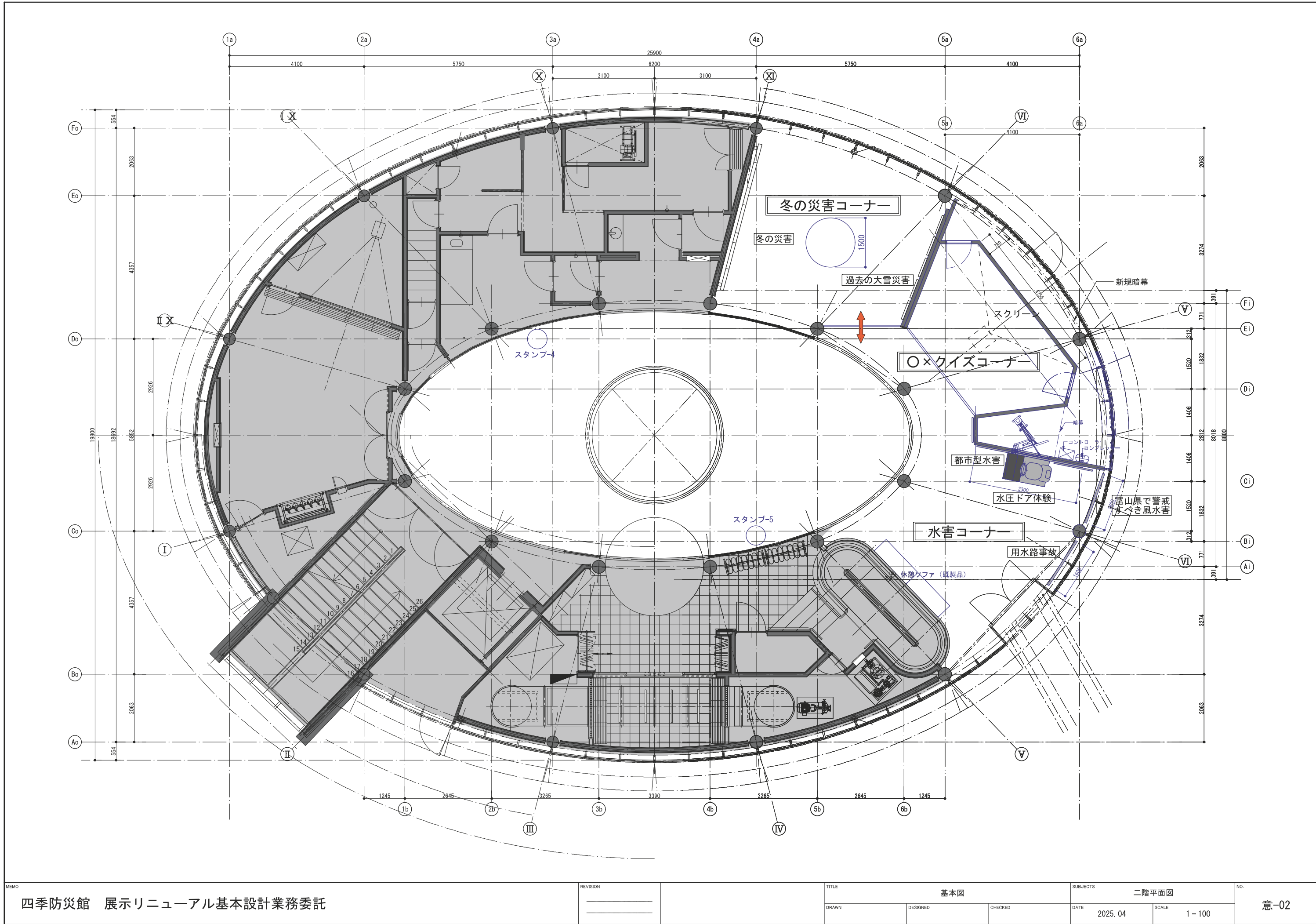


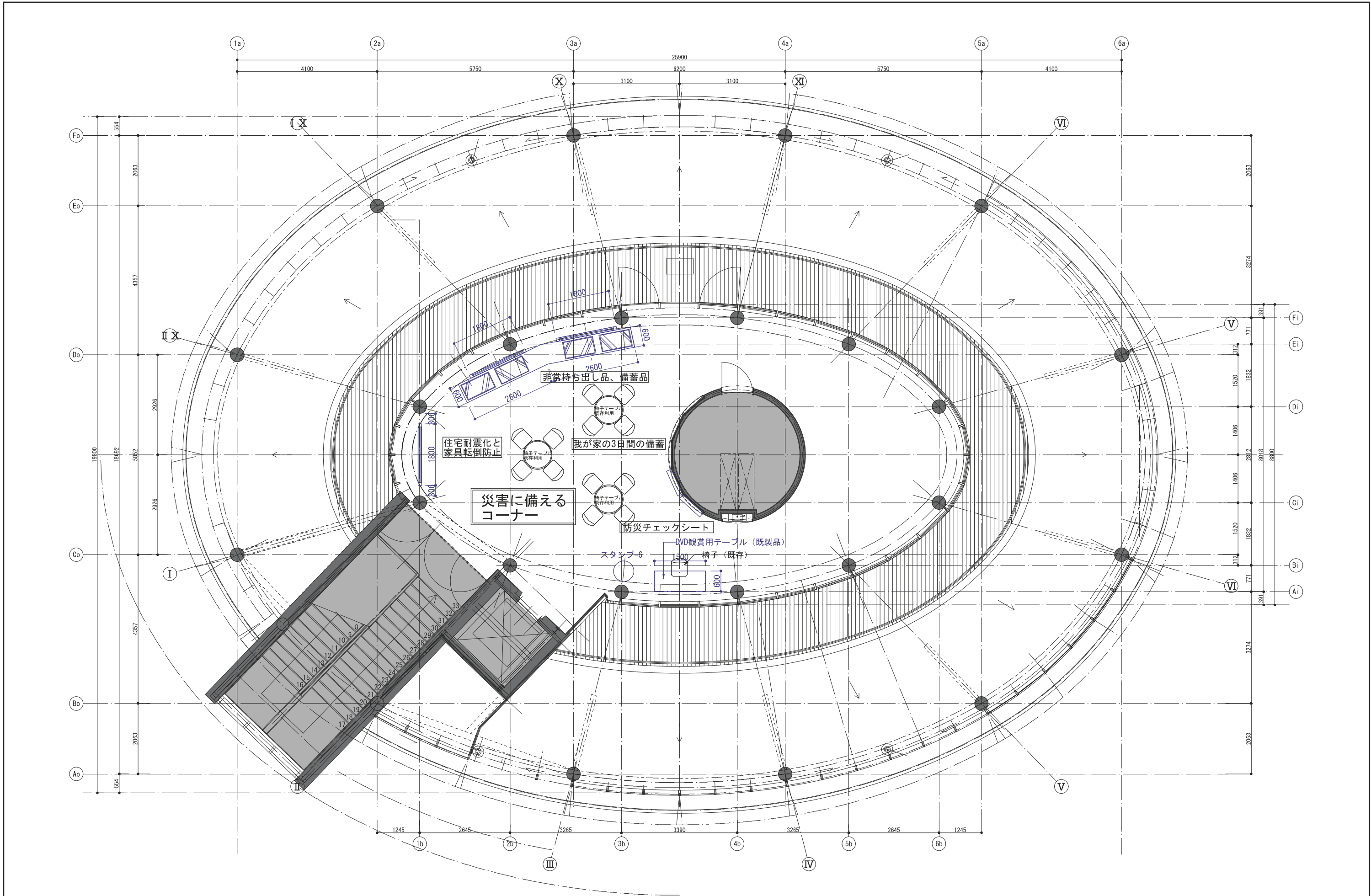
MEMO 四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託		REVISION 		TITLE 解体図			SUBJECTS 一階解体図		NO. 解-01
				DRAWN	DESIGNED	CHECKED	DATE 2025. 04	SCALE -	

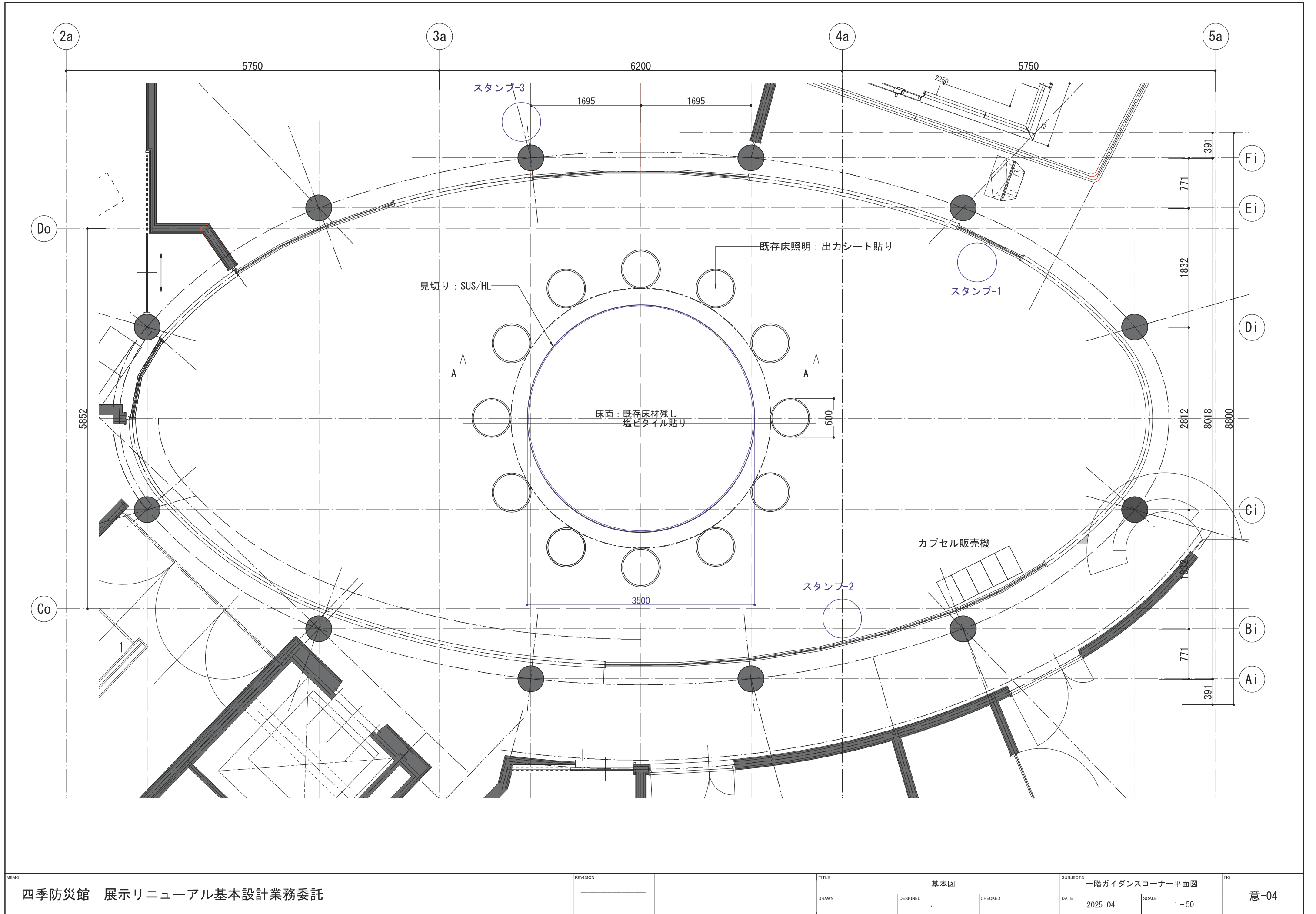


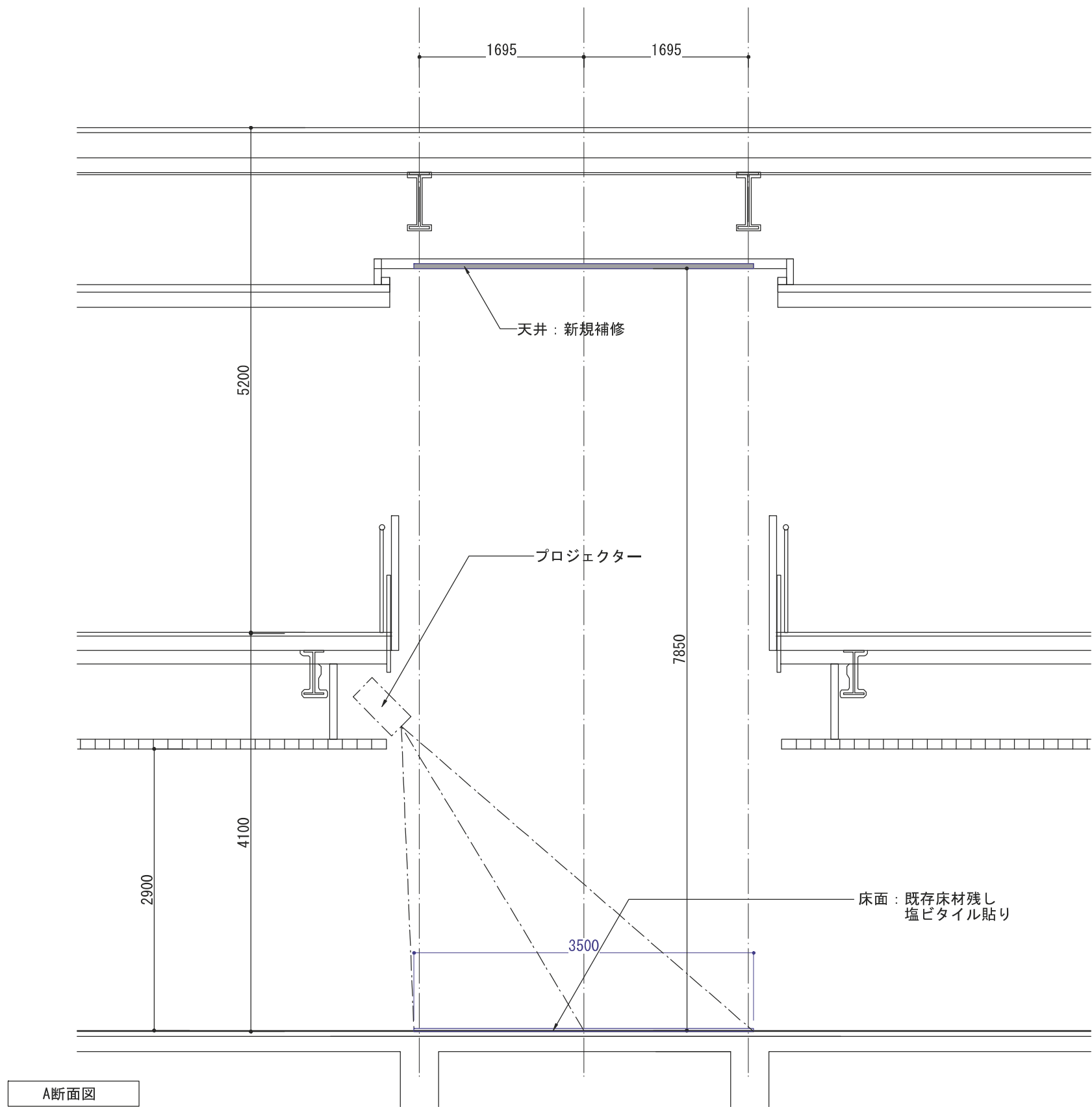
MEMO		REVISION		TITLE			SUBJECTS		NO.
四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託				解体図			二階解体図		解-02
				DRAWN	DESIGNED	CHECKED	DATE	SCALE	
							2025. 04	-	











A断面図

MEMO

四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託

REVISION

TITLE

基本図

DRAWN

DESIGNED

CHECKED

SUBJECTS

一階ガイダンスコーナー立面図

DATE

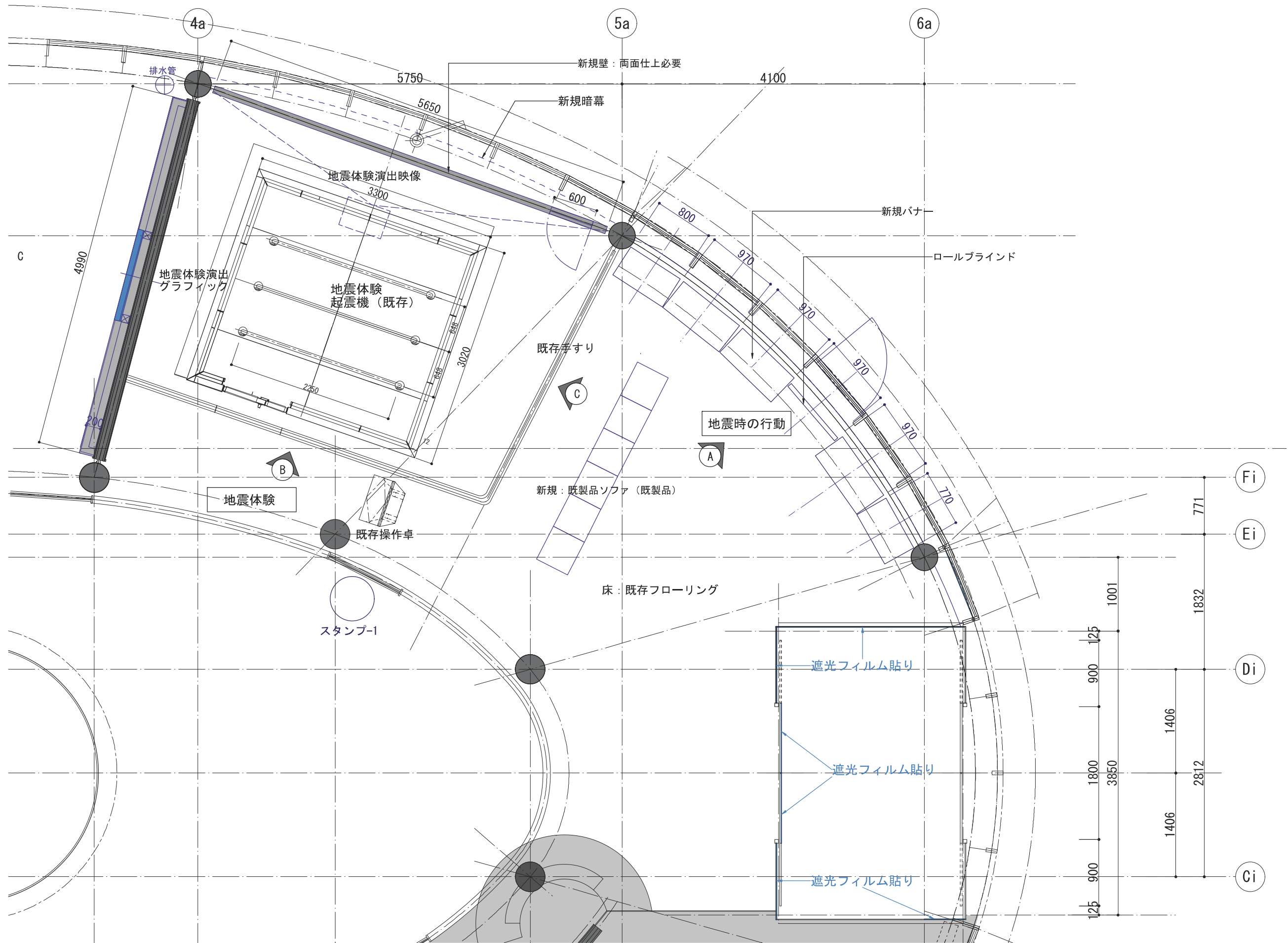
2025. 04

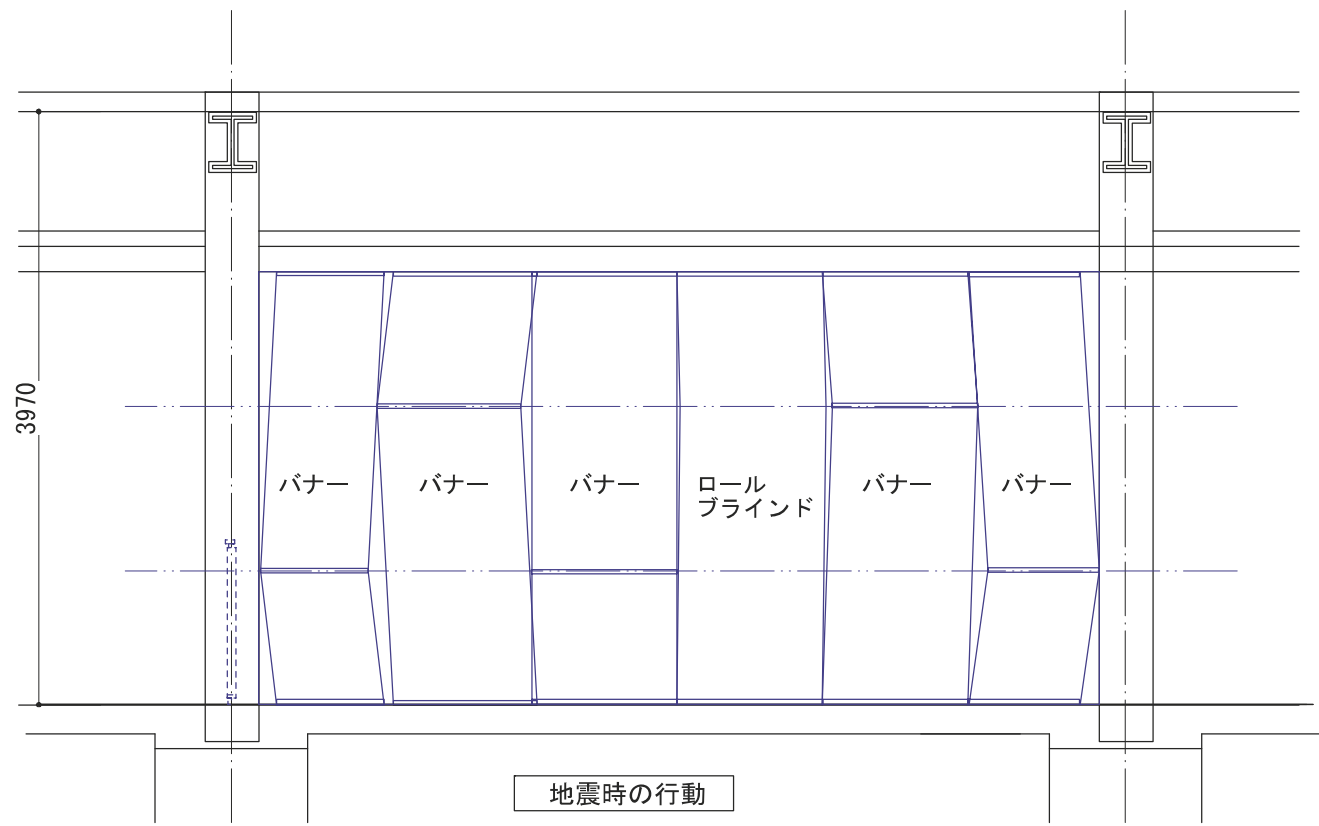
SCALE

1 - 50

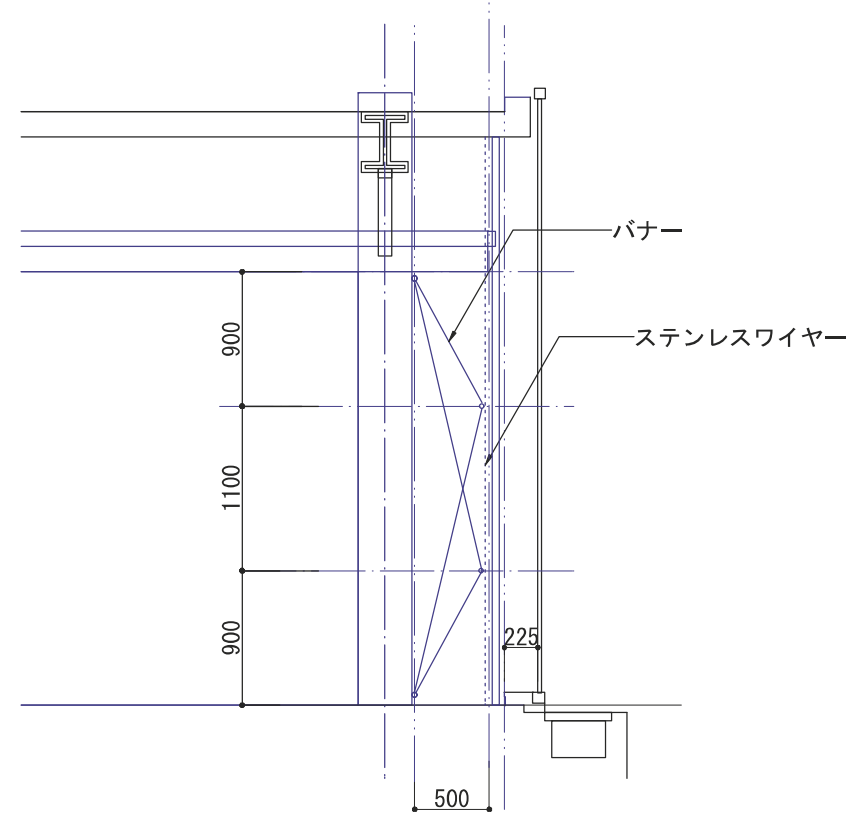
NO.

意-05

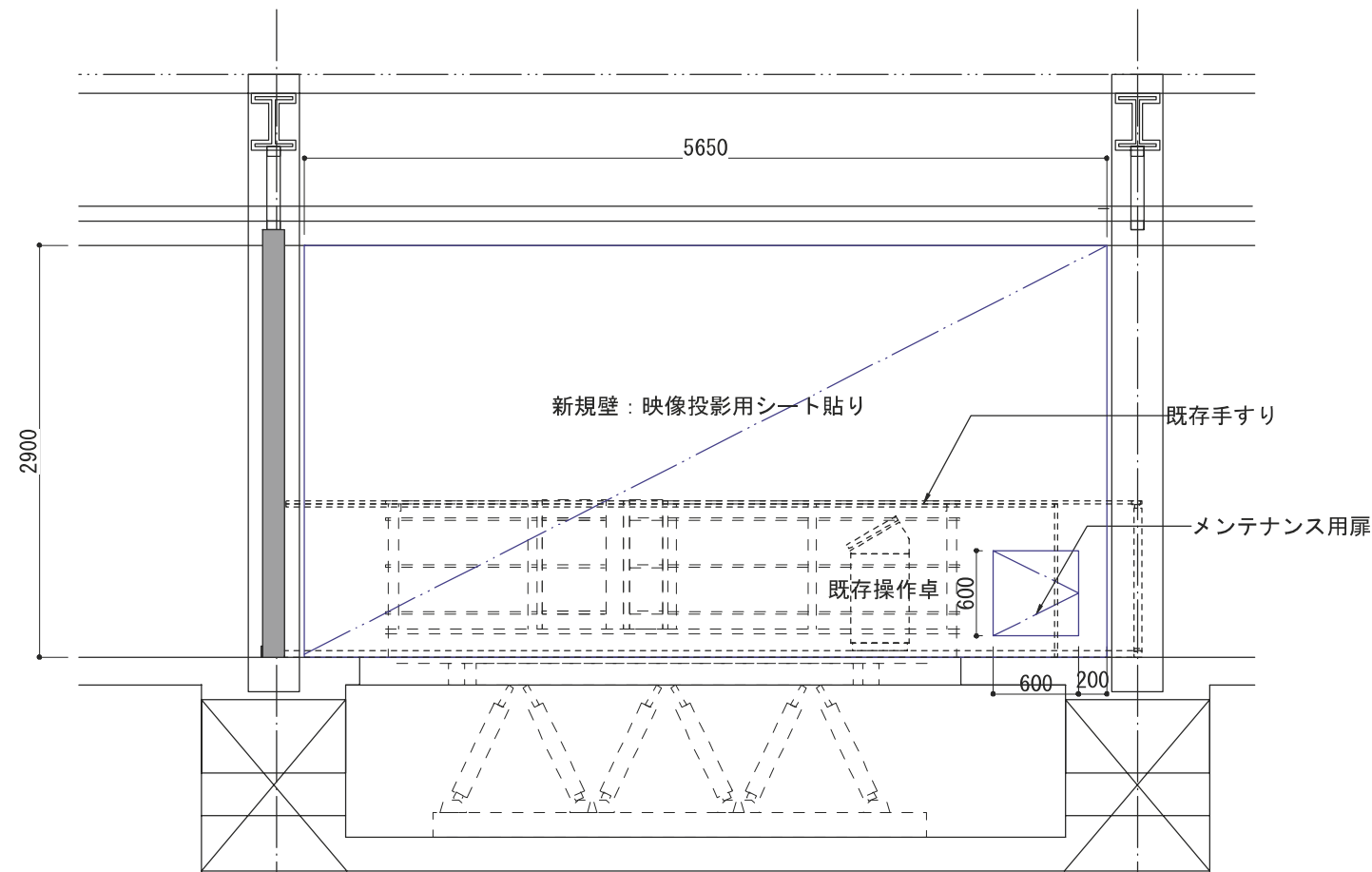




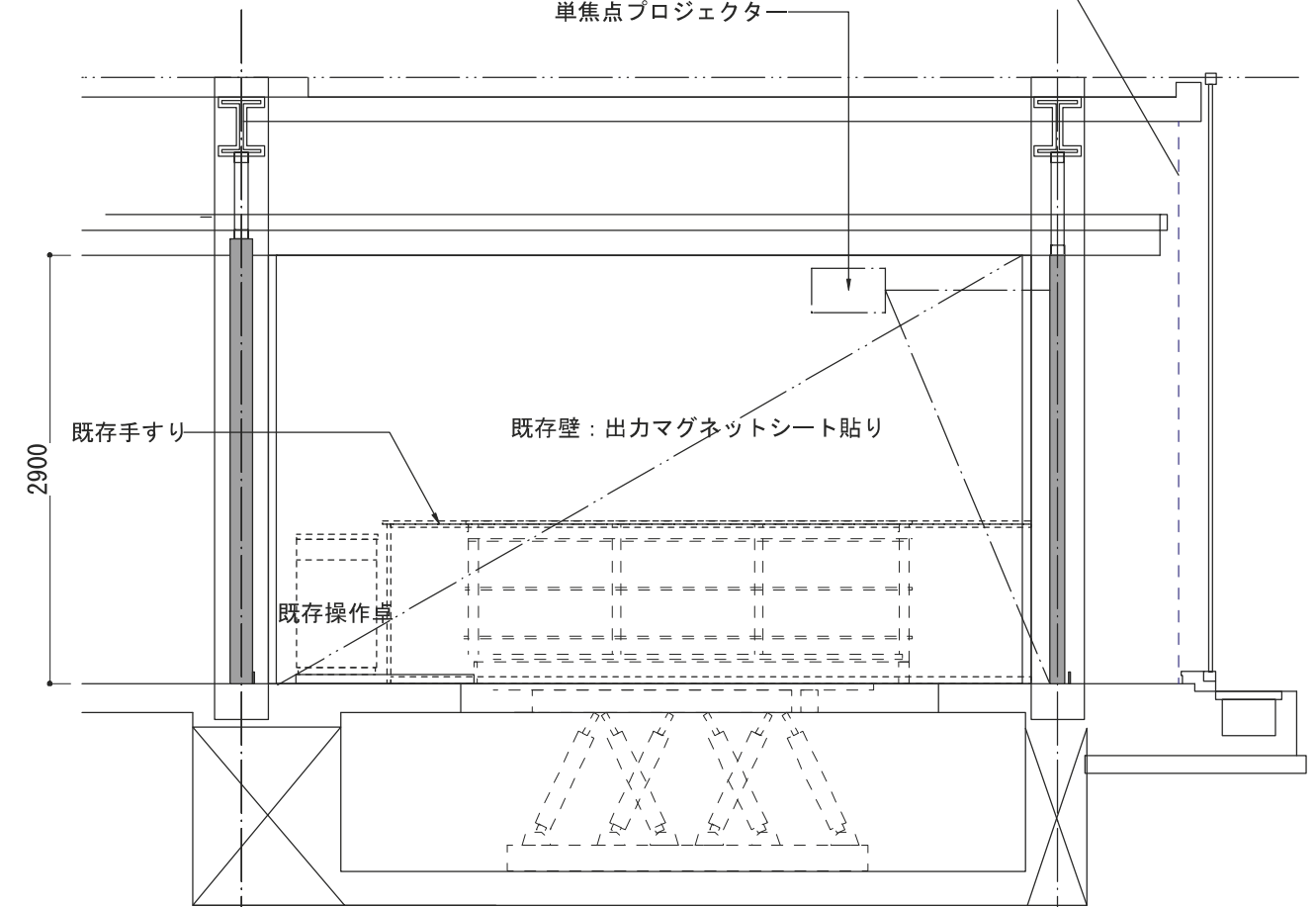
A立面図



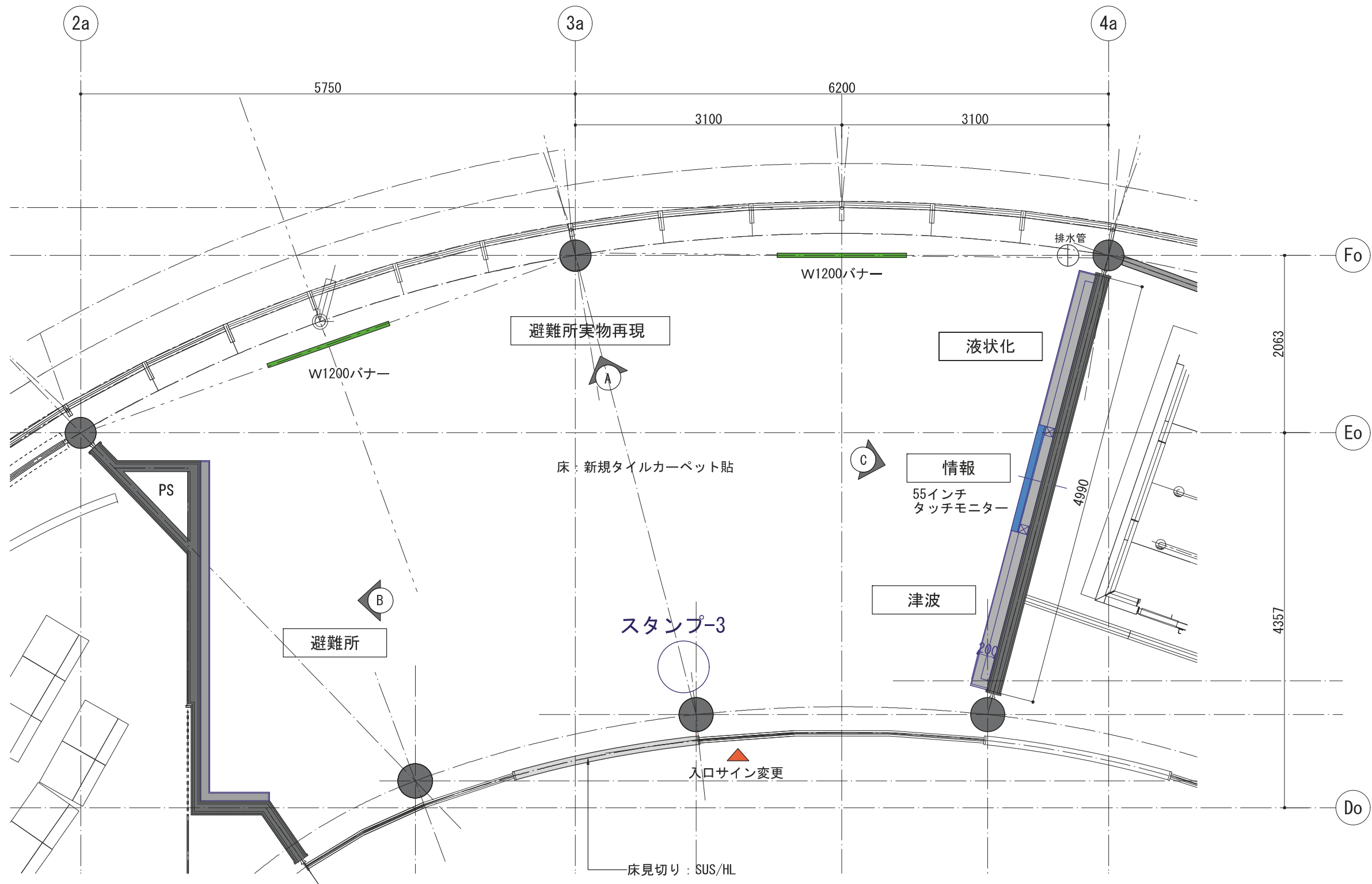
単焦点プロジェクター



B立面図



C立面図



MEMO

四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託

REVISION

TITLE

基本図

SUBJECTS

一階津波・液状化・避難所情報
コーナー平面図

NO.

意-08

DRAWN

DESIGNED

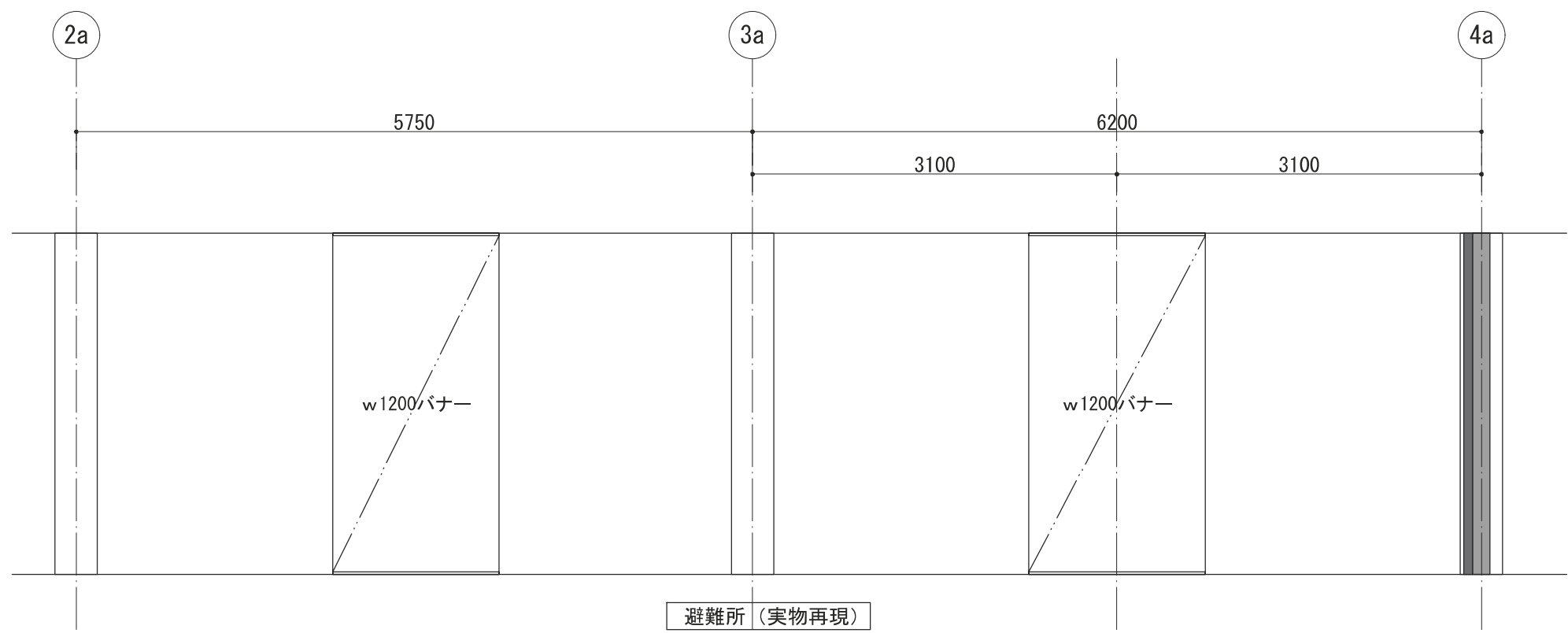
CHECKED

DATE

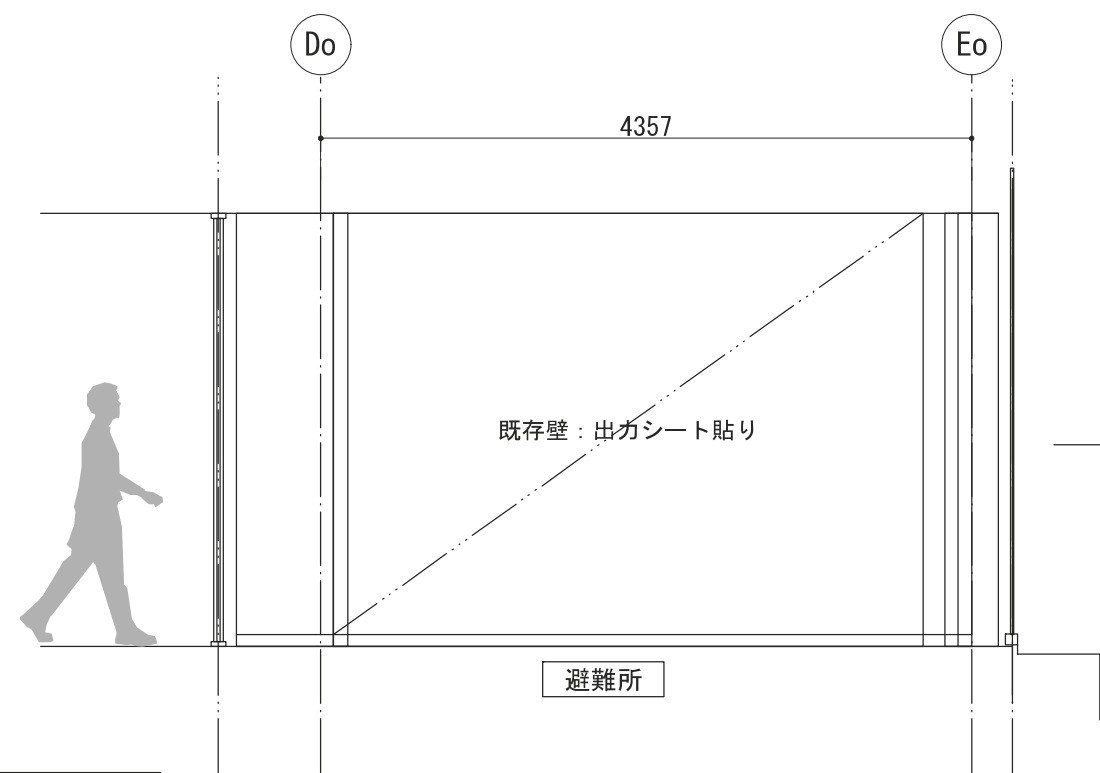
2025. 04

SCALE

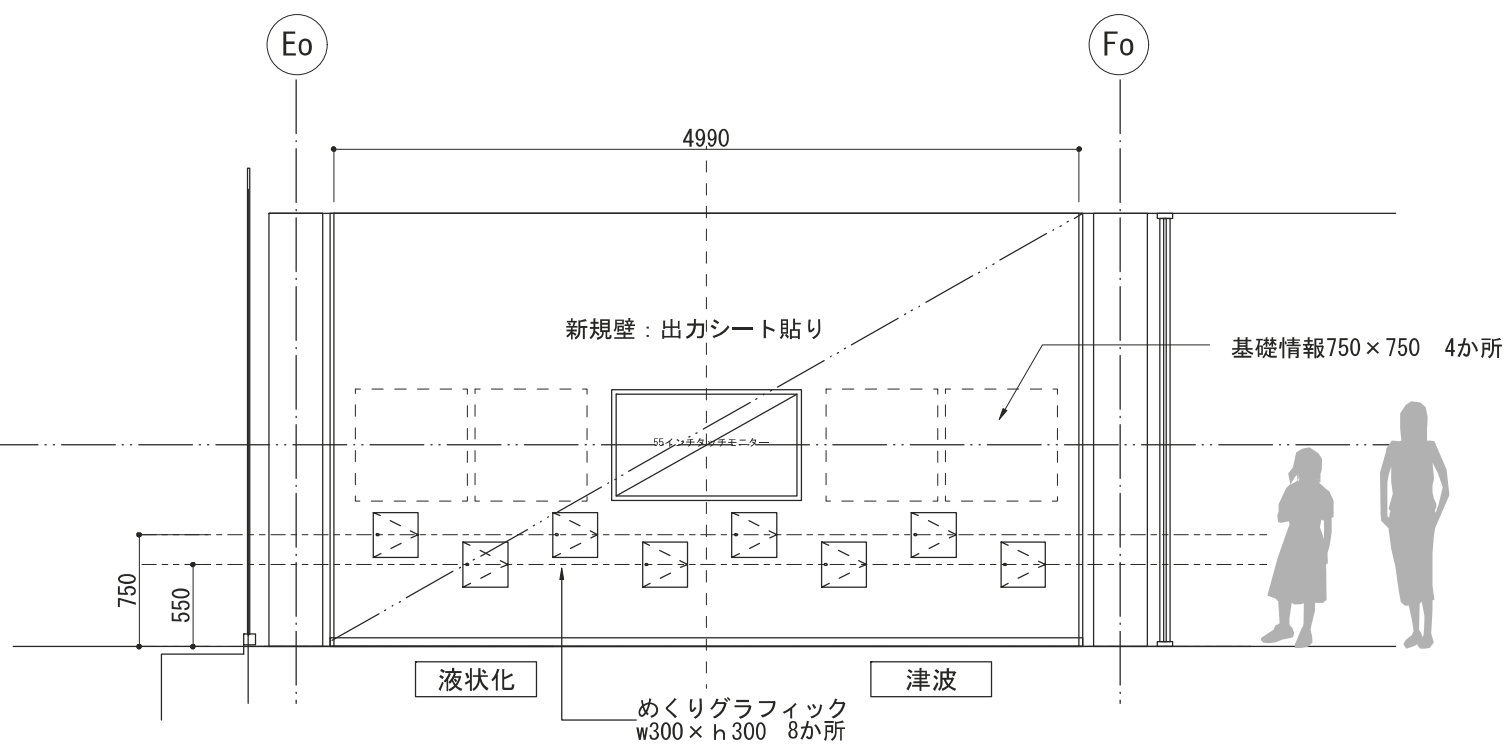
1 - 50



A立面図



B立面図



C立面図

MEMO

四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託

REVISION

TITLE

基本図

DRAWN

DESIGNED

CHECKED

SUBJECTS

一階津波・液状化・避難所情報
コーナー立面図

DATE

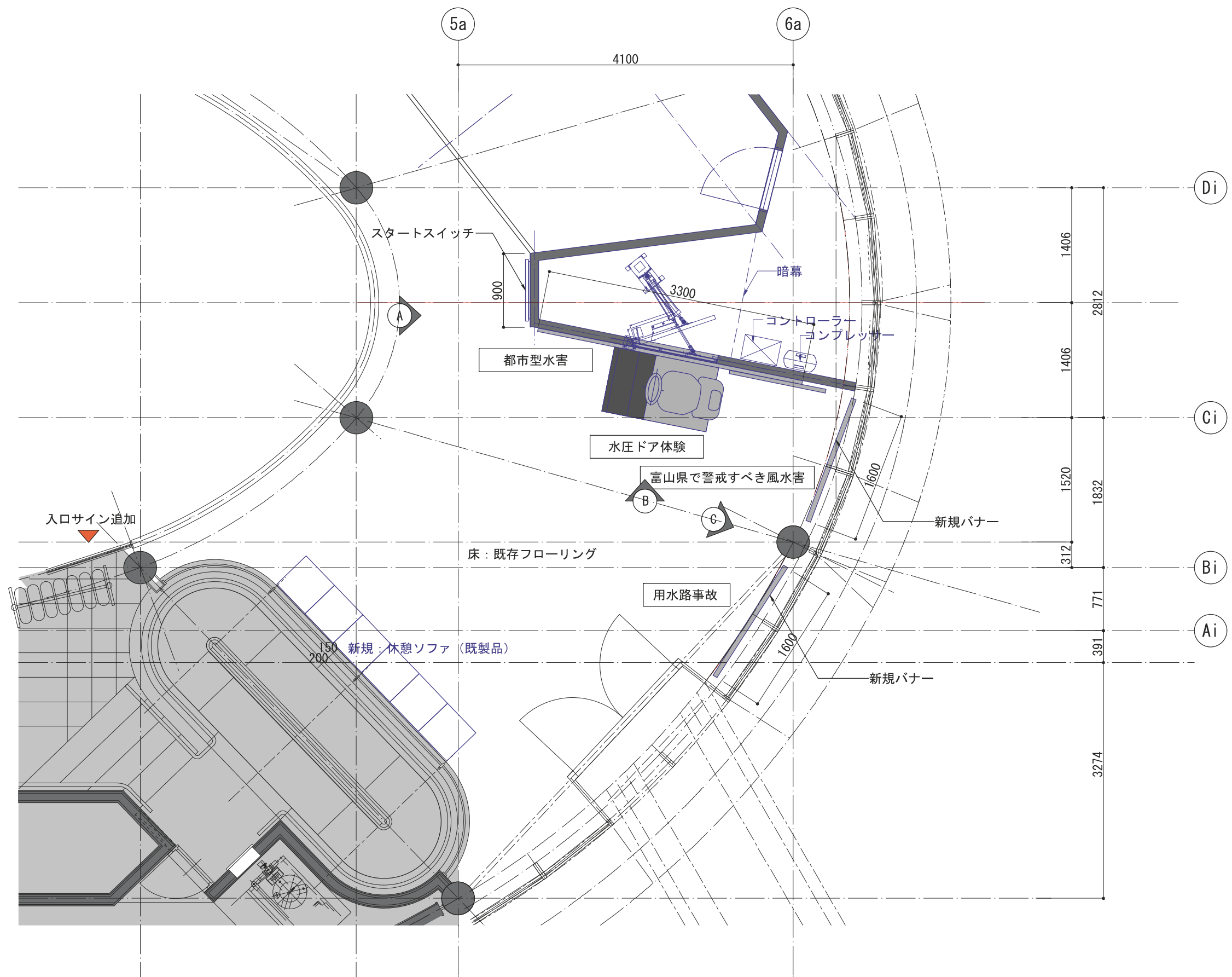
2025. 04

SCALE

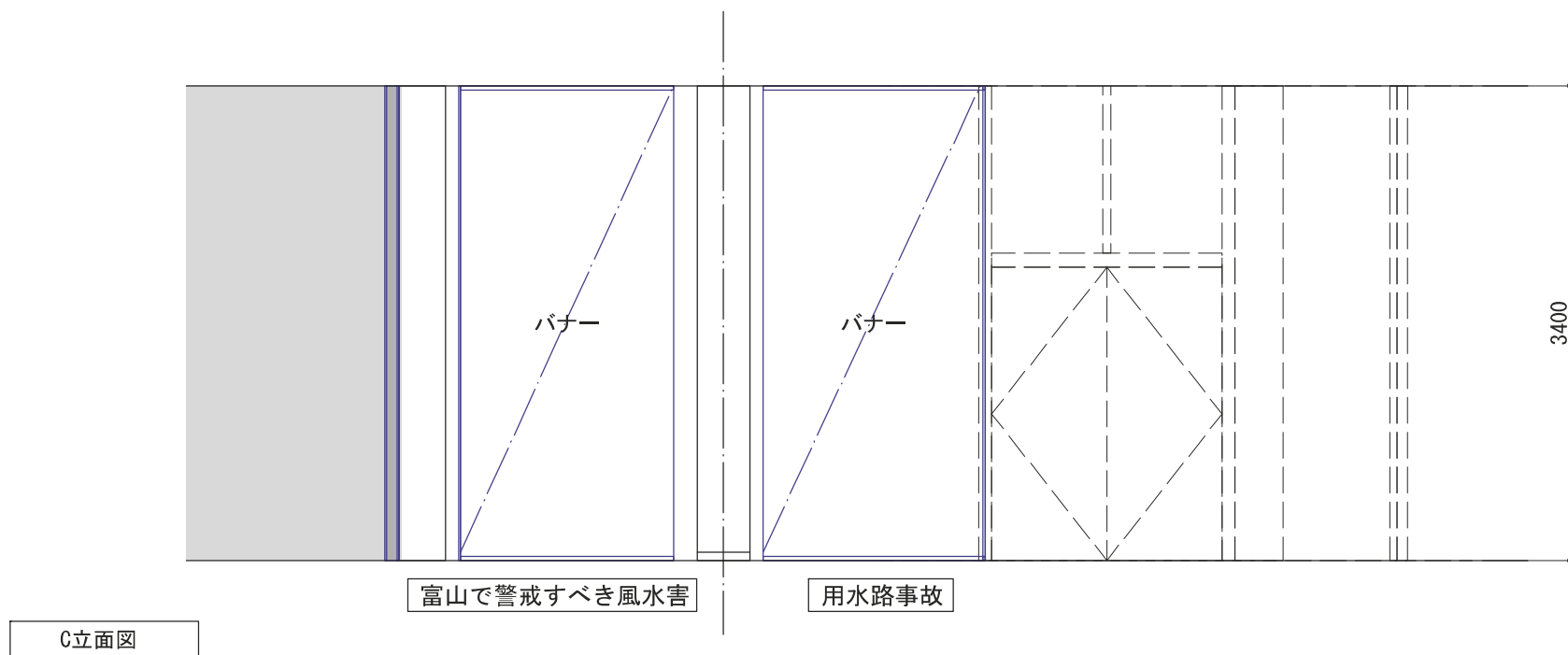
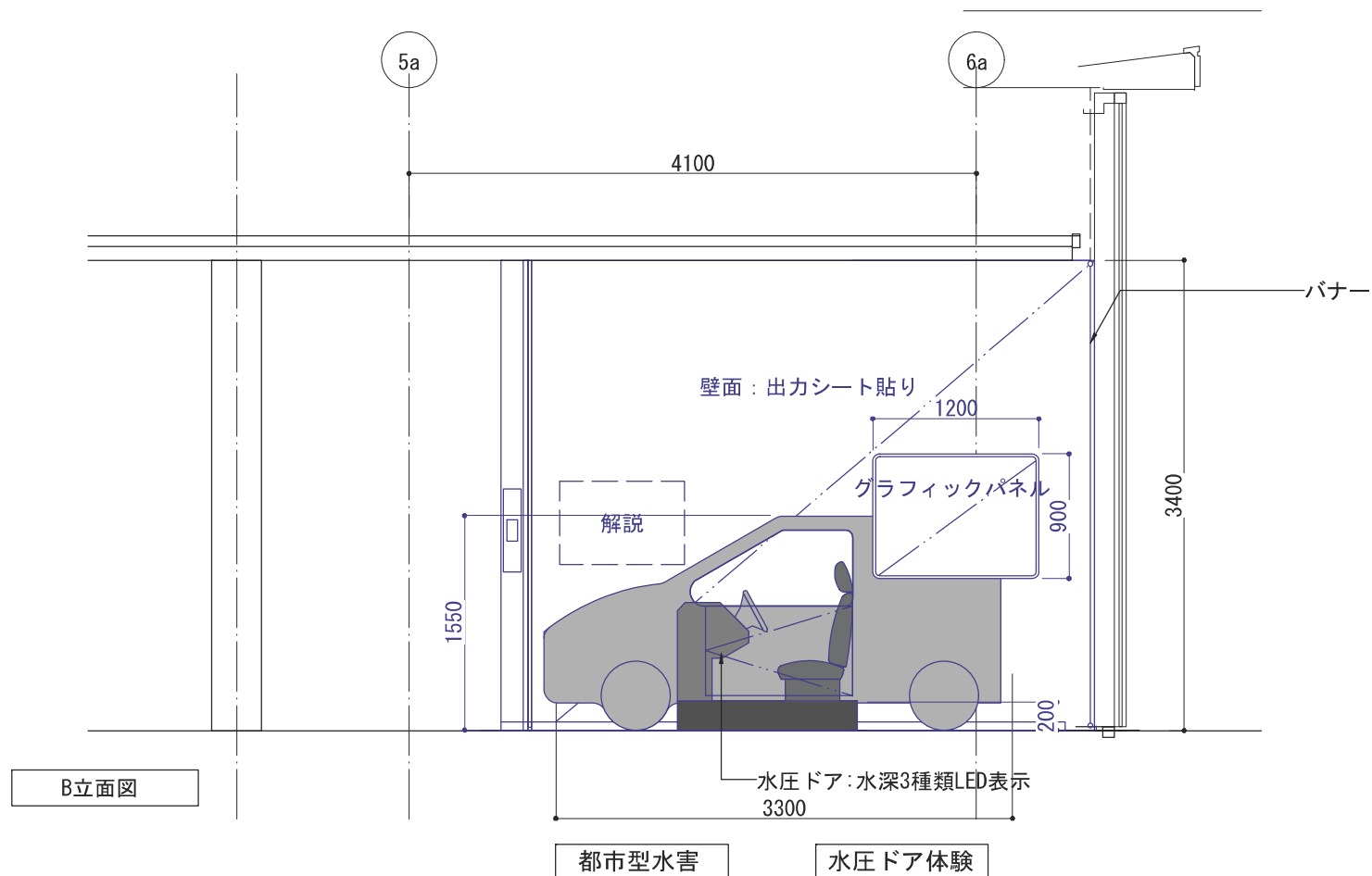
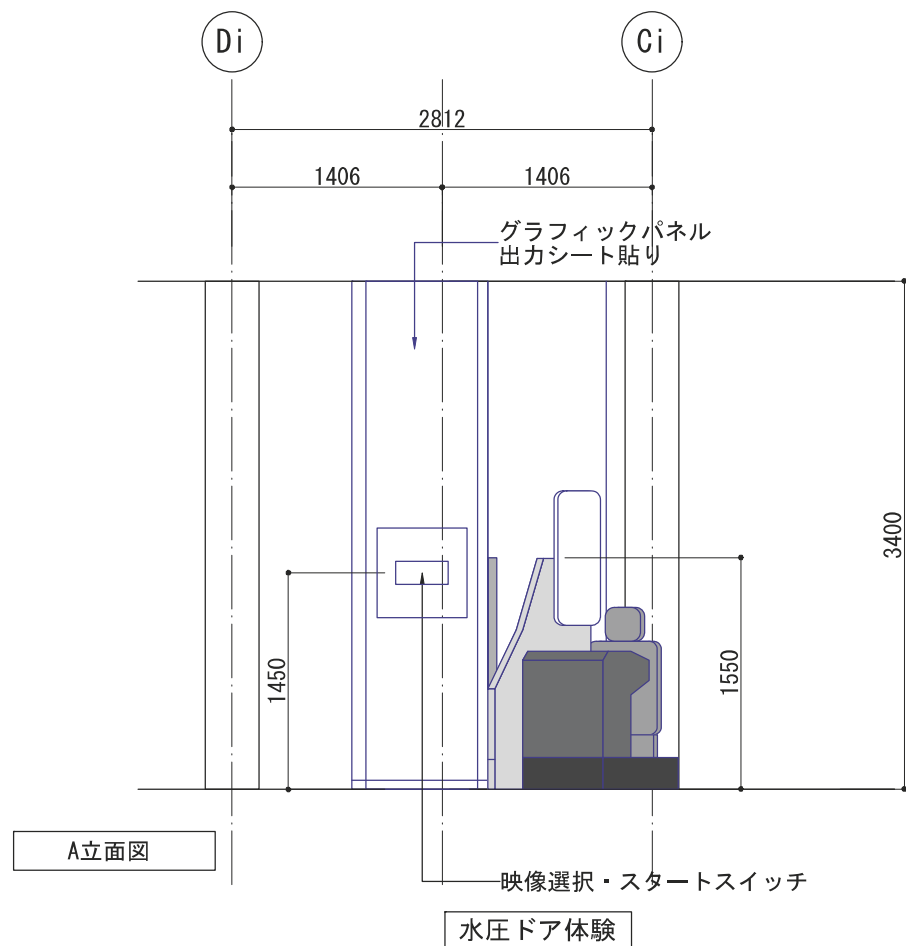
1 - 50

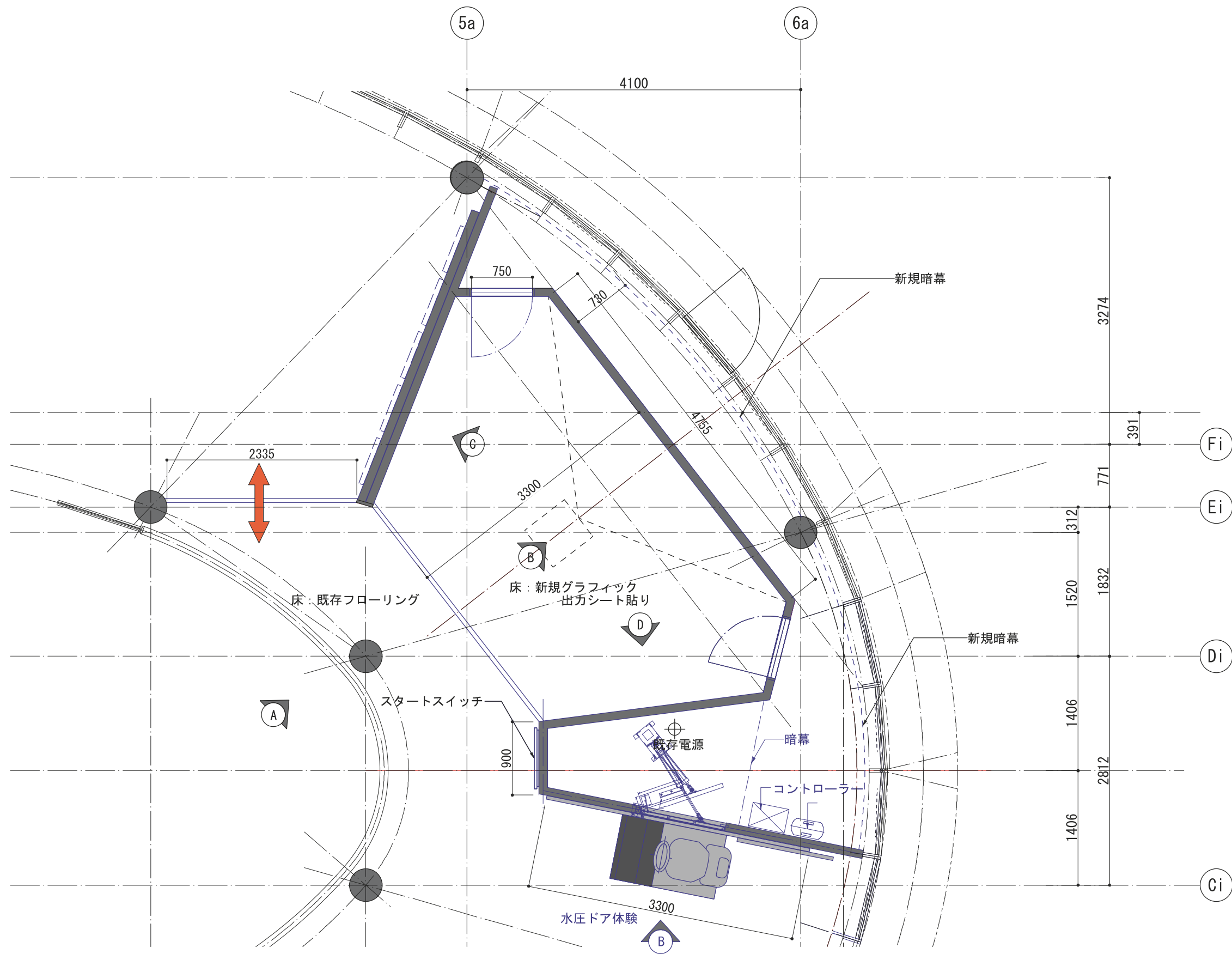
NO.

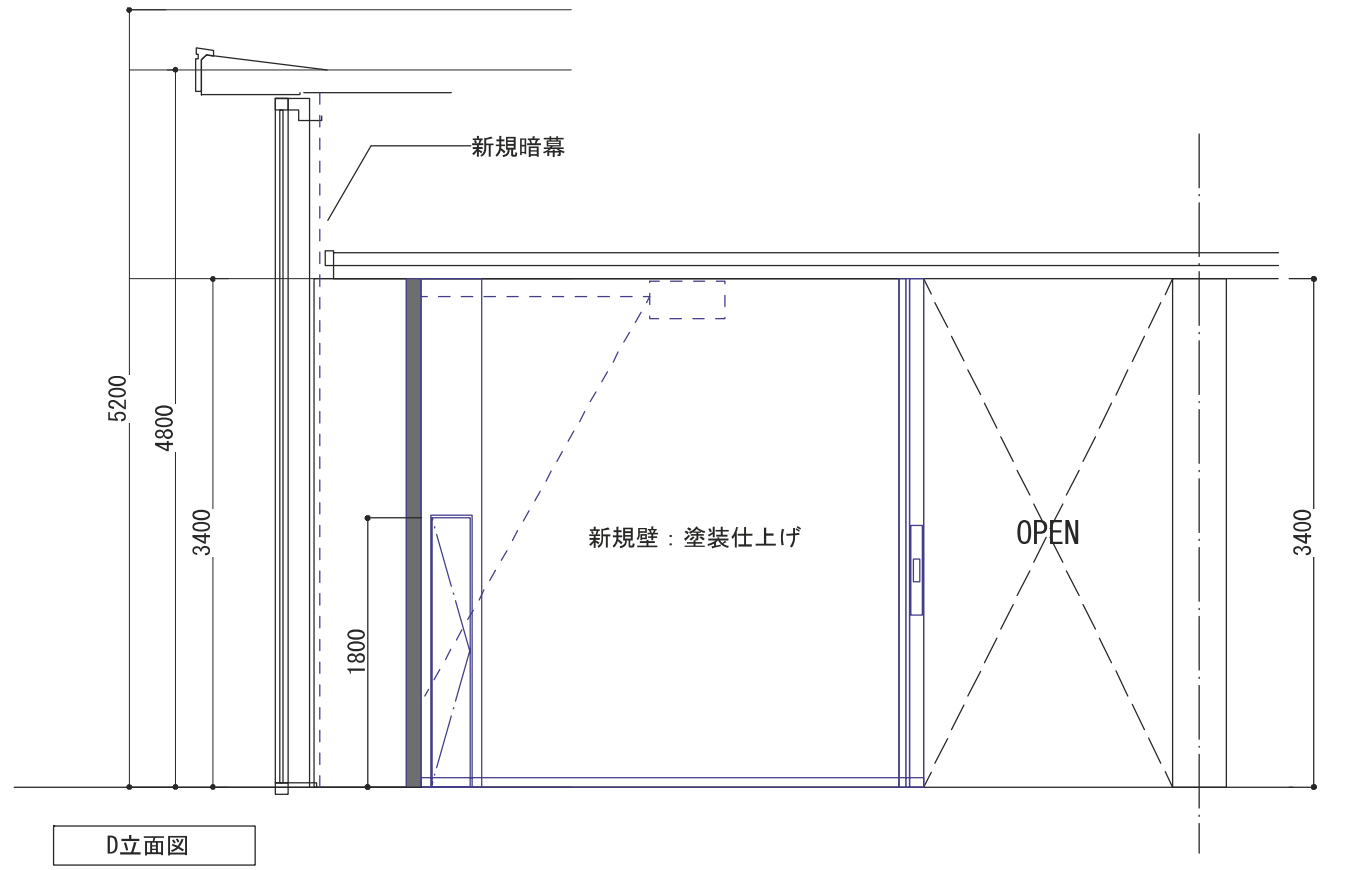
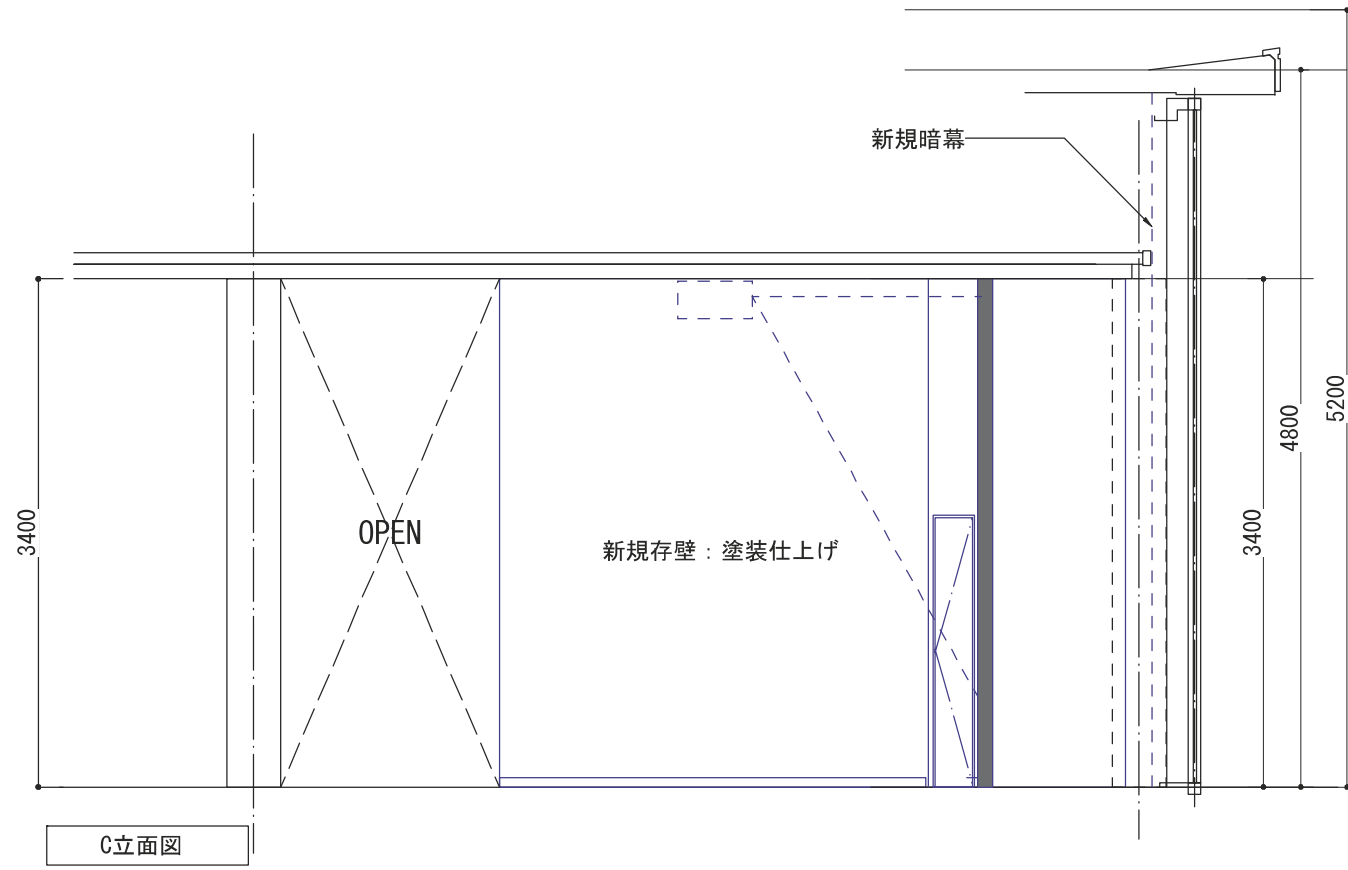
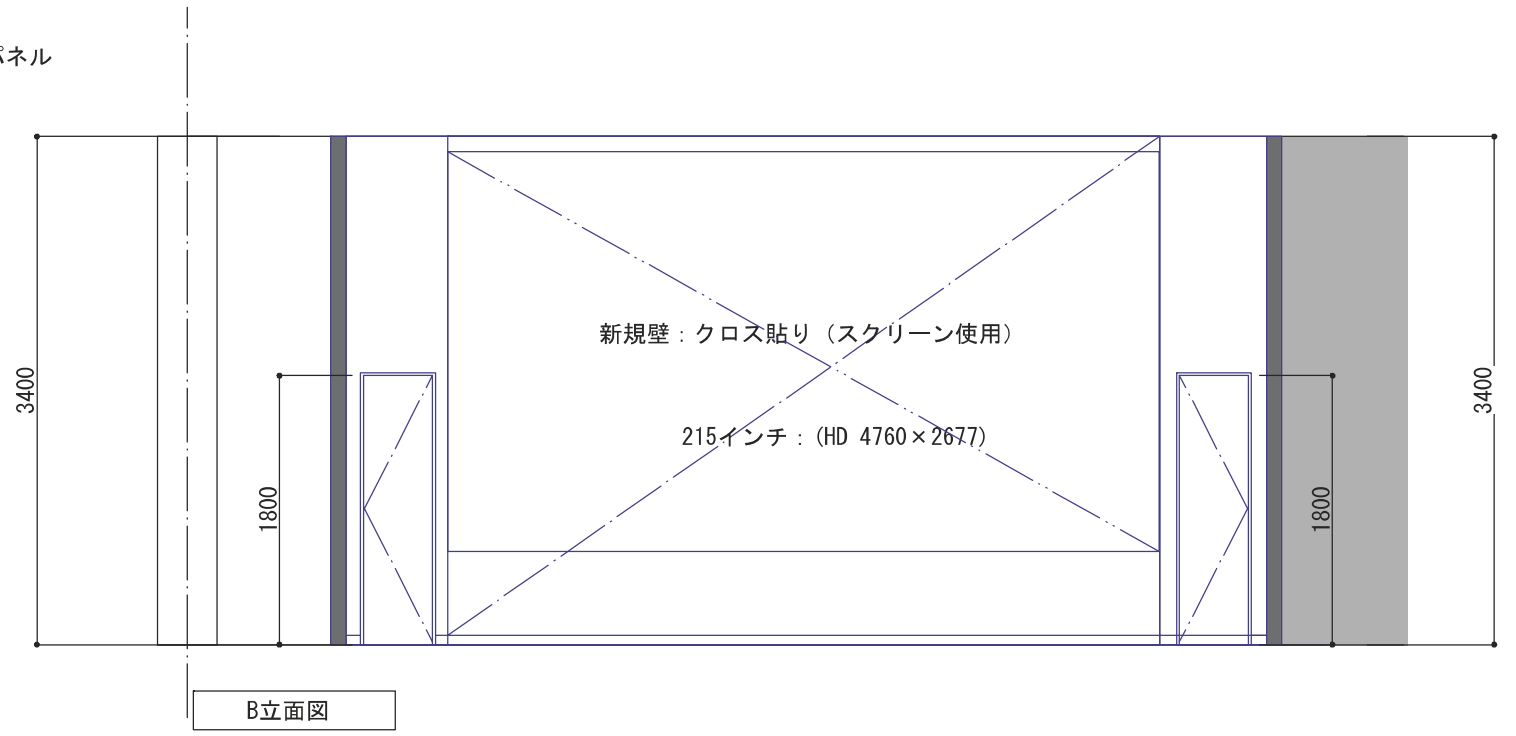
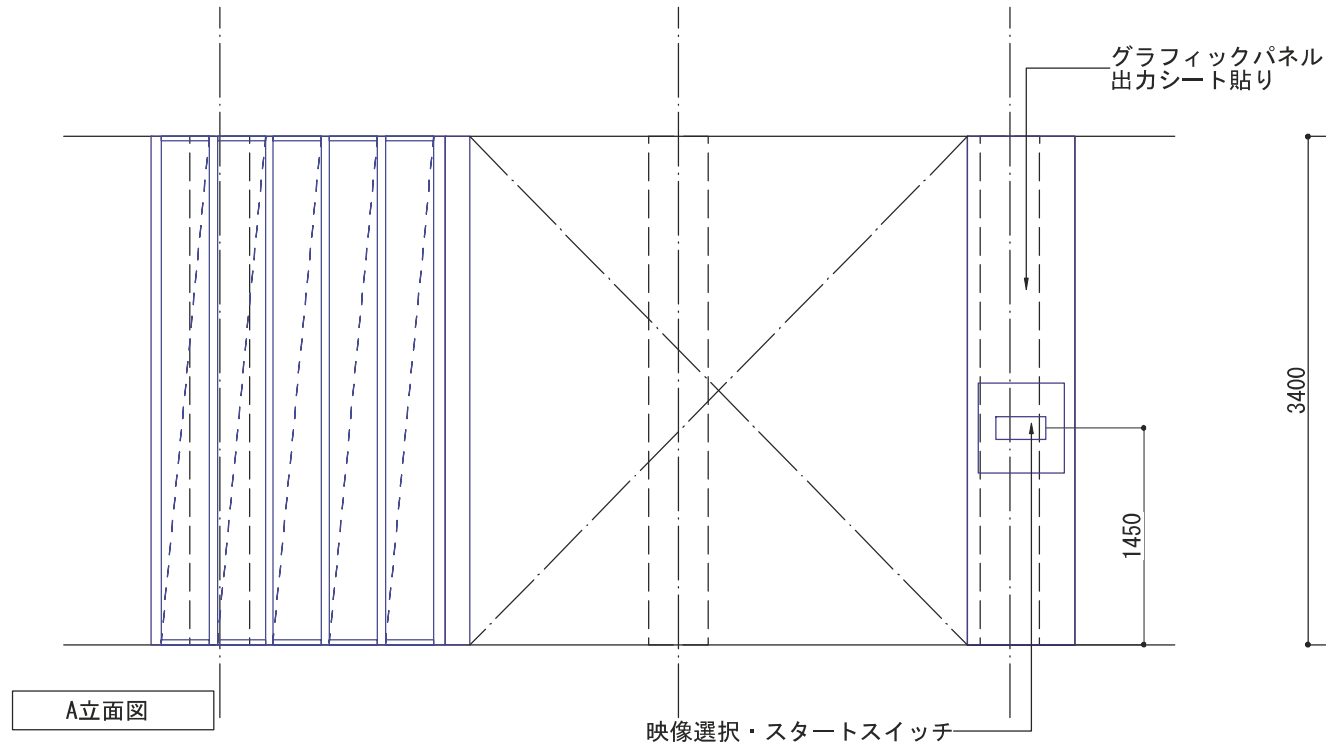
意-09

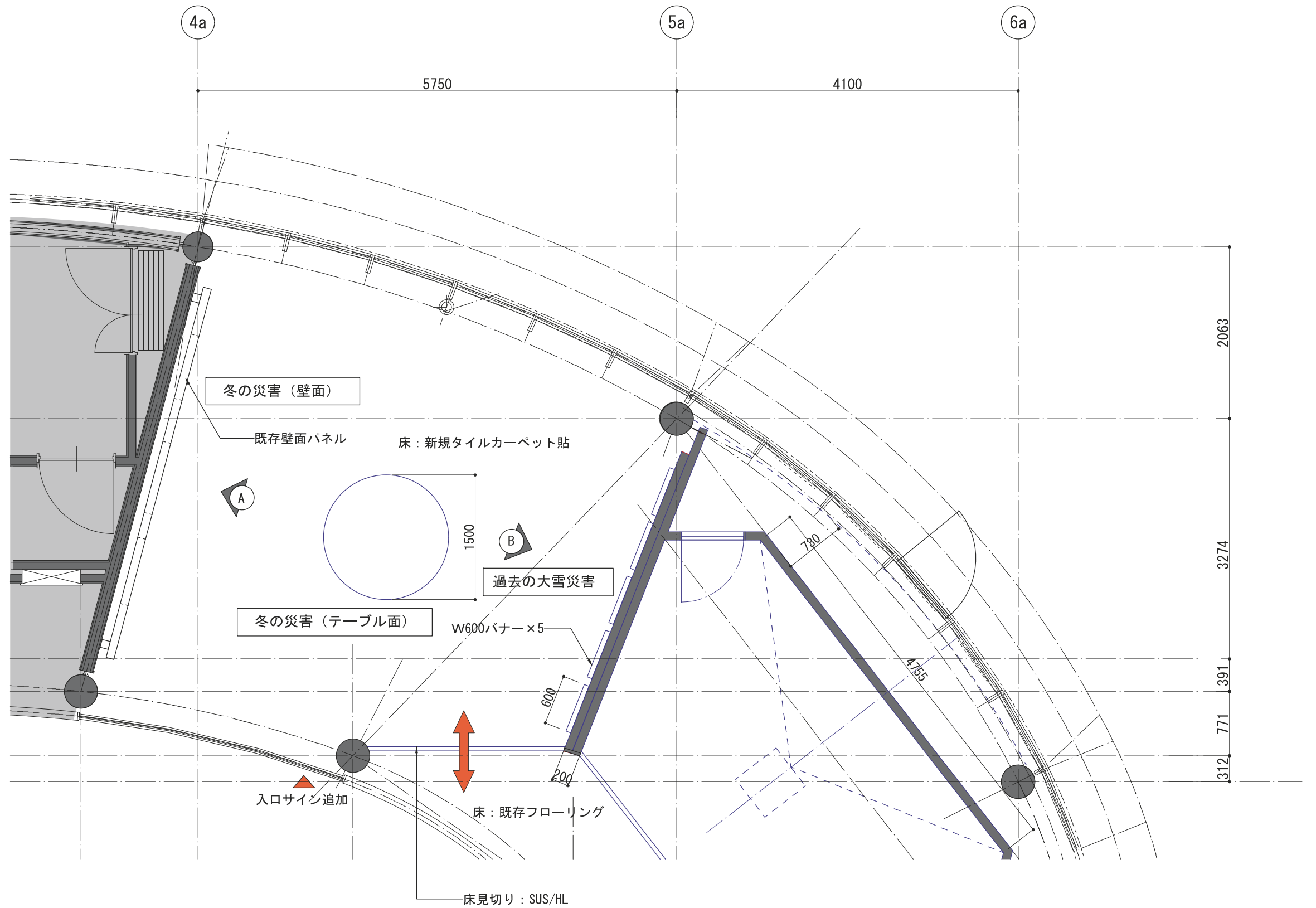


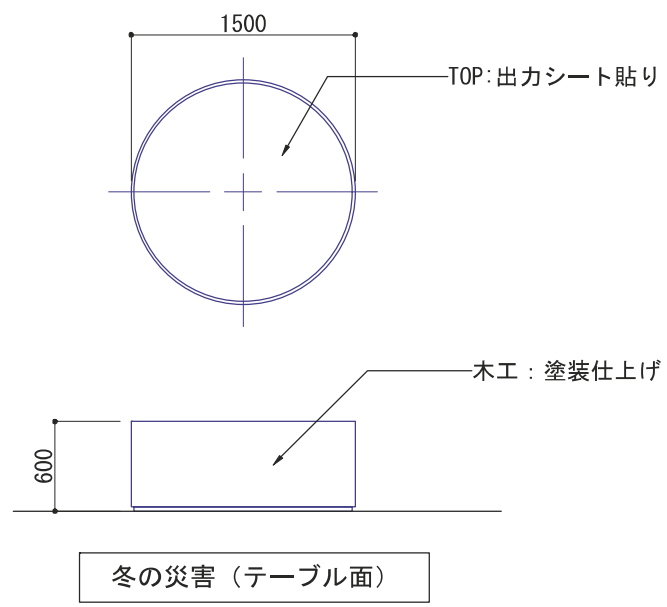
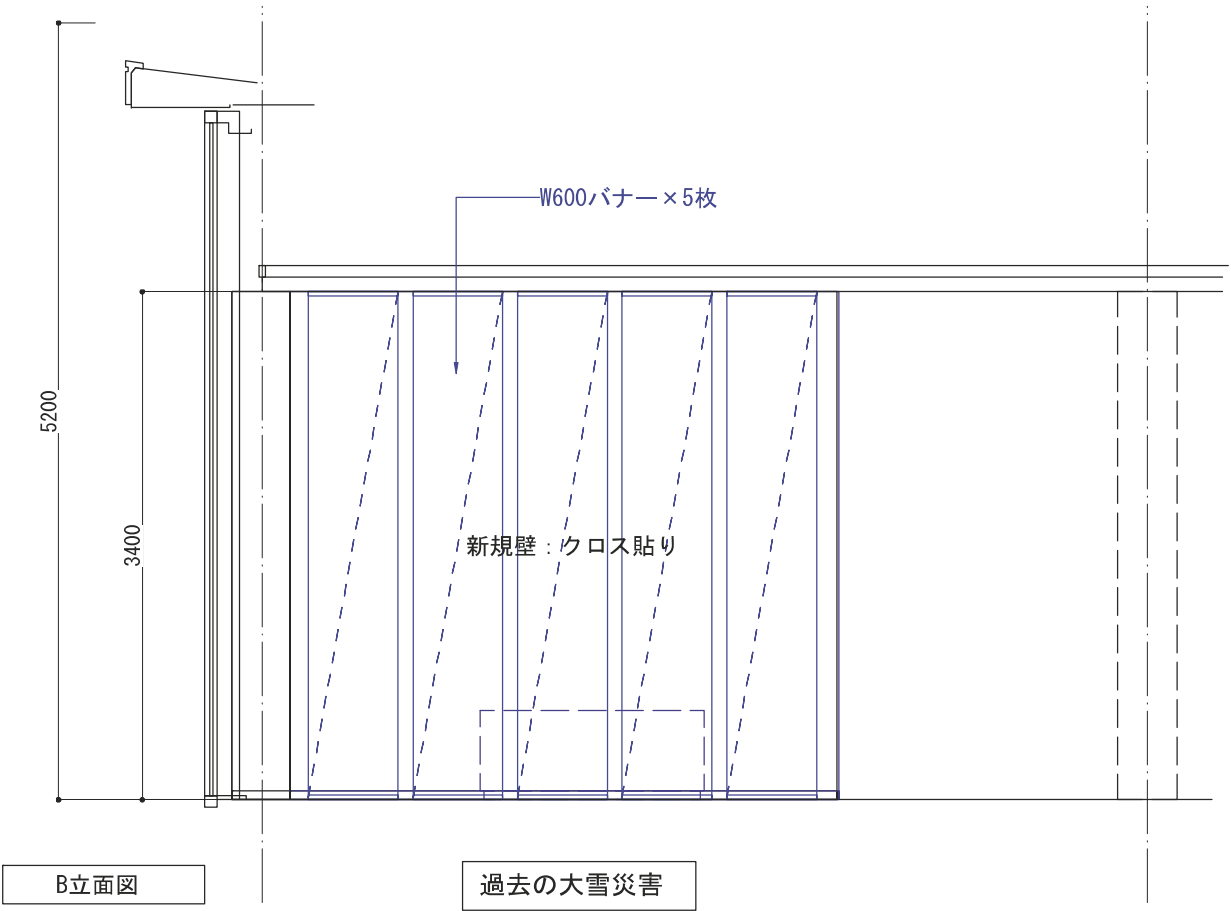
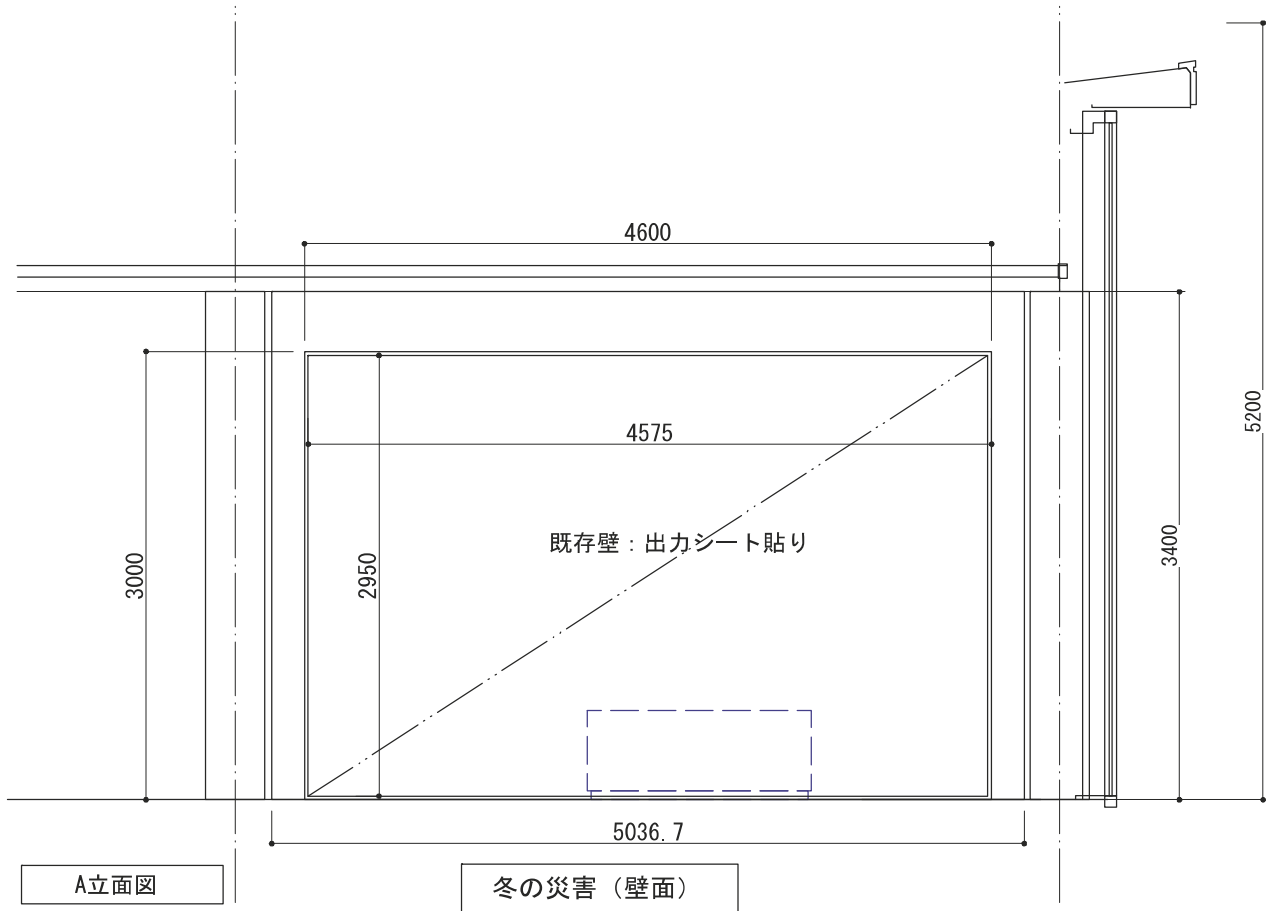
MEMO 四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託	REVISION _____ _____ _____	TITLE 基本図			SUBJECTS 二階水害コーナー平面図		NO. 意-10
		DRAWN	DESIGNED	CHECKED	DATE 2025. 04	SCALE 1 - 50	

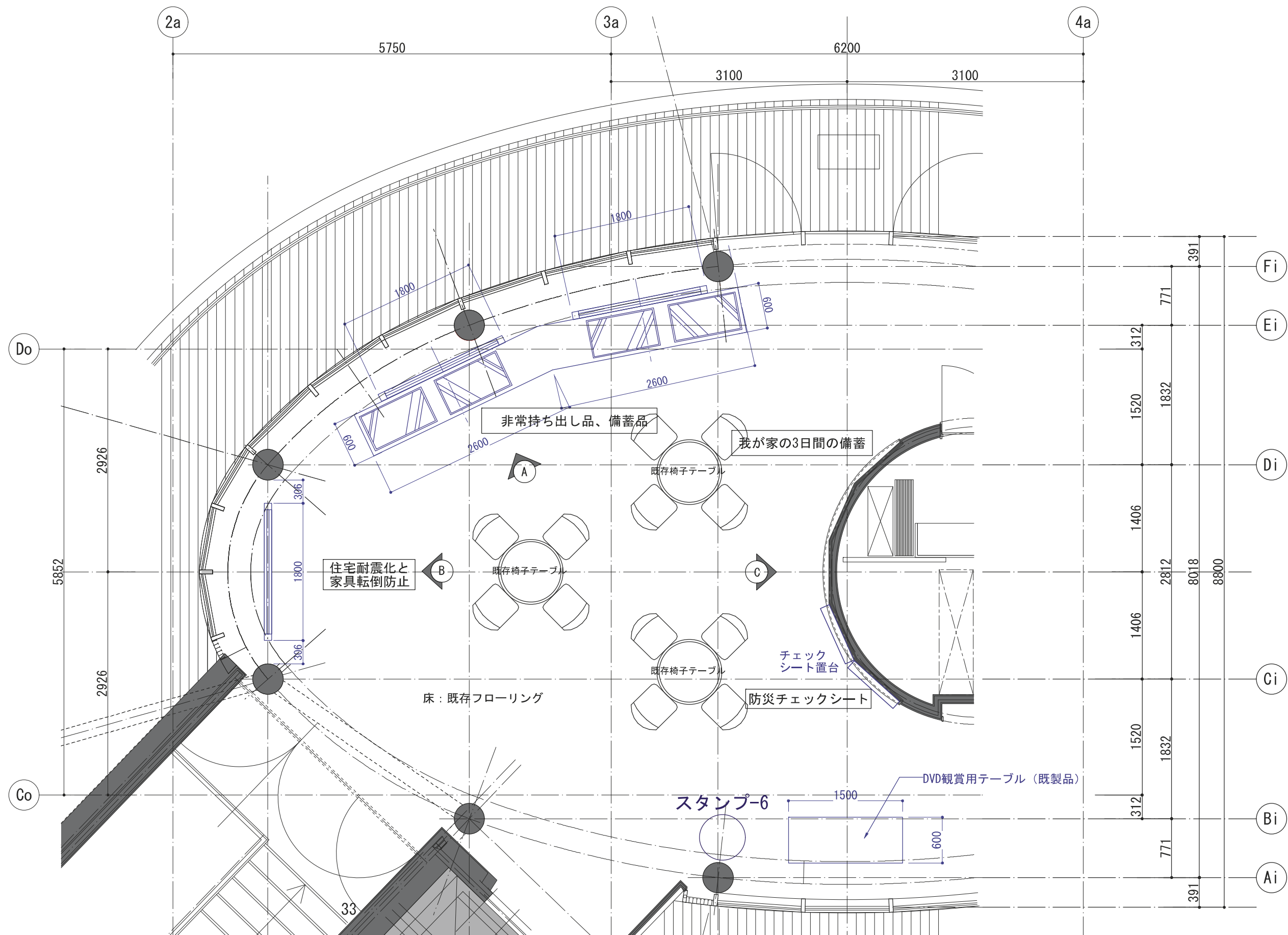












MEMO

四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託

REVISION

TITLE

基本図

DRAWN

DESIGNED

CHECKED

SUBJECTS

三階災害に備えるコーナー平面図

DATE

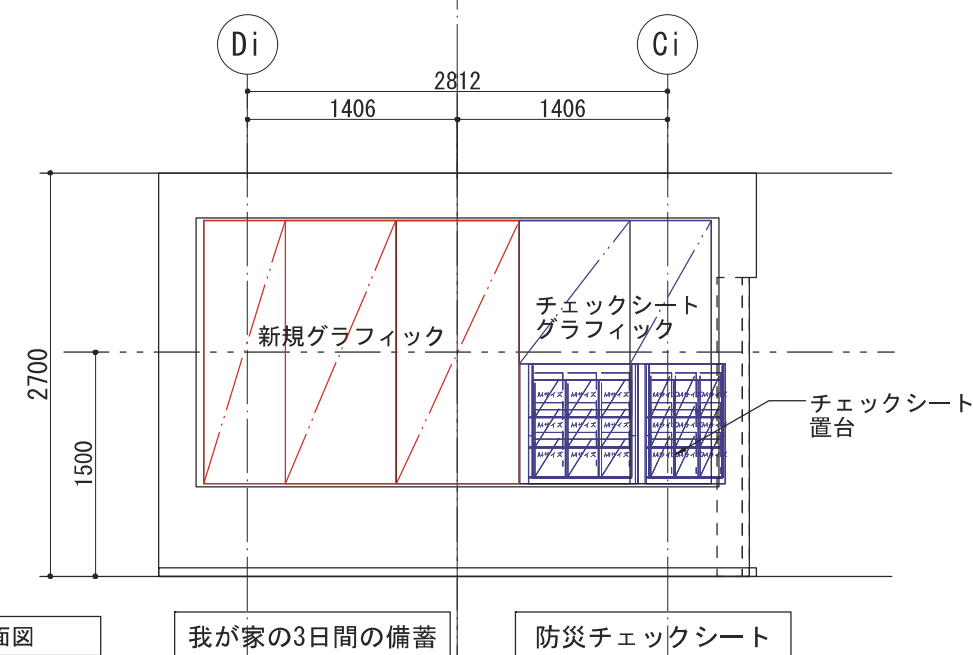
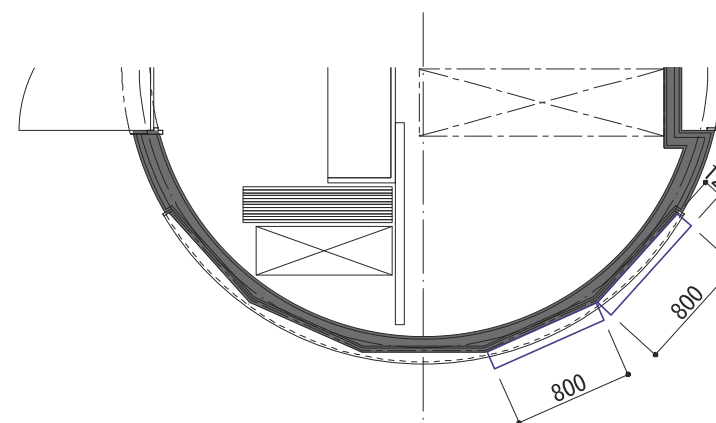
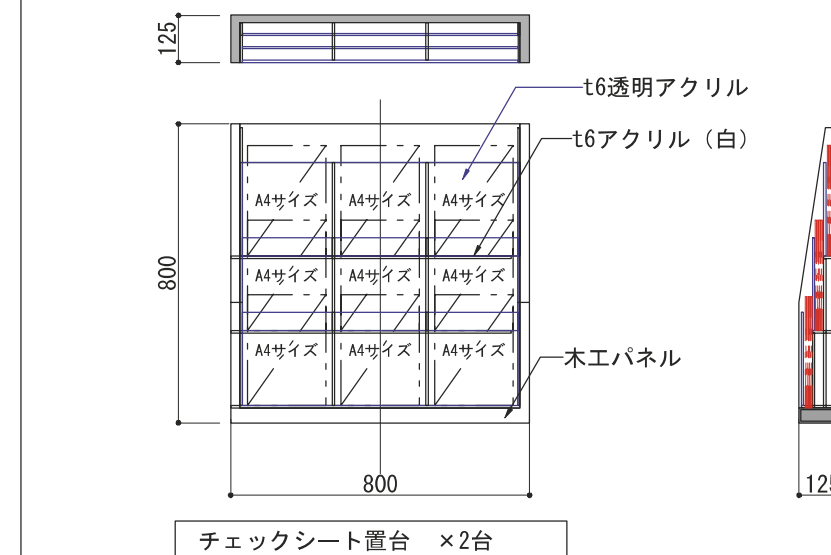
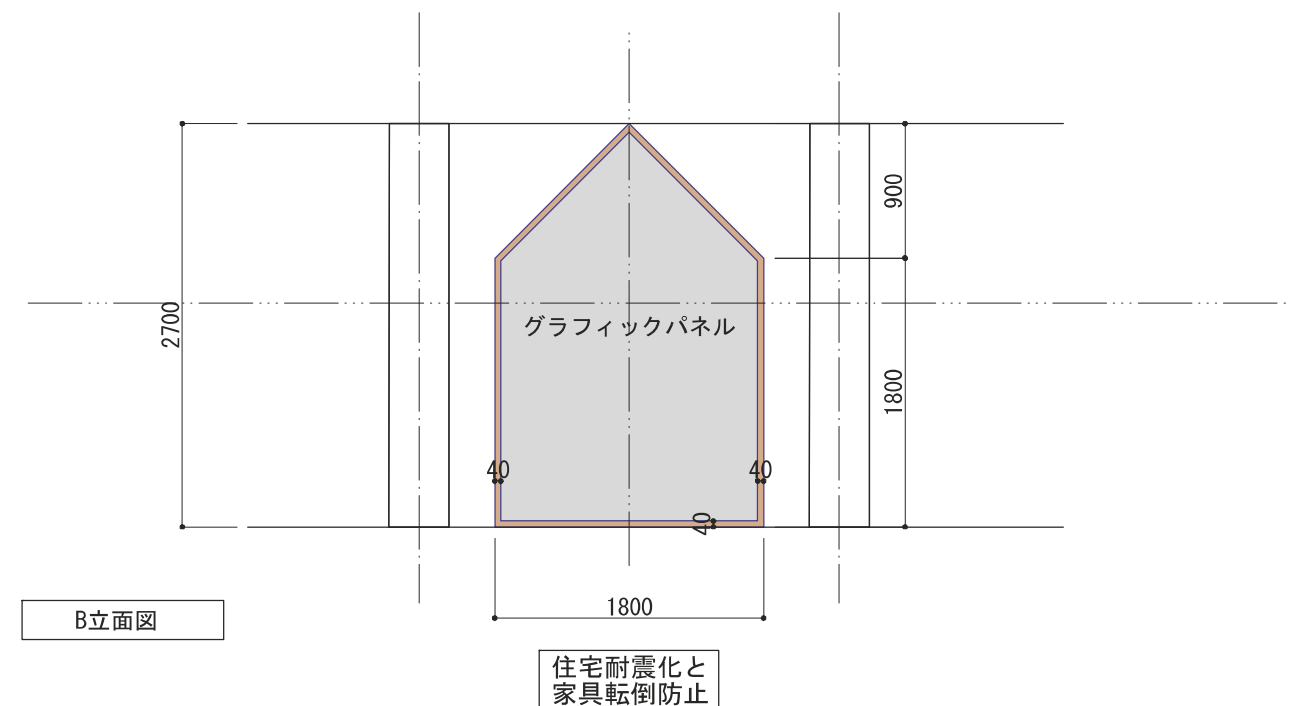
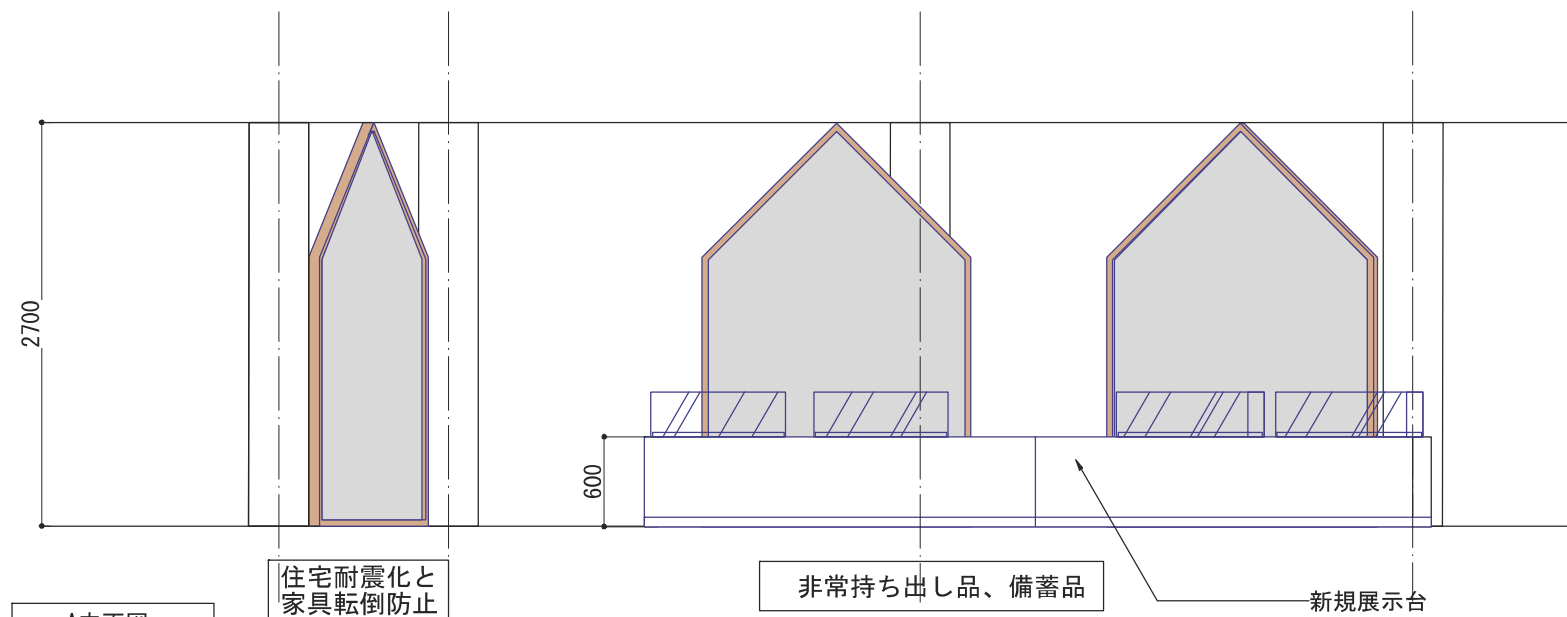
2025. 04

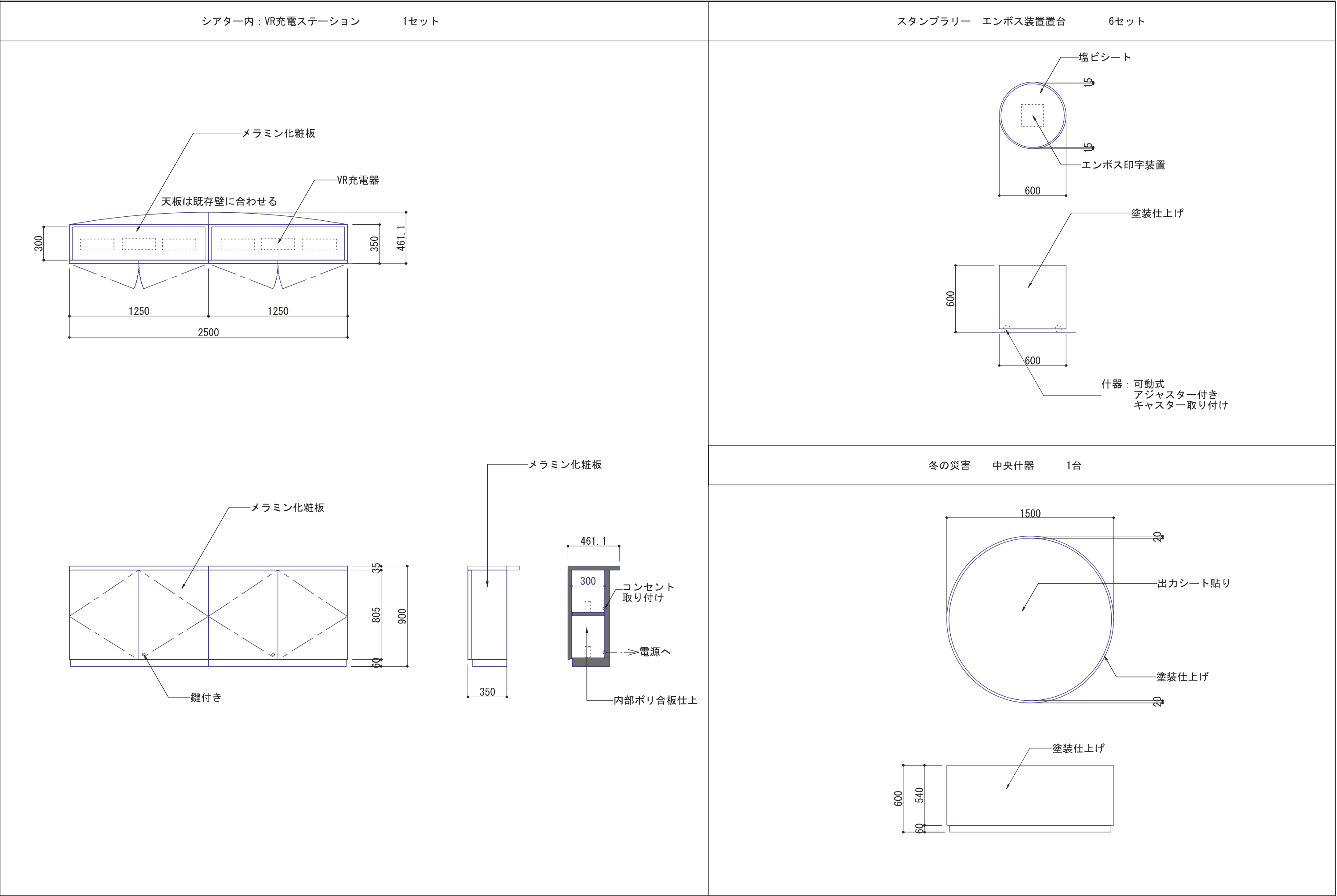
SCALE

1 - 50

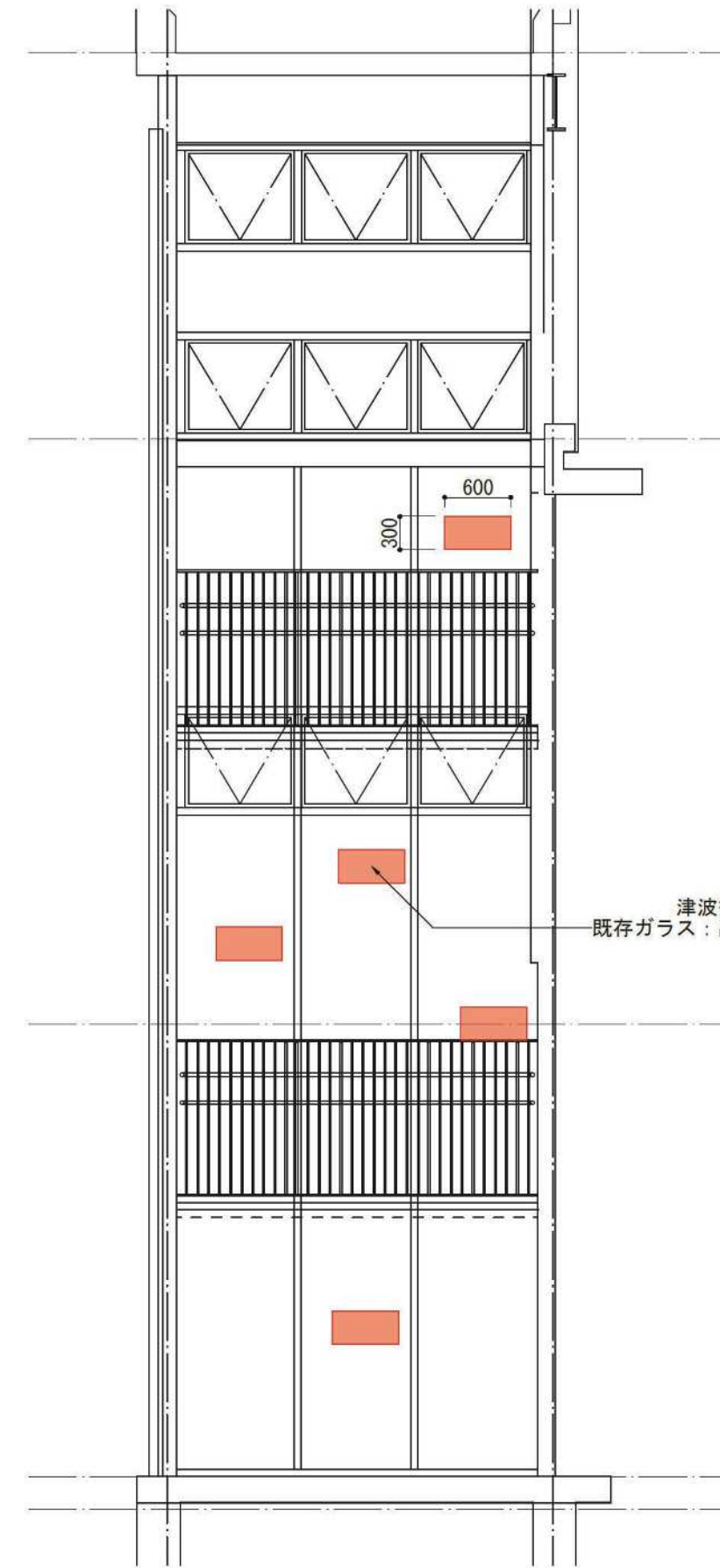
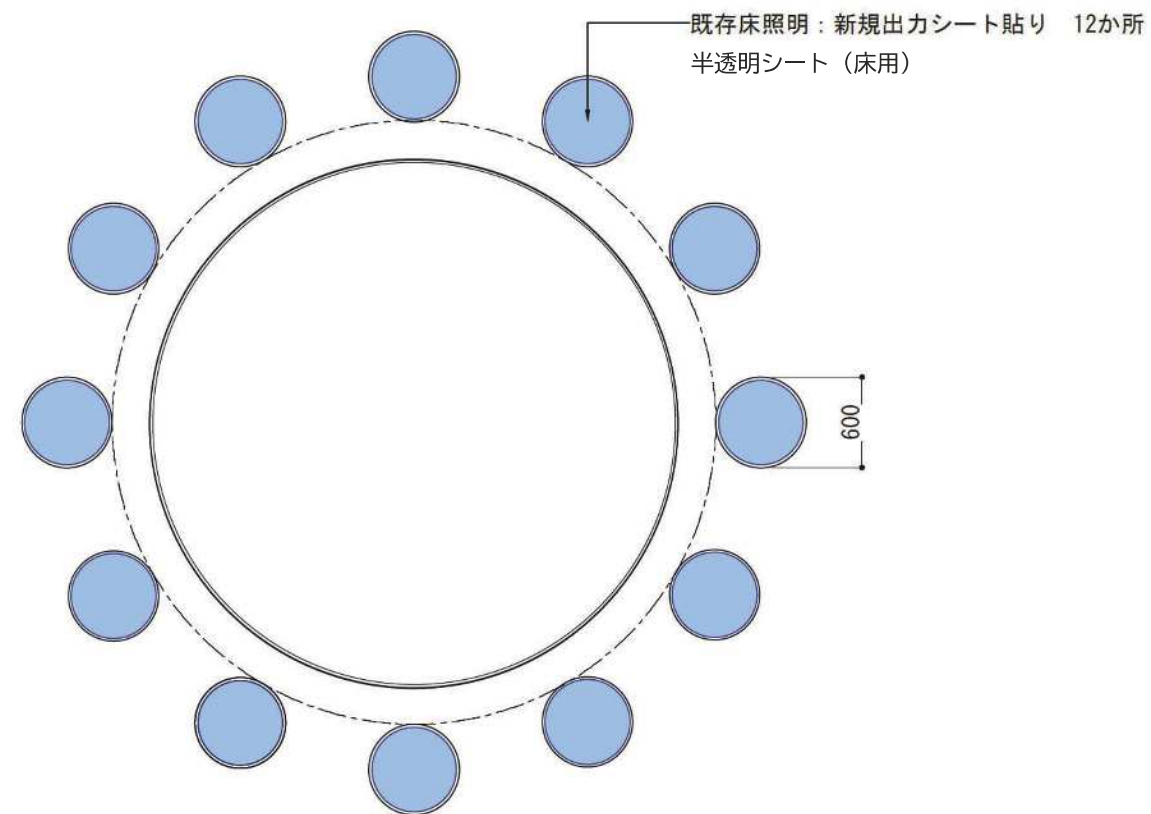
NO.

意-16





名称	摘要	数量	単位
備品			
防災グッズ	盗難防止加工含む	1.0	式
防災グッズ用パーツ		1.0	式
エンボス装置(スタンプ)		6.0	式
ベンチ	ATIC LIBERTY D500 張地:L-8598(Cランク) 同等品以上	4.0	台
DVD観賞用テーブル	arne ZERO-X ホワイット* /配線切り欠き加工 同等品以上	1.0	台
拡張マイク	サンワサプライ 400-SP062 同等品以上	5.0	台



■地震体験演出映像

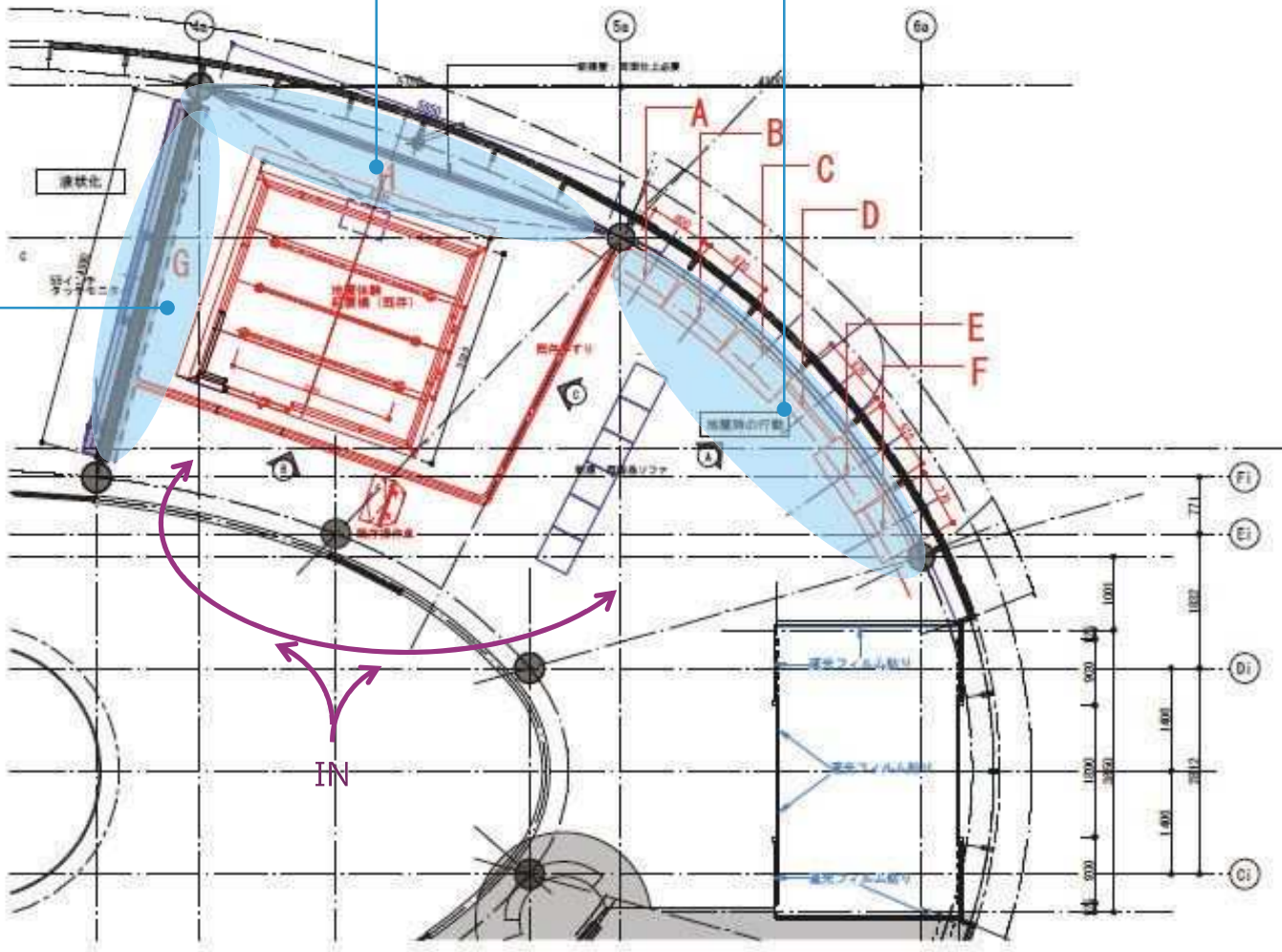
【スクリーン(200インチ程度)】
(※コンテンツについては別紙参照)

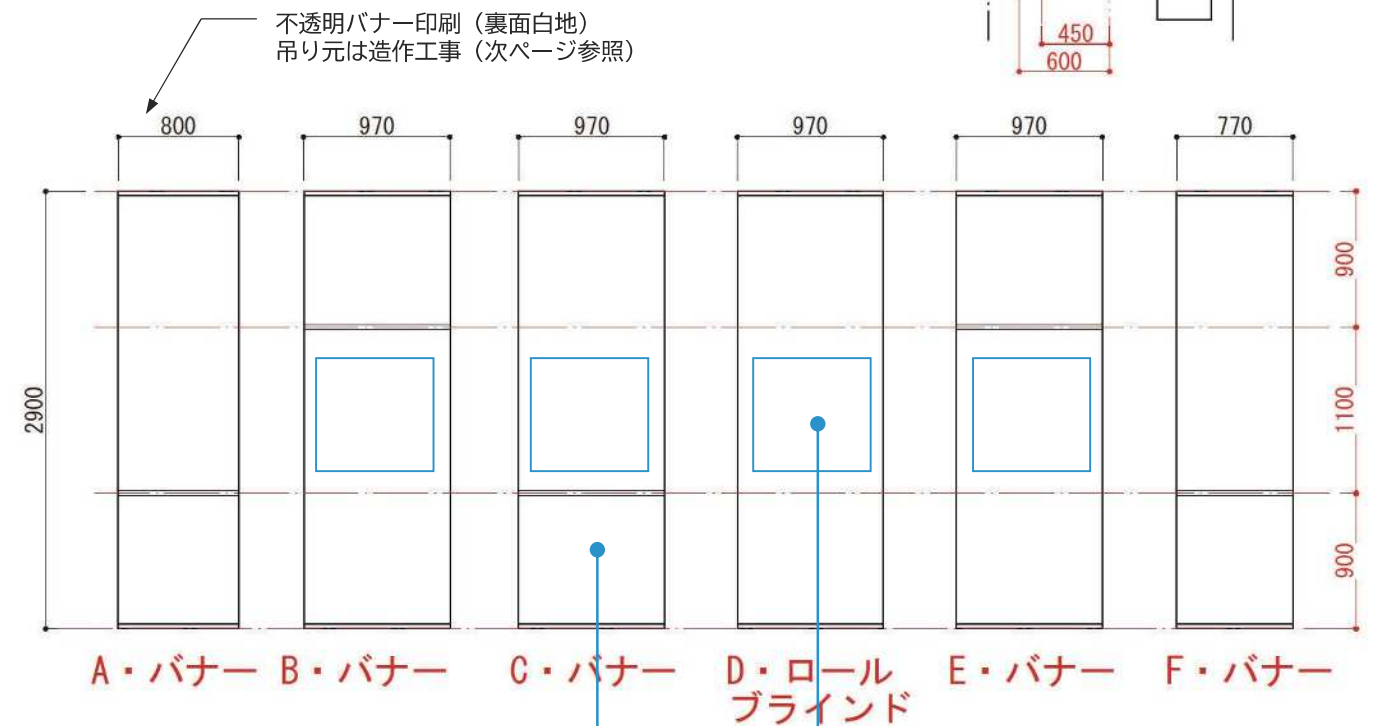
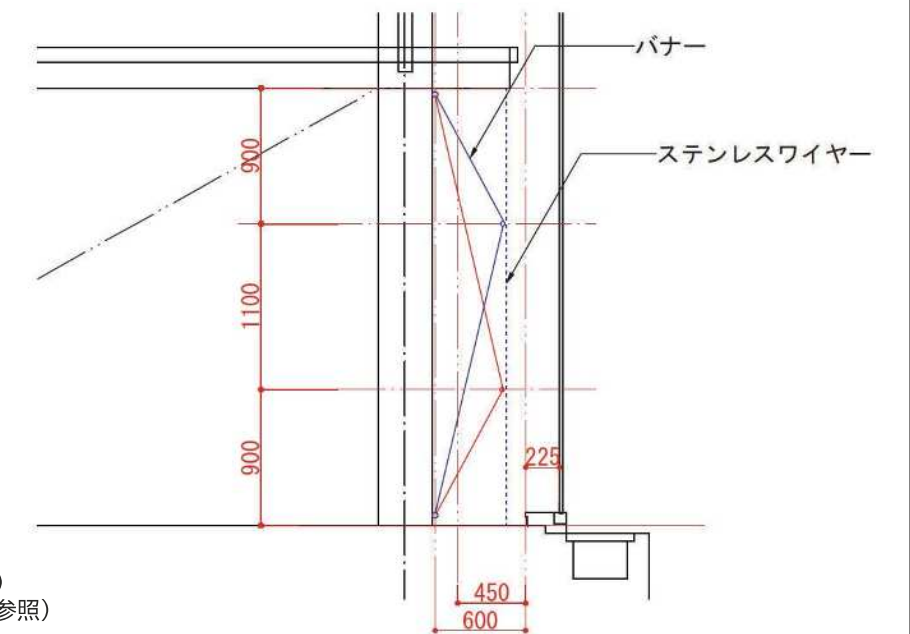
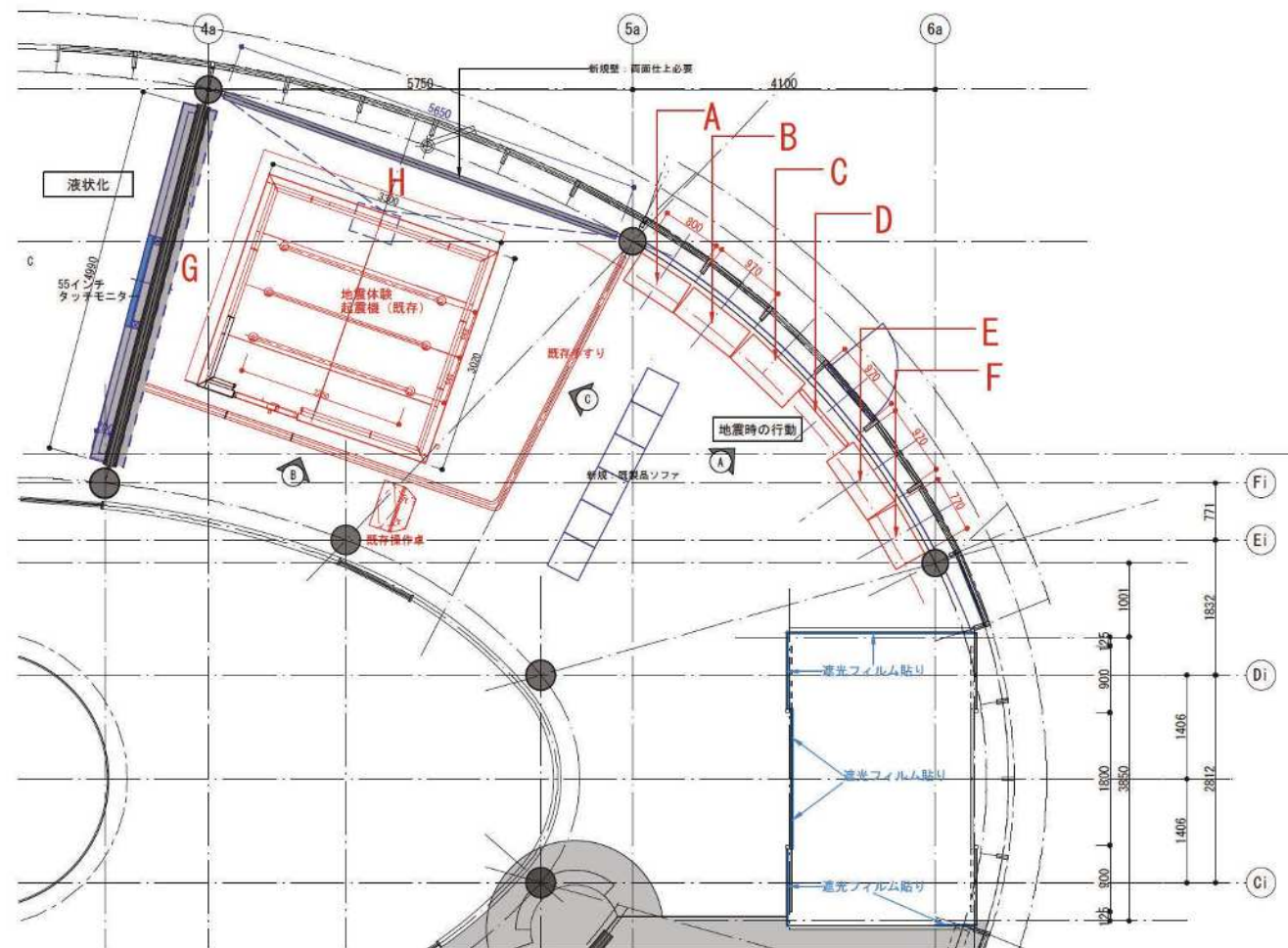
■地震体験演出グラフィック

- 【グラフィック(背景)】
- 地震体験演出映像と一連の背景画像。
 - 体験時に映像との連なりに違和感を生じさせないように留意する。

■地震時の行動

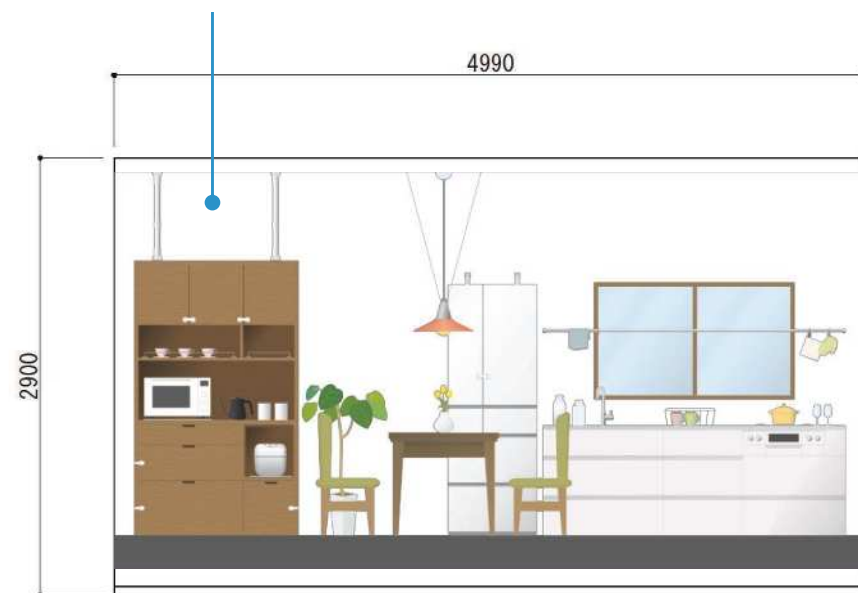
- 【グラフィック(バナー)】 ×6
- 能登半島地震における被害写真。
 - 建物倒壊、塀や外壁の損壊、家具転倒、落下物、ガラスの飛散、道路の損壊など、揺れによる被害を中心として構成。
- 【グラフィック(解説)】 ×4
- 地震発生時に取りべき、身を守る行動、避難路の確保等の行動。
 - 揺れが収まったあとの火の始末、火災発生時の初期消火行動。
 - 地震後の情報収集、近隣での声掛け、安否確認などの行動。
 - 避難が必要となった場合のブレーカーを落とすなどの行動。





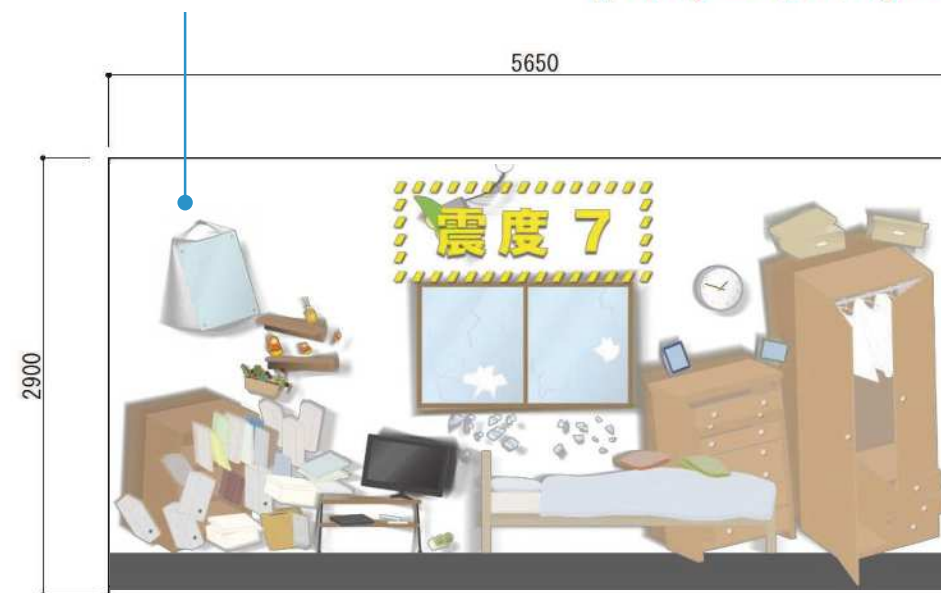
A・バナー B・バナー C・バナー D・ロール
ブラインド E・バナー F・バナー

■地震体験演出グラフィック



G・グラフィック壁 マグネットシート貼り（下地：建築鉄板壁）

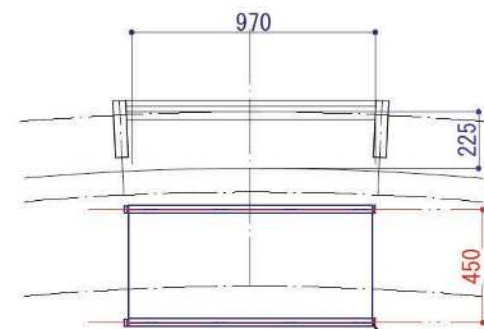
■地震体験演出映像



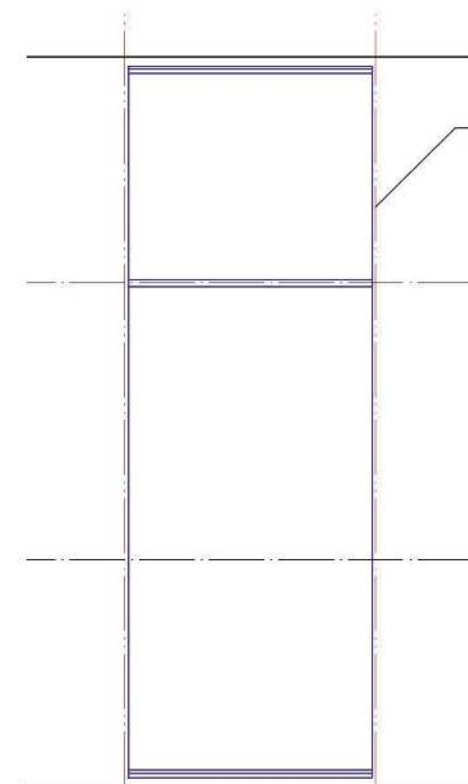
H・グラフィック壁 クロス貼り（下地：展示ボード壁面）

■地震時の行動(解説)

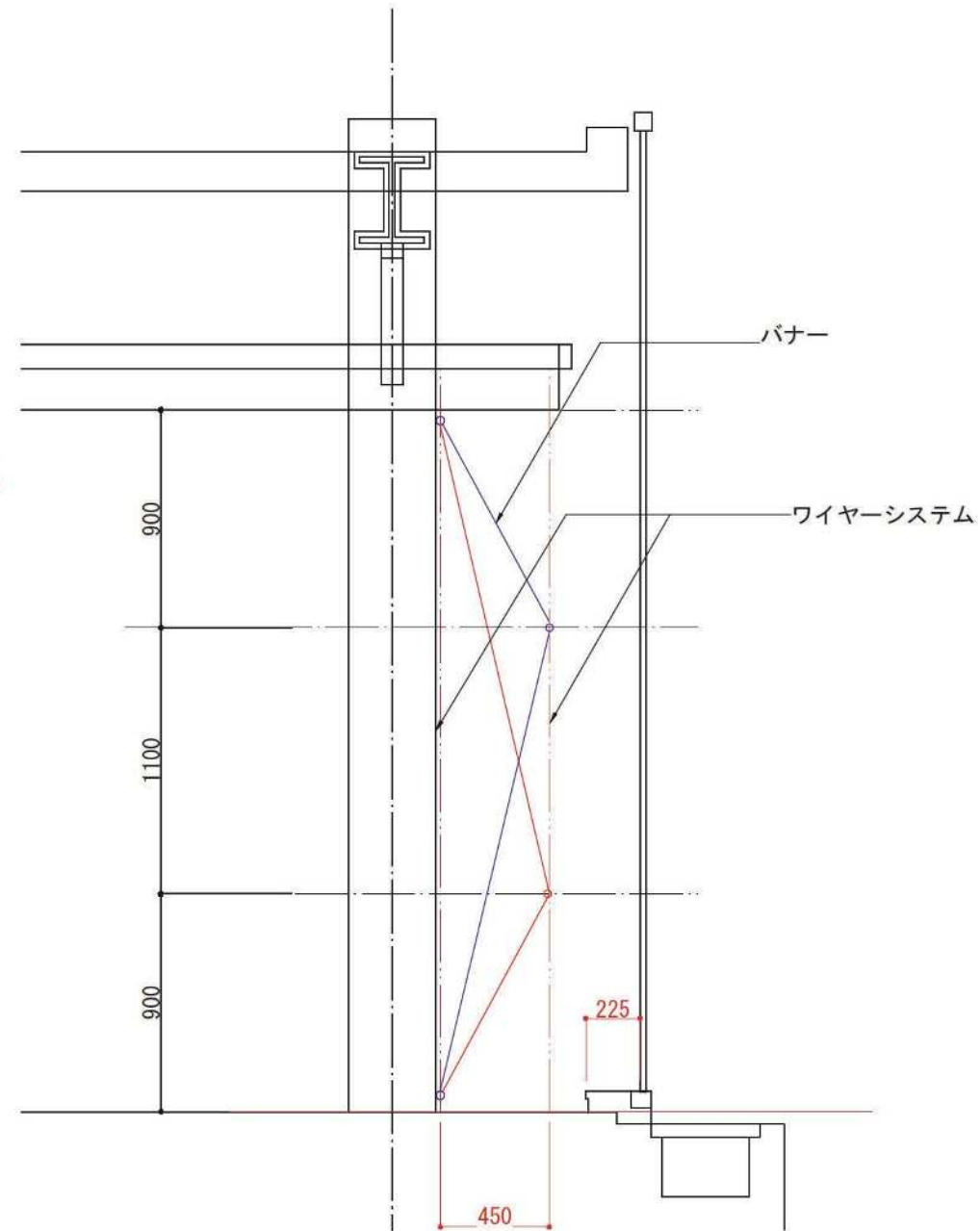
■地震時の行動(背景)



ワイヤーシステム



ワイヤーシステム



バナー

ワイヤーシステム

MEMO

四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託

REVISION

TITLE

グラフィック図

SUBJECTS

1F 地震体験

NO.

グー04

DRAWN

DESIGNED

CHECKED

DATE

2025. 04

SCALE

—

■避難所コーナー(実物再現)

【グラフィック(バナー)】×2

- ・ (避難所側) 避難所の背景画像
- ・ (住宅側) トイレの背景画像

【実物+キャプション】

- 避難所の生活再現
 - ・ 段ボールベッド
 - ・ 段ボール間仕切り
 - ・ 災害救助用毛布 など
- 在宅避難での生活再現
 - ・ 携帯トイレ、簡易トイレ
 - ・ カセットコンロ、ガスボンベ、灯油ストーブ、ポータブル電源、ランタン

※主にライフラインの代替となるもの
水、食料、非常持ち出し品は3階

■避難所コーナー(壁面)

【グラフィック(背景)】

- ・ 能登半島地震における避難所の写真。

【グラフィック(解説)】×4

- ・ 災害により日常の生活が困難になった場合の選択肢。自宅に留まる、避難所、福祉避難所、二次避難、自主的な避難所、その他。
- ・ 共助による避難所運営、開設から撤収までの運営フェーズ、共同生活のルール、避難所でのQOLの維持、感染症対策。
特に、避難所の解錠方法や、ペット同行避難者対応、女性の視点を取り入れた避難所運営、TKBS (トイレ、キッチン、ベッド、シャワー) 等の環境整備といった点に留意する。
- ・ 避難所生活の実情、能登半島地震における災害関連死の発生状況、近年の地震災害における災害関連死の発生プロセス。
- ・ 自宅避難の条件、トイレの使用可否の確認方法、ライフライン途絶時の代替策、キャンプ用品の活用。

■液状化コーナー

【グラフィック(背景)】

- ・ 能登半島地震による液状化被害を受けた市街地写真。

【グラフィック(解説)】×2

- ・ 液状化のメカニズムと被害様相。
- ・ 能登半島地震での液状化の被害分布とその地形的な特徴、地盤改良等の予防対策。
(または、富山県地震被害想定による地震液状化判定図)

【グラフィック(めくり)】×4

- ・ 液状化現象や対策についてのQ & A。
- ・ 表面に被害写真、めくった面にその原因が絵解きされるなど、わかりやすい構成。

■情報コーナー

【モニター(55インチ タッチモニター)】

(※コンテンツについては別紙参照)

■津波コーナー

【グラフィック(背景)】

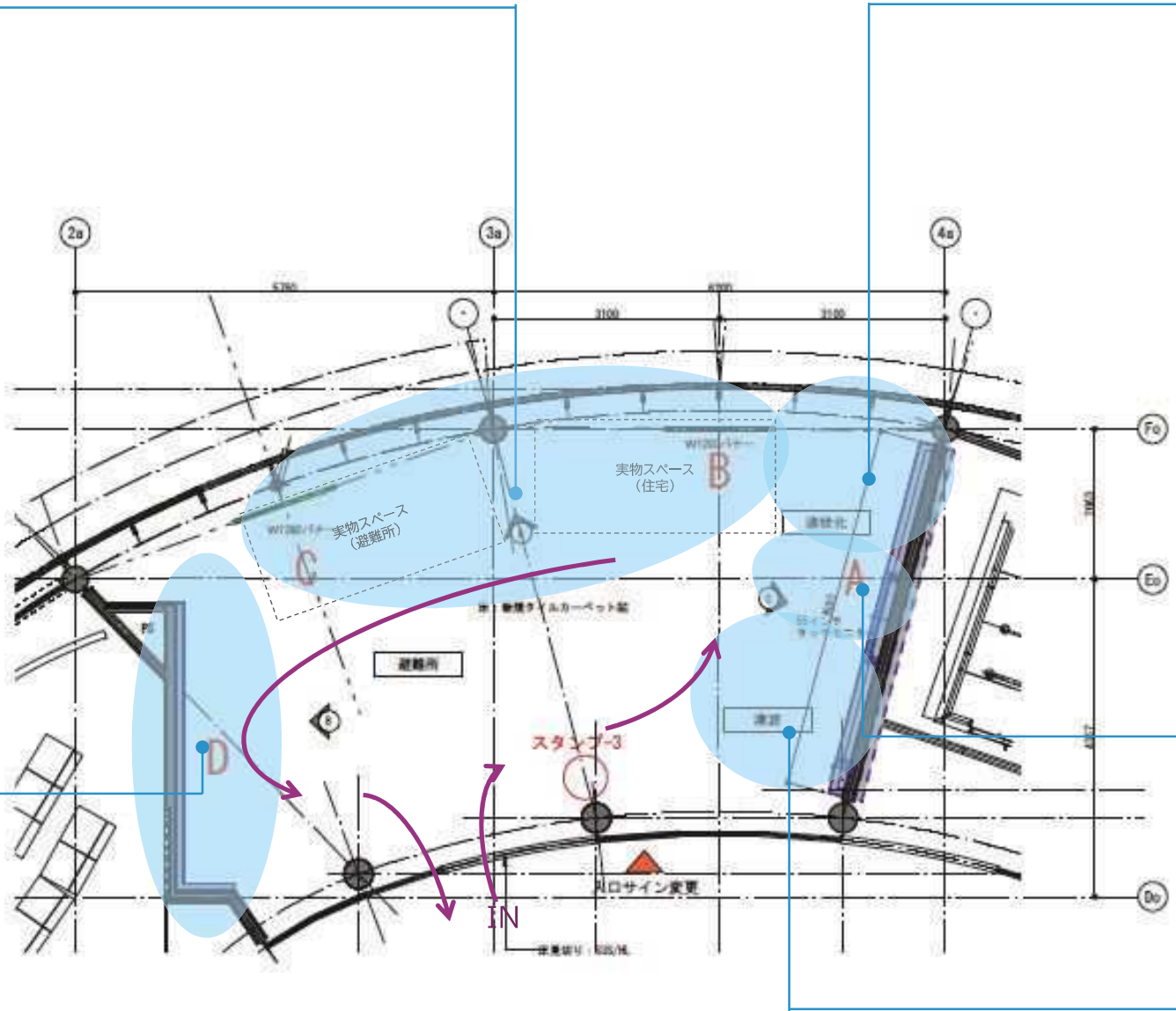
- ・ 能登半島地震による津波被害を受けた集落や港湾施設等の写真。

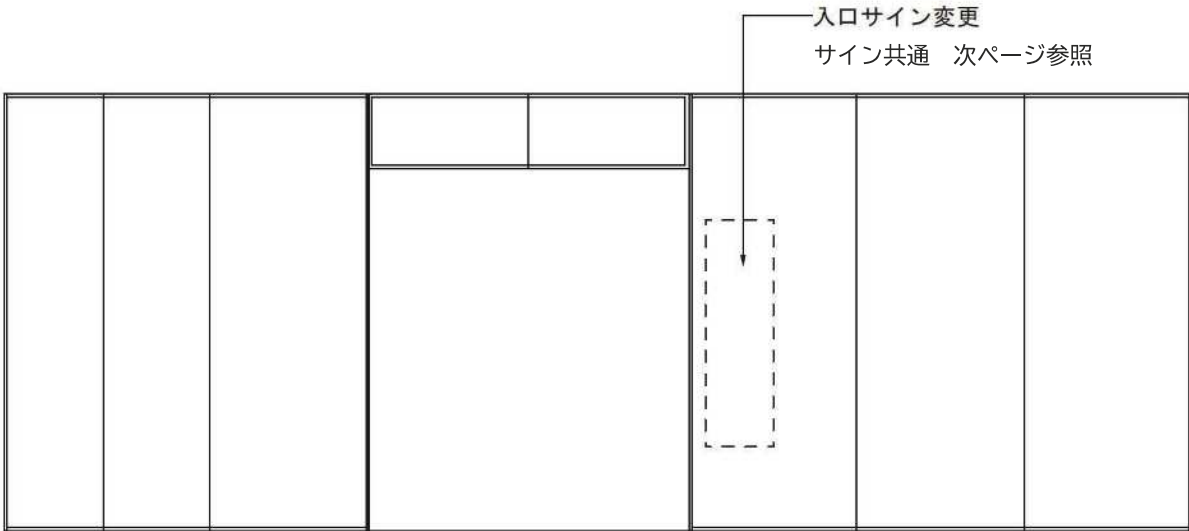
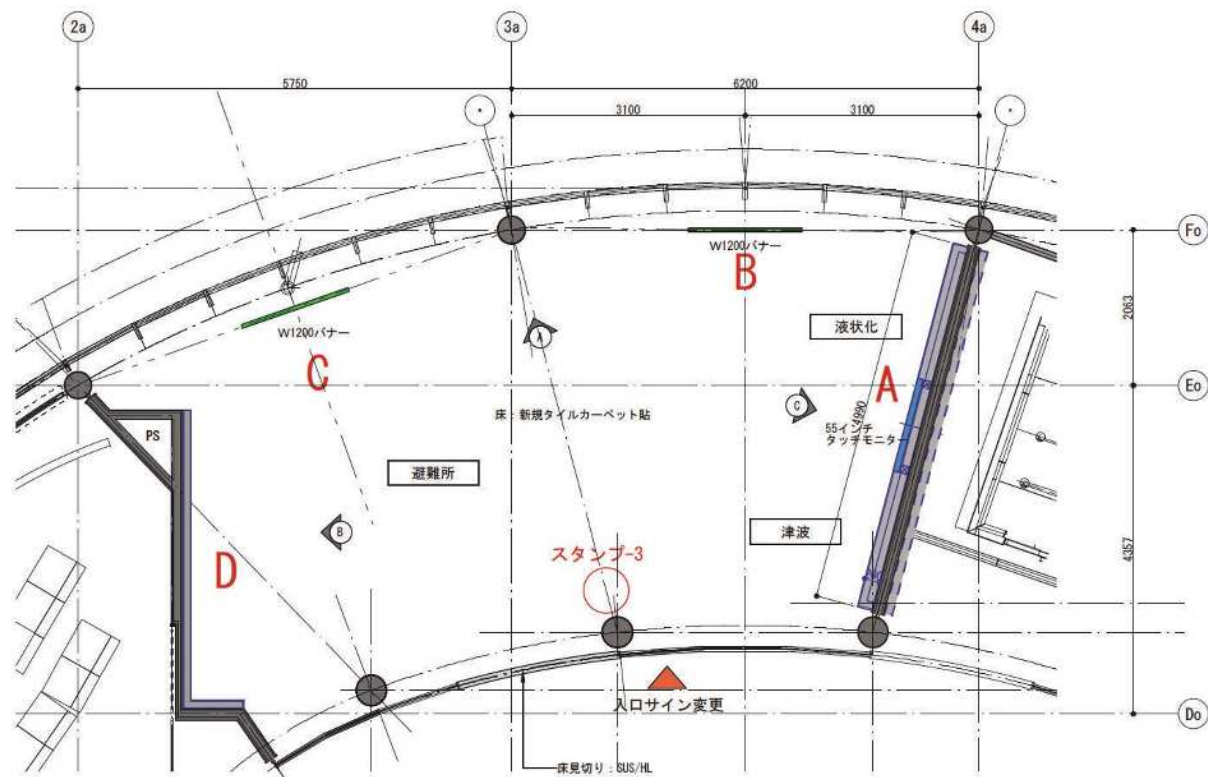
【グラフィック(解説)】×2

- ・ 能登半島地震の震源域と津波メカニズム。伝播速度、押し波引き波、河川遡上など。
- ・ 能登半島地震による津波の浸水範囲、浸水高、到達時間。(または、富山県の津波シミュレーション結果)

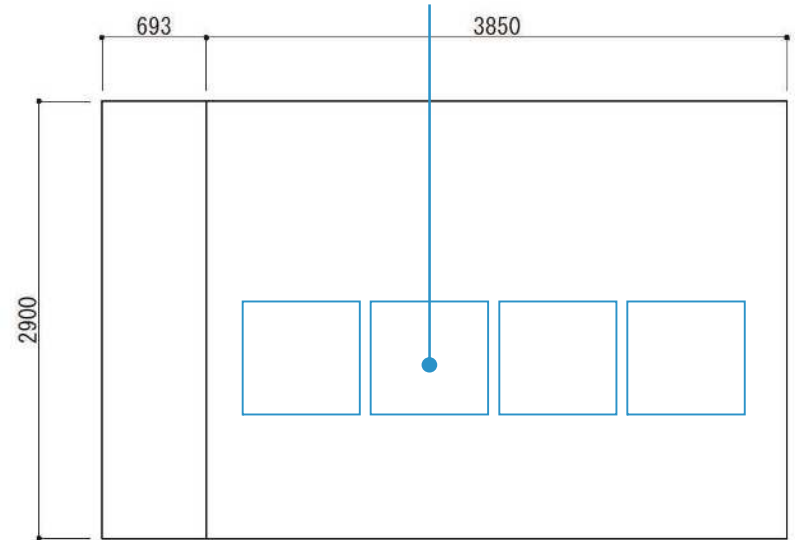
【グラフィック(めくり)】×4

- ・ 津波からの避難行動についてのQ & A。
- ・ 表面に地震後の様々な状況、めくった面でその状況に応じた正しい避難行動を表示するなど。





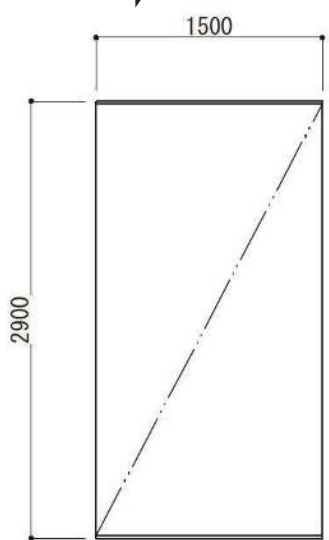
■避難所コーナー(解説)



D・グラフィック壁

クロス貼り (下地: 展示ボード壁面)

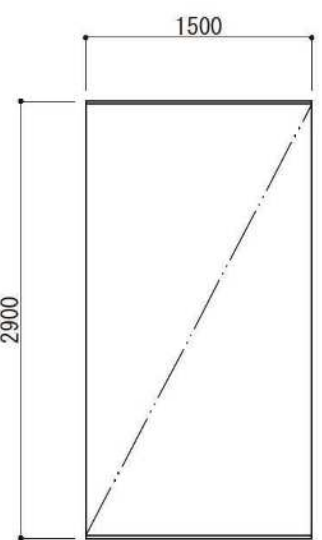
■避難所コーナー(背景)



C・バナー

不透明バナー印刷 (裏面白地)

■避難所コーナー(背景)

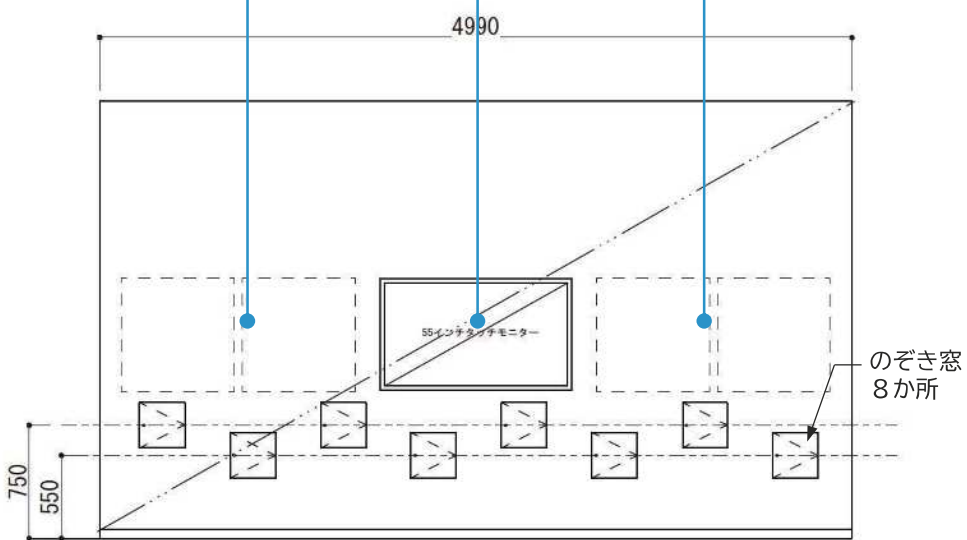


B・バナー

■情報コーナー

■津波コーナー

■液状化コーナー

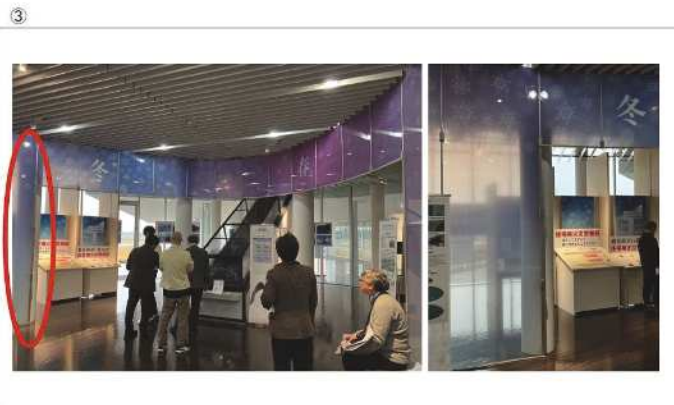
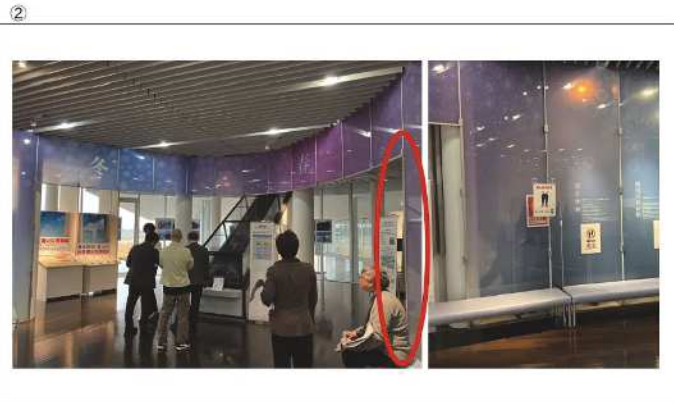
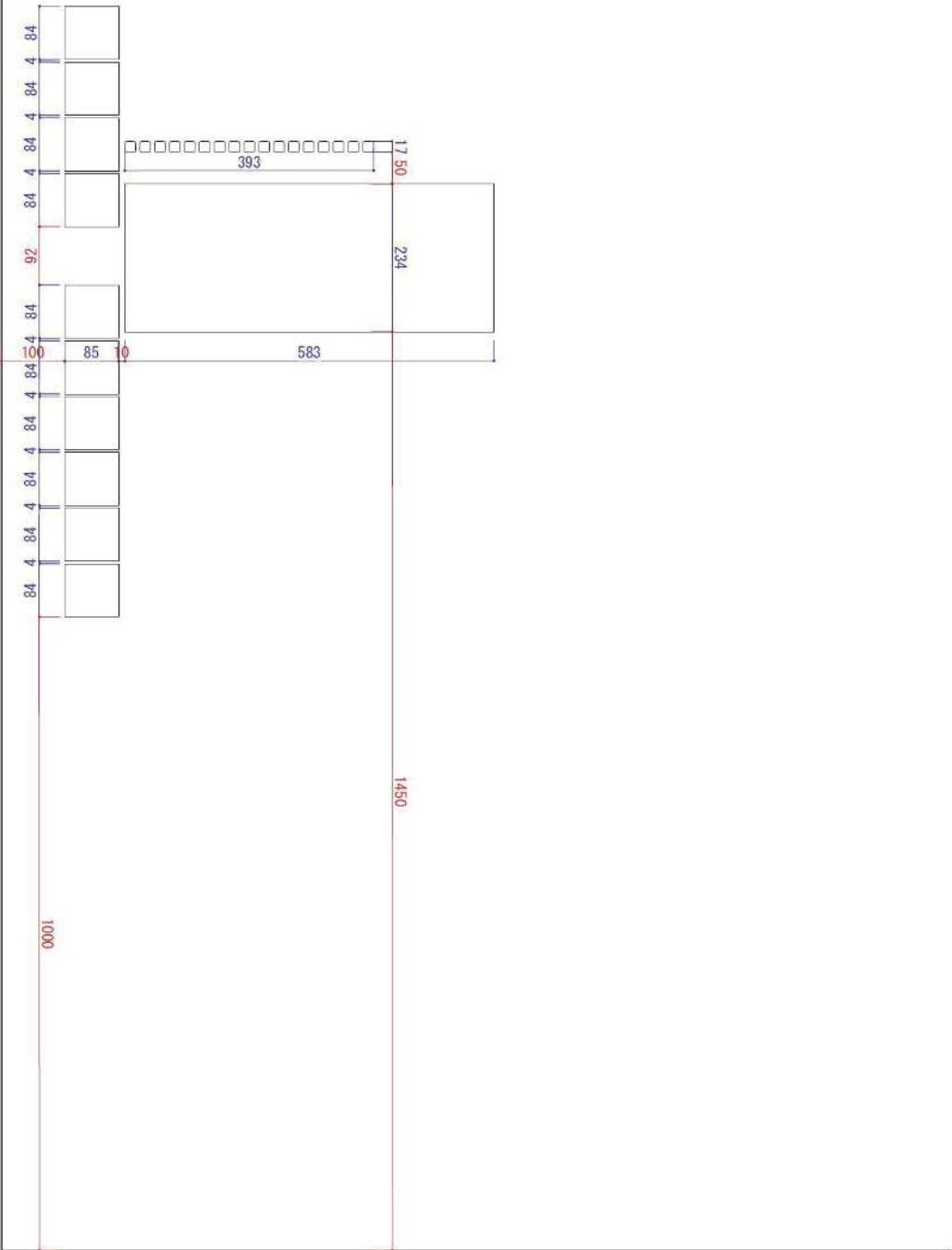


A・グラフィック壁

ベース: クロス貼り (下地: 展示ボード壁面)
のぞき窓: タックシート貼り/トビラ両面+奥の壁

サイン高さ(高齢者等 助け合い体験)

ガラス面 出力シート貼り



【S=1/10】

■冬の災害(壁面)

【グラフィック(背景)】

- 冬の富山の郊外・山間部のイラスト。

【グラフィック(解説ポイント)】 ×10カ所程度

- 低温や降雪によって起こる危険をイラストで表現。
- 融雪にともなう雪崩リスクも表現。
- イラストに二次元コードを付しておき、公共機関の対策情報や事前の備えなどの情報にアクセスすることができる。

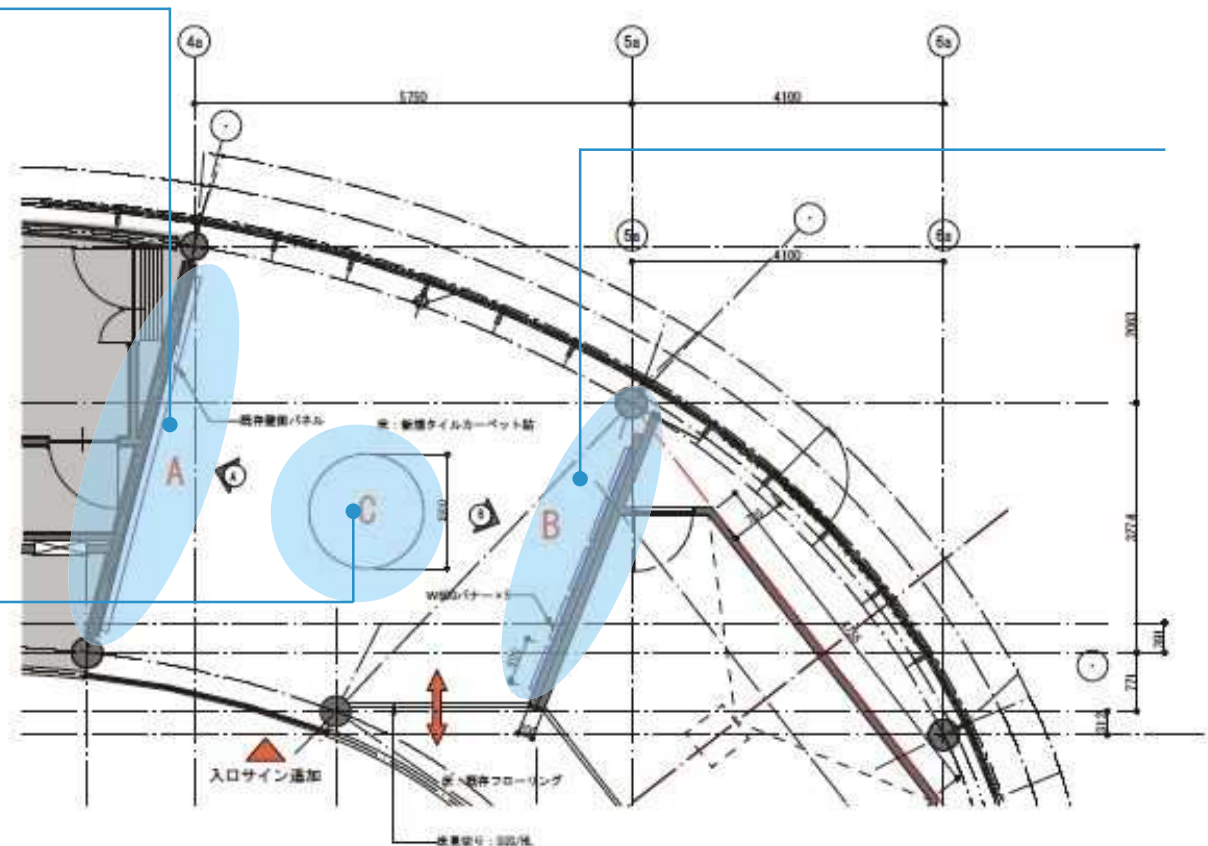
■冬の災害(テーブル面)

【グラフィック(背景)】

- 冬の富山の市街地のイラスト。

【グラフィック(解説ポイント)】 ×15カ所程度

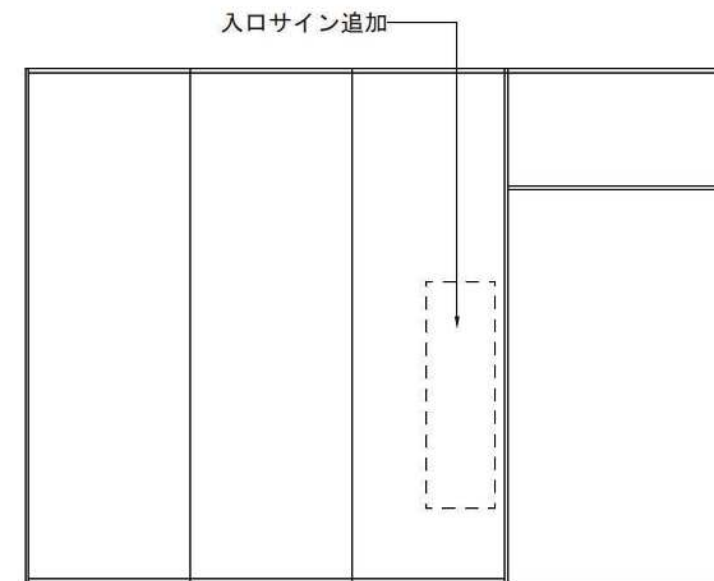
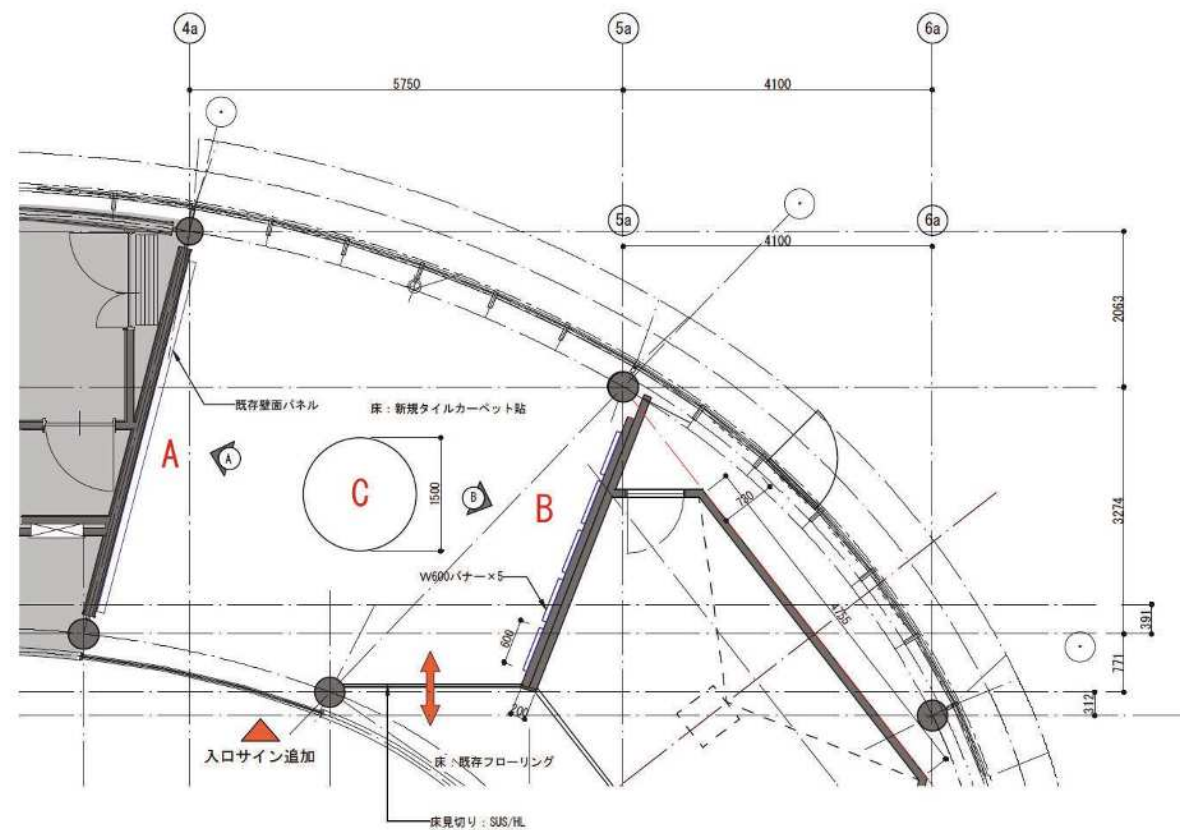
- 低温や降雪によって起こる危険をイラストで表現。
- イラストに二次元コードを付しておき、公共機関の対策情報や事前の備えなどの情報にアクセスすることができる。



■過去の大雪災害

【グラフィック(バナー)】 ×5

- 過去の大雪災害の際の積雪状況、被害の特徴と教訓、災害後に強化された対策などを紹介。
- 下記の5災害を想定。
 - ① 38豪雪(昭和38(1963)年)
 - ② 56豪雪(昭和56(1981)年)
 - ③ 59豪雪(昭和59(1984)年)
 - ④ 平成18年豪雪(2006年)
 - ⑤ 令和3年1月の大雪(2021年)



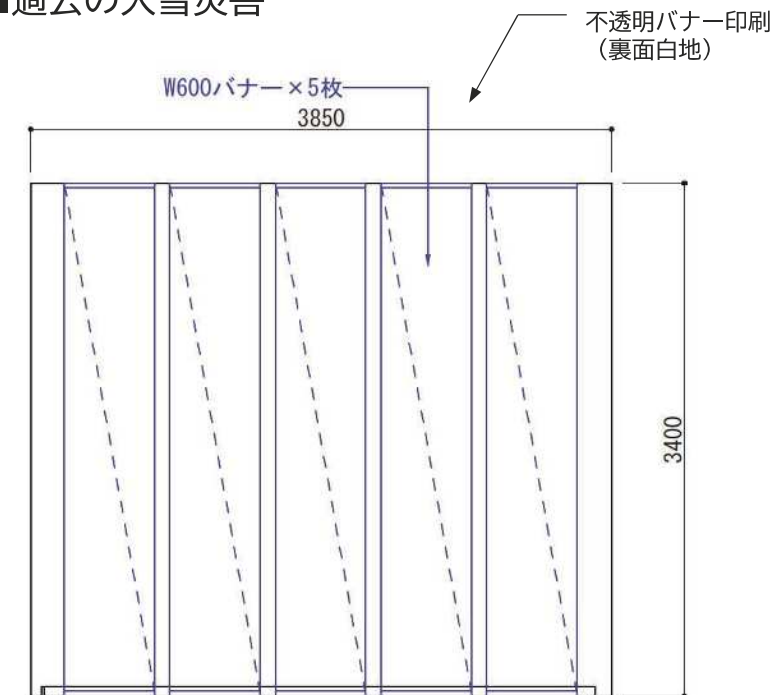
■冬の災害(壁面)



A・グラフィック壁

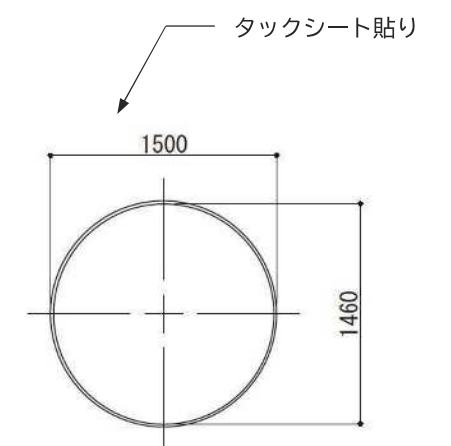
クロス貼り (下地: 展示ボード壁面)

■過去の大雪災害



B・グラフィック壁

■冬の災害(テーブル面)



C・ステージ

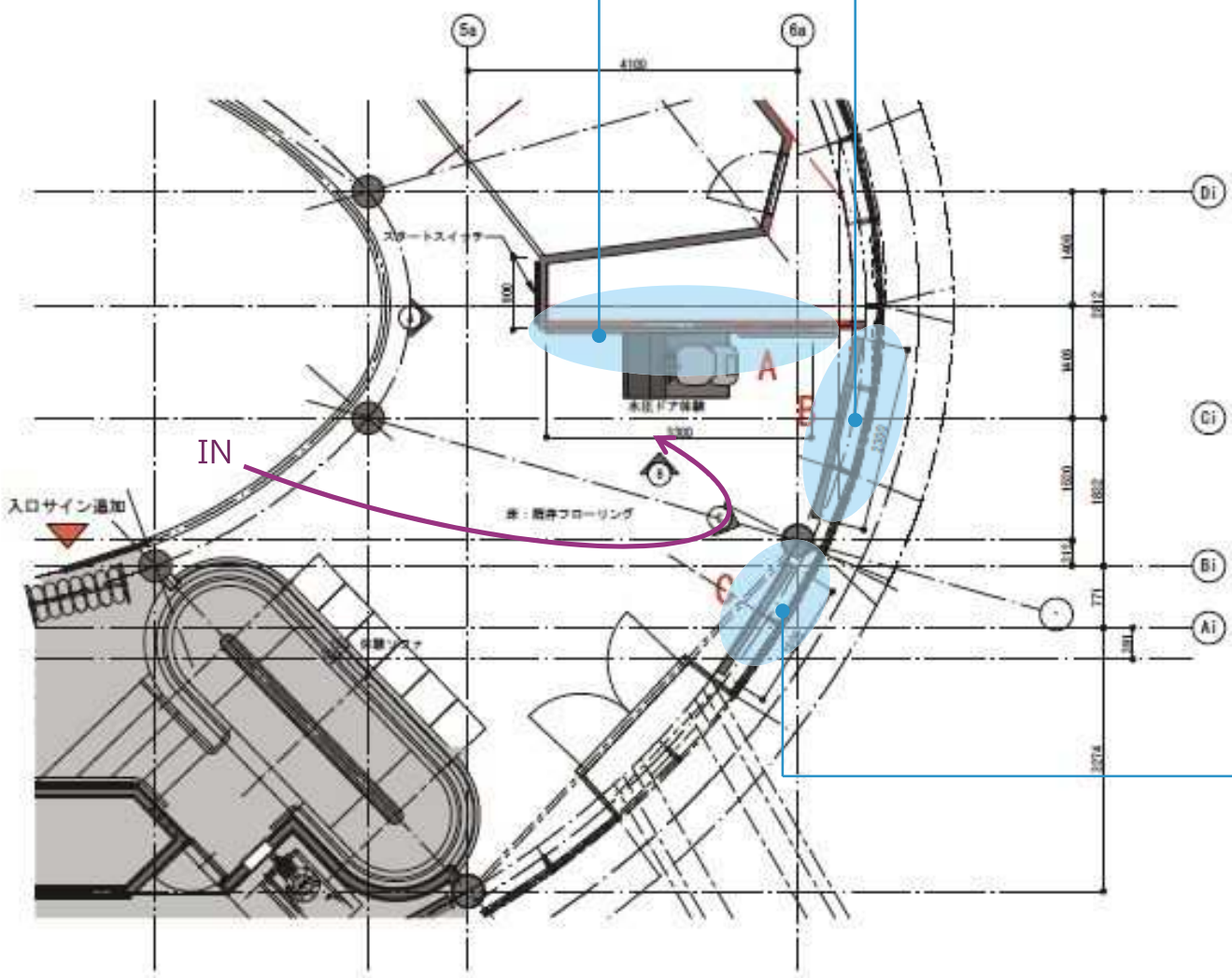
■都市型水害

【グラフィック(背景)】

- ・ 自動車の側面イラスト。
- ・ 水深表示。

【グラフィック(解説)】

- ・ ゲリラ豪雨などが引き起こす都市部で発生する水害について、近年の被害傾向や被害にあわない行動を紹介。



■富山県で警戒すべき風水害

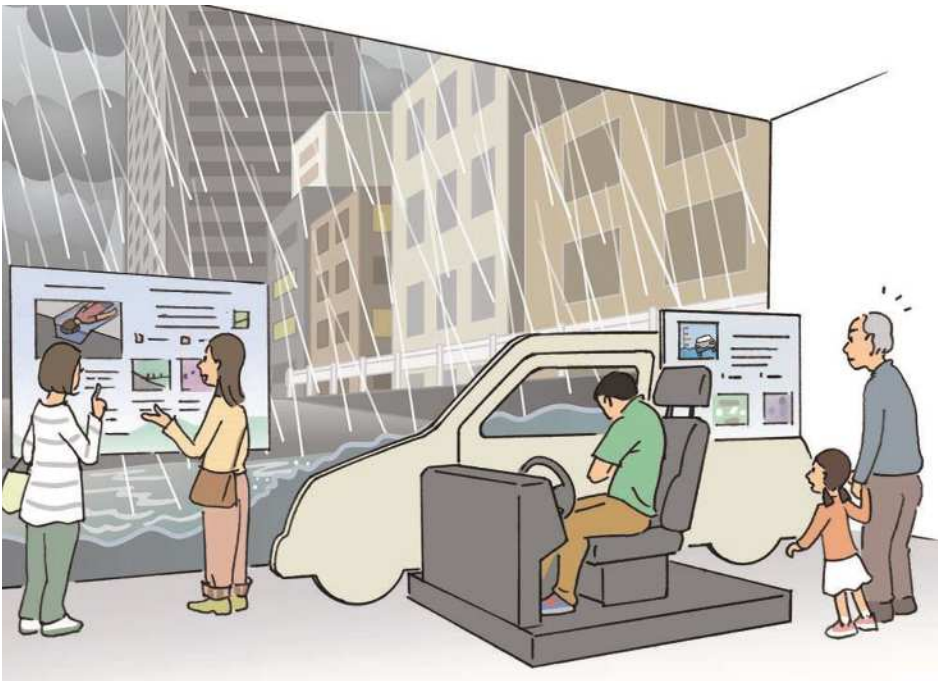
【グラフィック(バナー)】

- ・ 富山県の地形の特徴と警戒すべき風水害（河川氾濫、浸水、土砂災害、内水氾濫など）を啓発。
- ・ 高齢者等避難、避難指示といった警戒レベルの解説、マイタイムライン作成のすすめなど。

■用水路事故

【グラフィック(バナー)】

- ・ 農業用水路への転落事故の発生状況、富山県の農業用水路の特徴。
- ・ 事故にあわないための行動の啓発、事故防止のための地域での対策紹介など。



MEMO

四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託

REVISION

TITLE

グラフィック図

SUBJECTS

2F 水害コーナー

NO.

グー10

DRAWN

DESIGNED

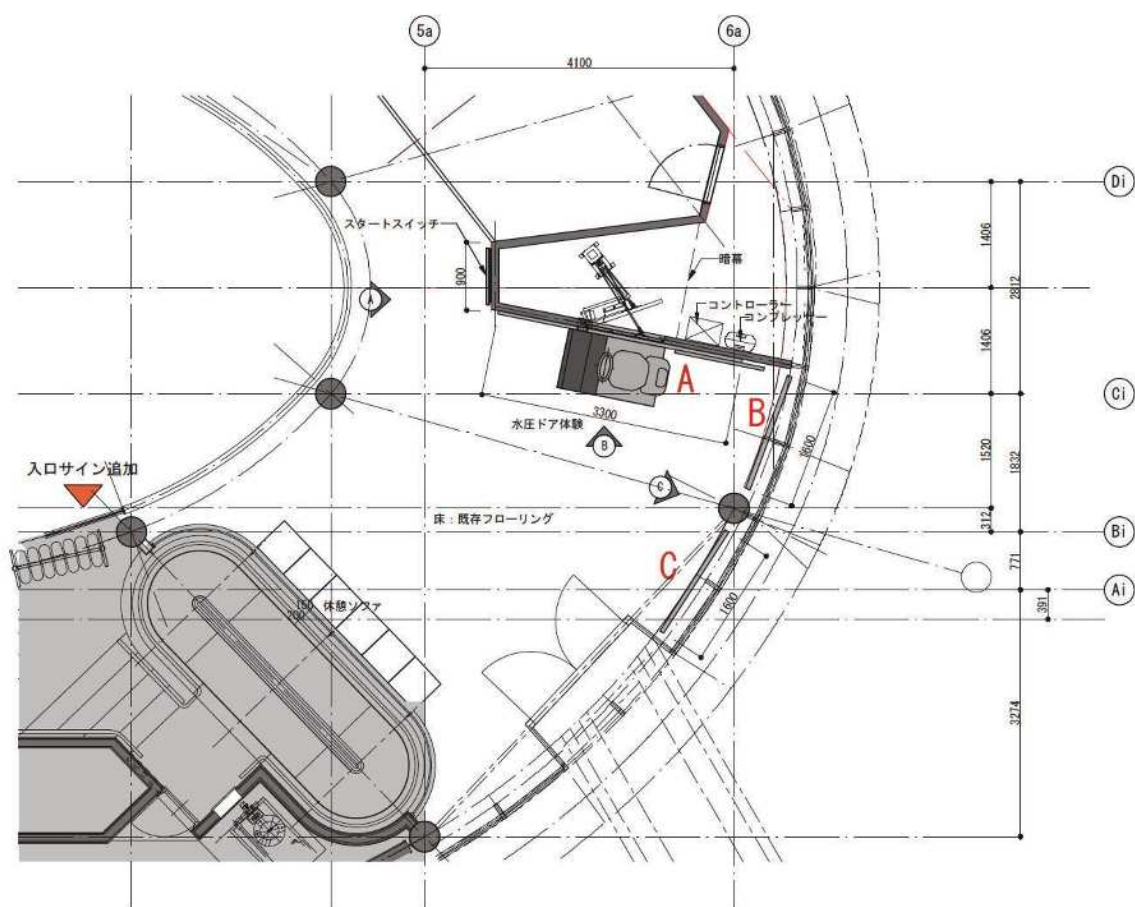
CHECKED

DATE

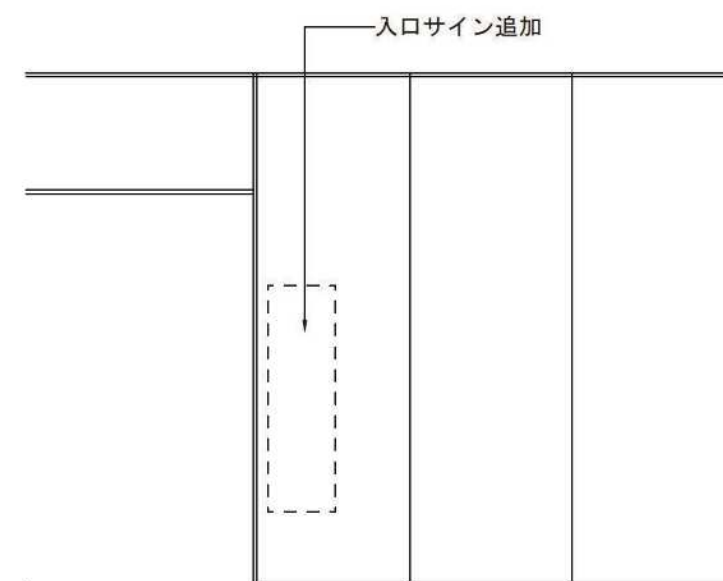
2025. 04

SCALE

—

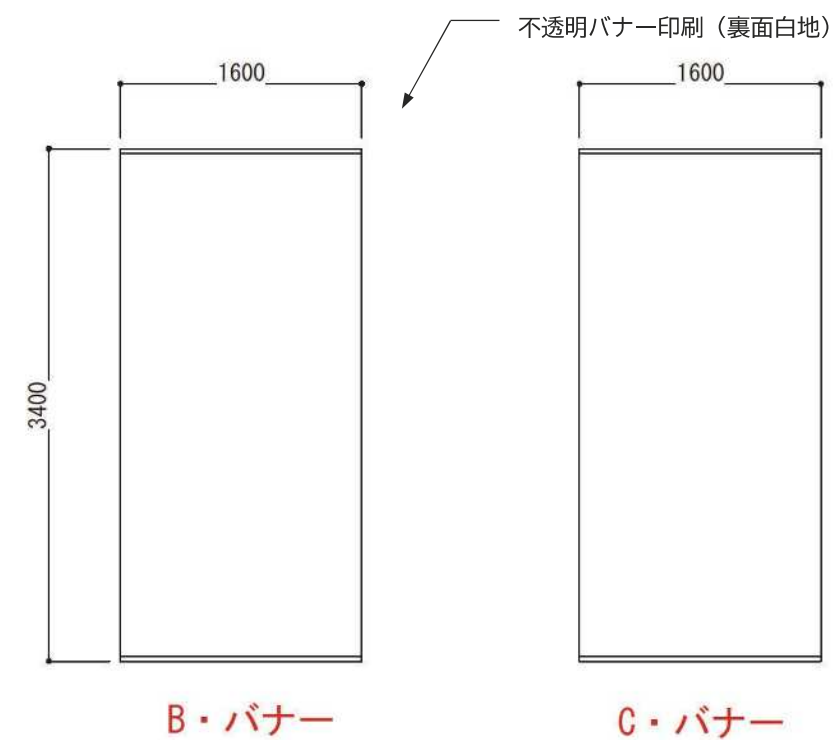
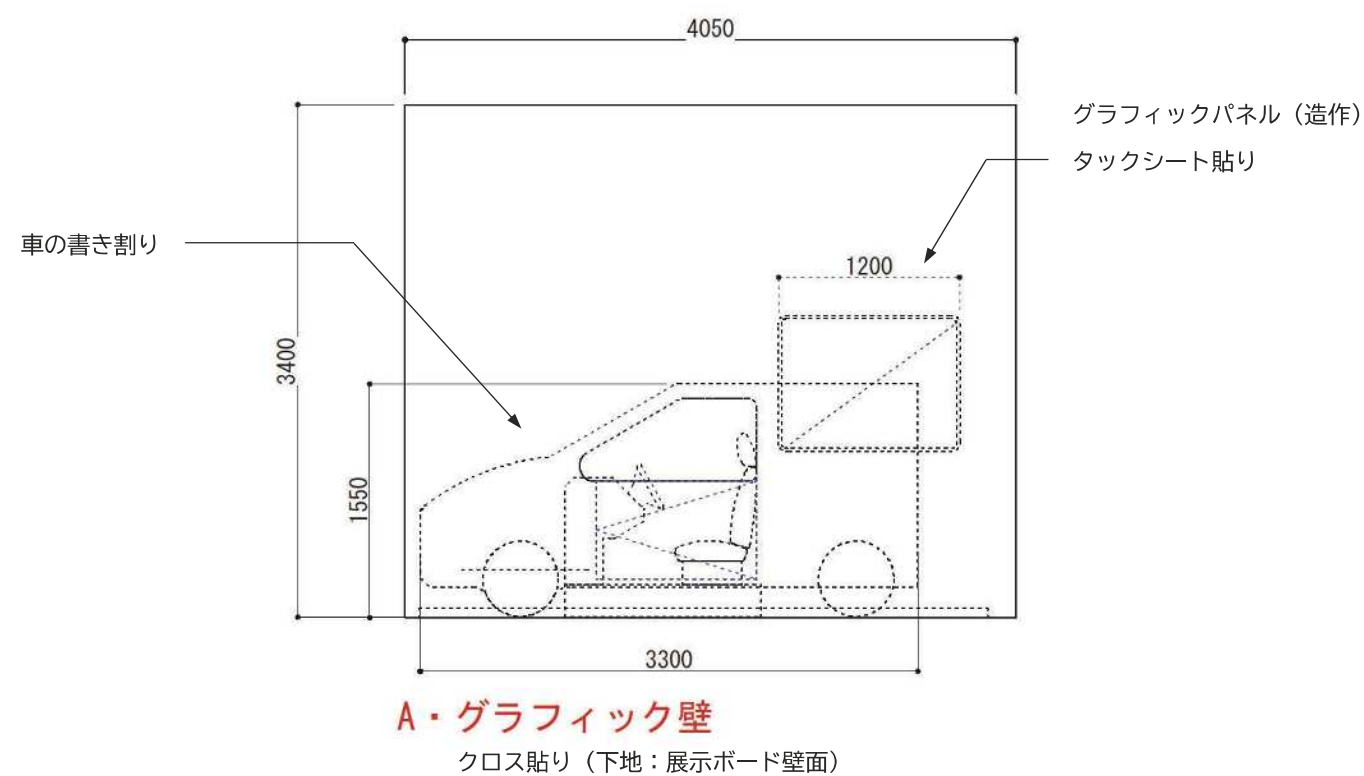


■都市型水害



■富山県で警戒すべき風水害

■用水路事故



■非常持ち出し品、備蓄品

【グラフィック(解説)】

- 家庭での防災グッズの備蓄方法について解説する。
- 備蓄品のジャンルやリスト、備蓄量の目安、ローリングストックのやり方、非常持ち出し袋や備蓄品の保管方法など。

【実物+キャプション】

- 非常持ち出し品、備蓄品の実物展示。
- 誰もが必要な基本品目一式のほか、女性、高齢者、乳幼児、障がい者、ペットなどの属性に応じたグッズを展示。
- キャプションではどのような場面で役立つかを紹介。

■住宅耐震化と家具転倒防止

【グラフィック(解説)】

- 住宅の耐震化に向けた、耐震診断、耐震改修の必要性。
- 富山県や市町村が行っている支援事業の情報、詳細情報のURLなど。

【グラフィック(解説)】

- 家具の転倒防止対策について、家具ごとにイラストで紹介。
- 食器棚、冷蔵庫、タンス、照明器具、テレビを想定。
- 避難路の確保、寝る場所の安全確保など家具配置の工夫について紹介。

【実物+キャプション】

- 家具転倒防止用の金具、チェーン、ベルト、粘着マット、ガラス飛散防止フィルム、免震ブレーカーなどの実物を展示して使い方を紹介。

■わが家の3日間の備蓄

【グラフィック(解説)】

- 4人家族で3日間に必要な水・食料・日用品のボリューム感を実物大で表示。
- 総重量表記等も行う。

■防災チェックシート

【グラフィック(チェックシート)】

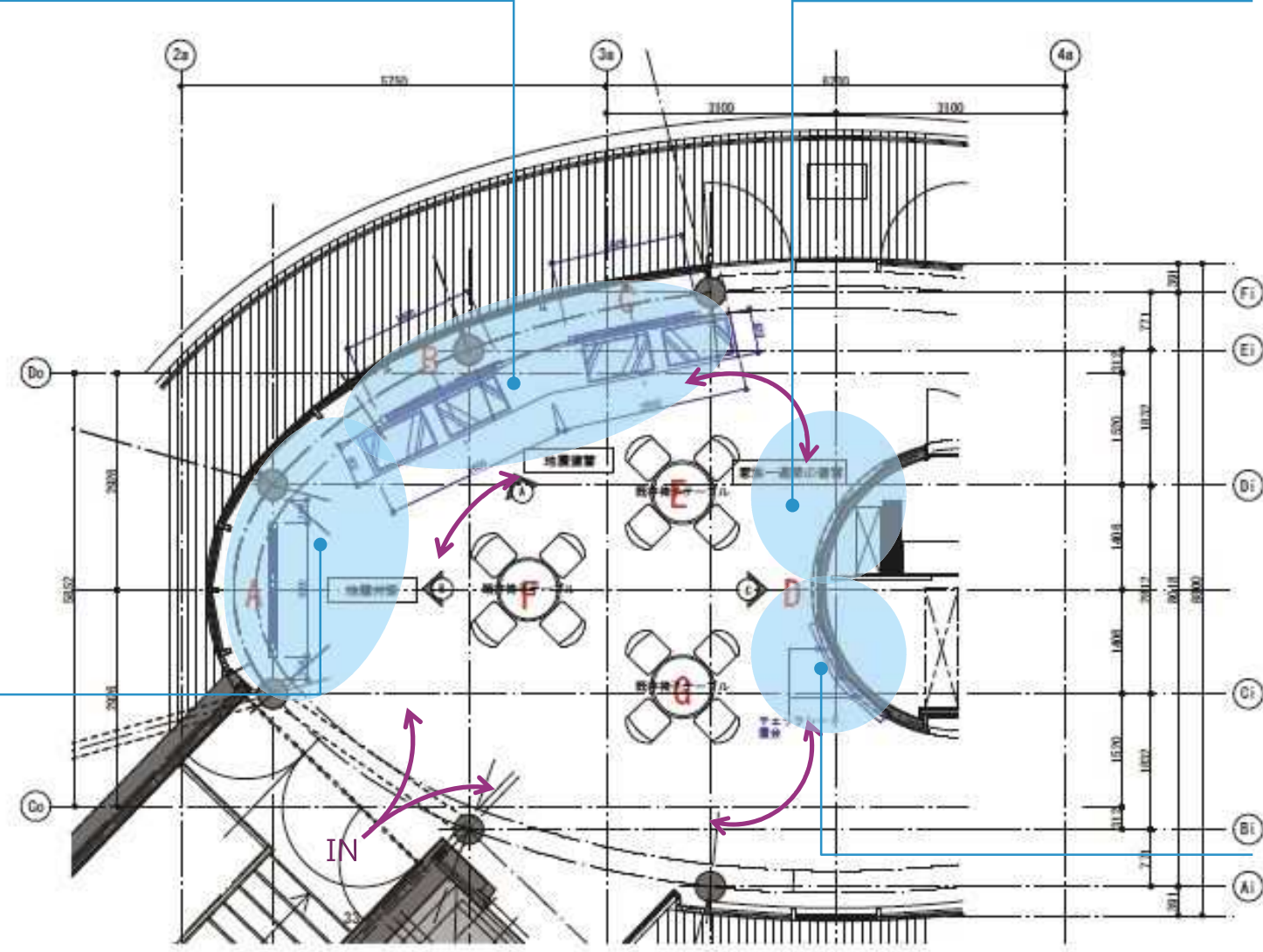
- 多様な属性に対応する、自分に必要な備えの方法、必要な物品を見つけるチェックシート（※版下データ制作まで）。

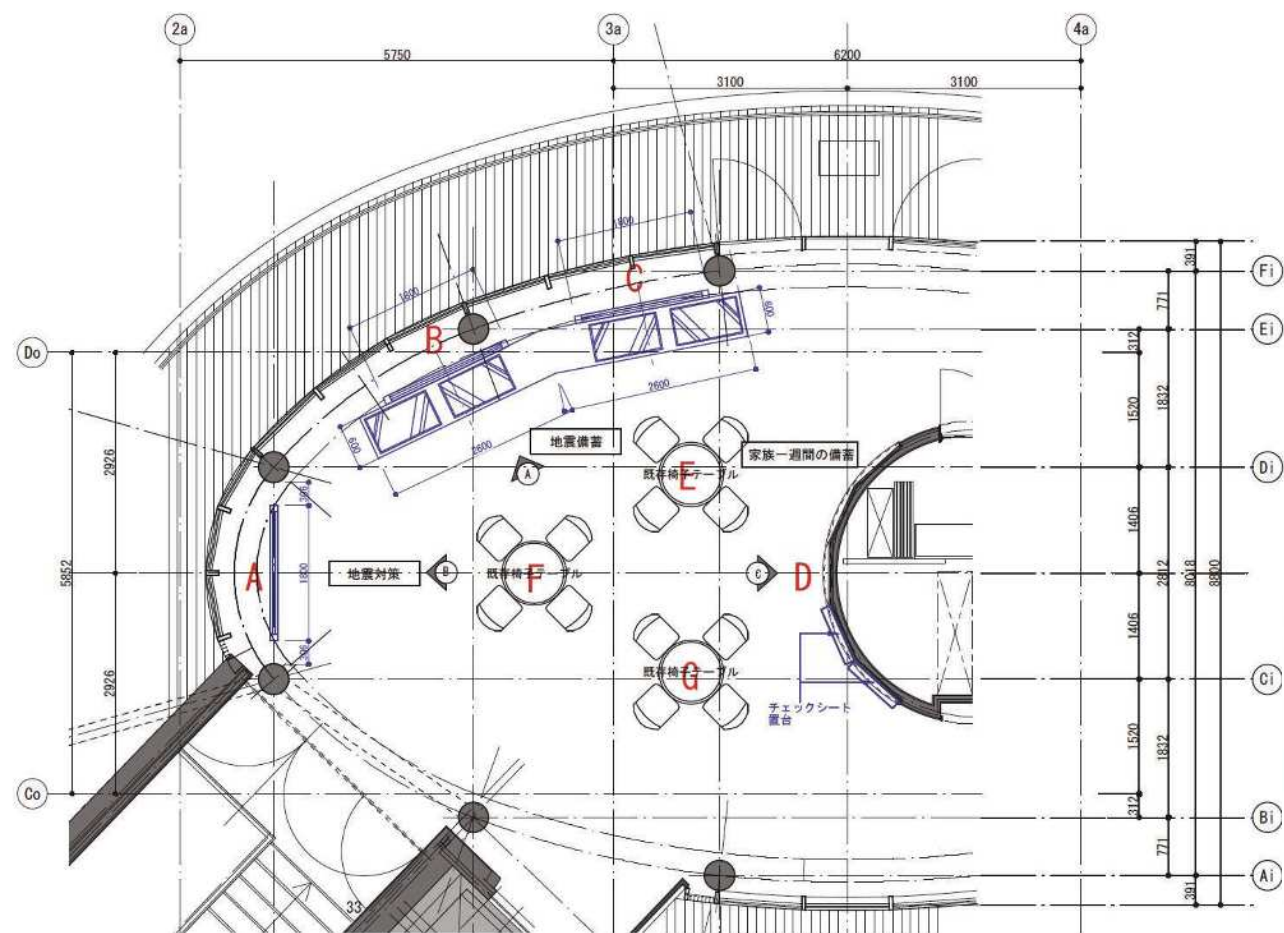
【グラフィック(使い方)】

- チェックシートの使い方を説明。

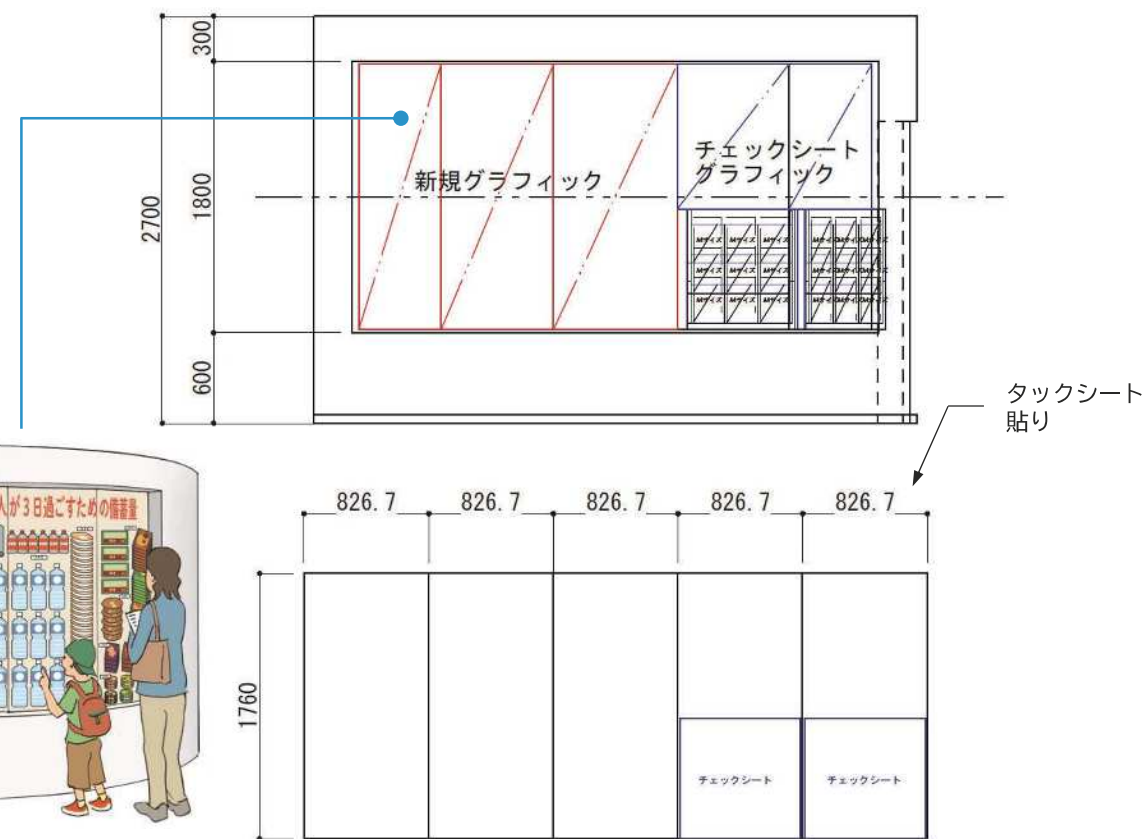
【造作(ラック)】

- わたしの防災チェックシート用のラック。





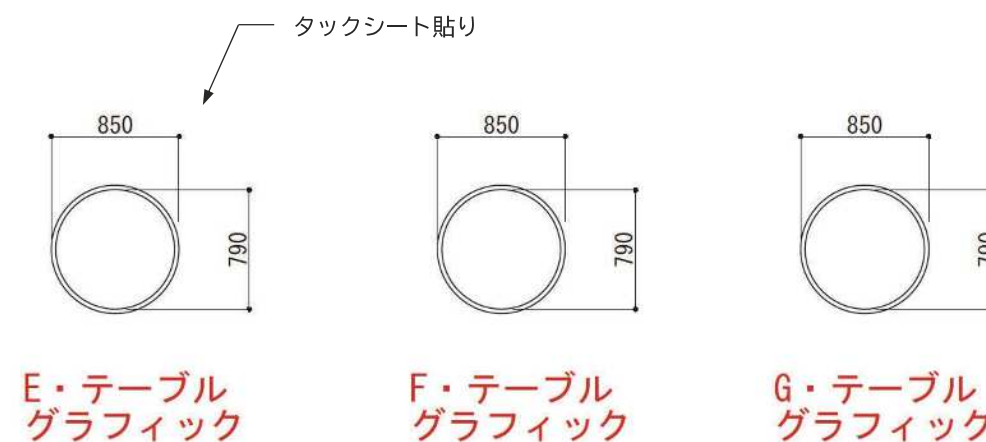
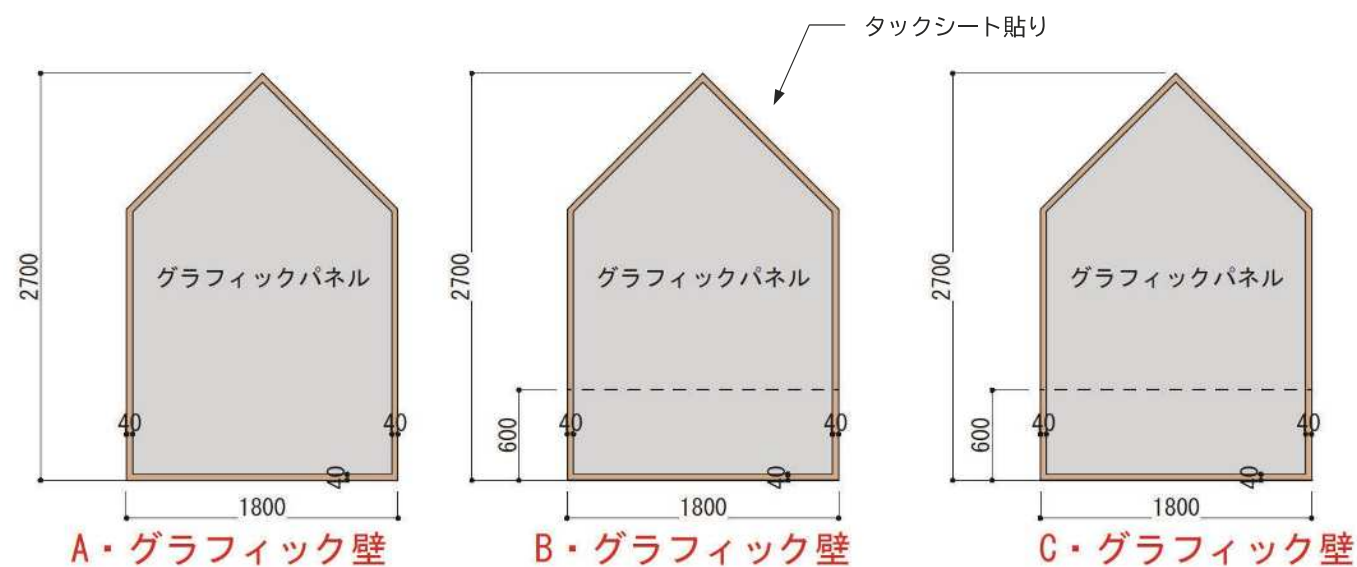
■わが家の3日間の備蓄 ■防災チェックシート(使い方)



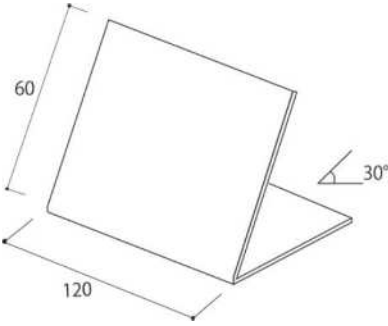
D・パネル

■住宅耐震化と家具転倒防止

■非常持ち出し品、備蓄品



■キャプション



・キャプション ×50点
アクリルベース シート貼り

■チェックシート



・チェックシート
A3両面（折り） 版下のみ作成
10種類作成

■スタンプシート・マスター証

・スタンプシート ×1
A5 版下のみ作成



・マスター証 ×1
カードサイズ 版下のみ作成



AV-01	ガイダンス映像
-------	---------

時間（分）	スタート	種別	待機画面	ナレーション	多言語対応	音響	送出機材	モニター / PJ(投影サイズ)
3 min	リモコン 操作(解説員)	映像 コンテンツ	3 min	あり (日本語)	なし (日本語のみ)	あり	HDメディア プレーヤー	PJ(10,000lm) <Φ3,500>

※著作権処理費は展示工事で一括計上のため個別計上は不要

[コンテンツ概要]

- ・体験に先立って、ガイダンス映像を視聴いただき、体験の心構えと目的意識をもってスタートすることで、防災の大切さの実感につなげる。
- ・映像上に表示される文字は日本語のみ。但し、2方向から読めるようにレイアウト。

[コンテンツ展開]

0.待機映像が流れている(富山県の航空写真：平穏な日常)

1.「スタートボタン」で映像スタート

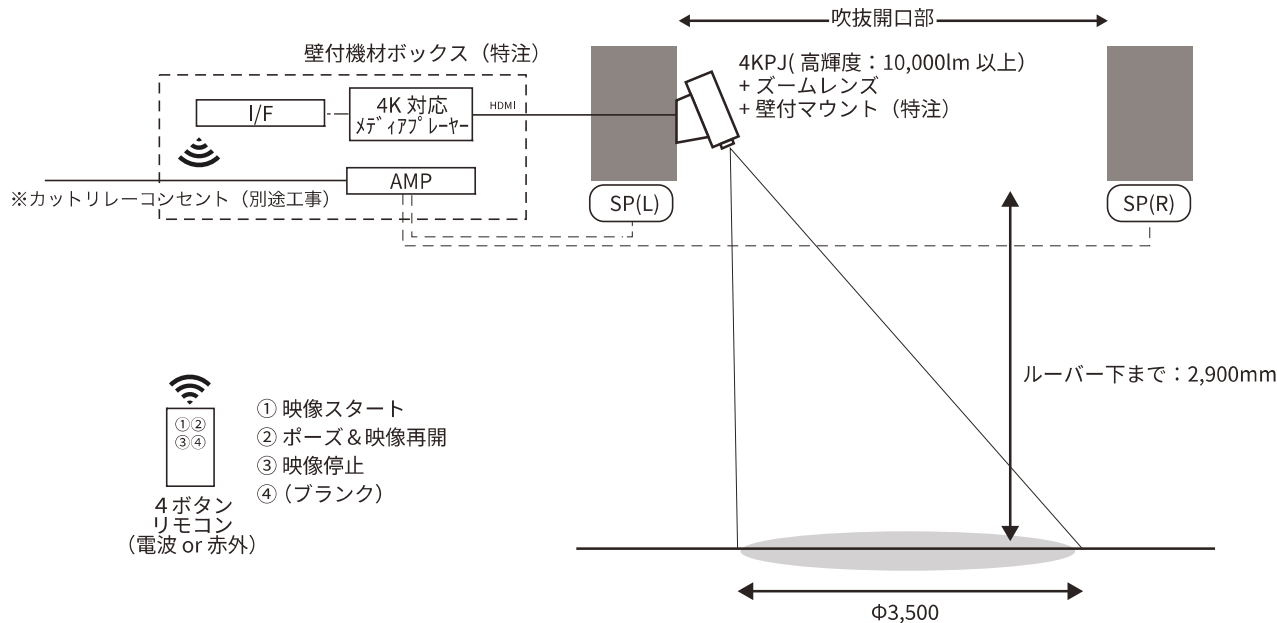
- ①能登半島地震
 - ・北陸地方のマップや航空写真を投影。
 - ・能登半島地震による激しい揺れ、地盤の隆起、津波遡上、液状化など、象徴的な被害シーンを映し、当時の記憶を呼び戻す。
- ②富山県の災害の歴史
 - ・富山県のマップや航空写真にズームアップ。
 - ・富山県で起きてきた、風水害、土砂災害、大火、雪害などの災害の歴史を映像資料で振り返る。
 - ・それらの災害がどの季節に発生してきたかを意識させ、四季防災館のコンセプトを伝える。

2.「ポーズボタン」で映像ストップ⇒解説員による問いかけ

3.「スタートボタン」で映像再開

- ③いま地震が起きたら
 - ・災害はいつ起こるかわかりません、今起きたらどうしますか？、その時への備えはできていますか？、といったメッセージを投げかける。
- ④体験への案内
 - ・フロアマップを表示(解説員による、グルーブ別の体験の順番の説明)。※標準プログラムについては、体験順の矢印表示や体験イメージ画像の表示を検討する。

[システム概要]



——— 映像信号 - - - - - 音声信号 - · - · - · - 制御信号

MEMO 四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託	REVISION _____ _____		TITLE 映像コンテンツ・ハード図			SUBJECTS 映像コンテンツ・ハード図		NO. 映-01
			DRAWN	DESIGNED	CHECKED	DATE 2025.04	SCALE -	

AV-02	地震体験
-------	------

時間（分）	スタート	種別	待機画面	ナレーション	多言語対応	音響	送出機材	モニター / PJ(投影サイズ)
約2min /地震	タッチパネル 操作(解説員)	映像 コンテンツ	あり	声の演出 (日本語)	なし (日本語のみ)	あり	HDメディア プレーヤー	PJ(8,000lm) 200 インチ スクリーン

※著作権処理費は展示工事で一括計上のため個別計上は不要

[コンテンツ概要]

- 起震装置による揺れの体験に連動する演出映像によって、強い揺れが引き起こす様々な危険を体感し、体験のリアリティを高める。
- 日常の暮らしが突然の激しい揺れに襲われ、避難を余儀なくされるまでをストーリー仕立てで演出することで、揺れの後の被害拡大を防ぐ行動につなぐ。

[コンテンツ展開]

1.能登震災を体験

家のリビングで地震に襲われた想定で、地震発生前から揺れが収まるまでを一連のストーリーで演出。地震の揺れは、能登震災を想定。

⑥ 待機画面(平穏な日常のリビングの風景)

① 緊急地震速報

- リビングの中にいる。テレビがついている。くつろいでいる家族の会話。
- 突然、テレビの画面に緊急地震速報が表示され、スマホが鳴り出す。

② 地震発生

- 震度 7 レベルの地震が発生。
- 家が激しく揺れ、食器棚などが倒れ、落下物やガラスの飛散などが起こる。家族の悲鳴が聞こえる。
- 揺れの途中で停電して暗くなる。

③ 津波警報発令

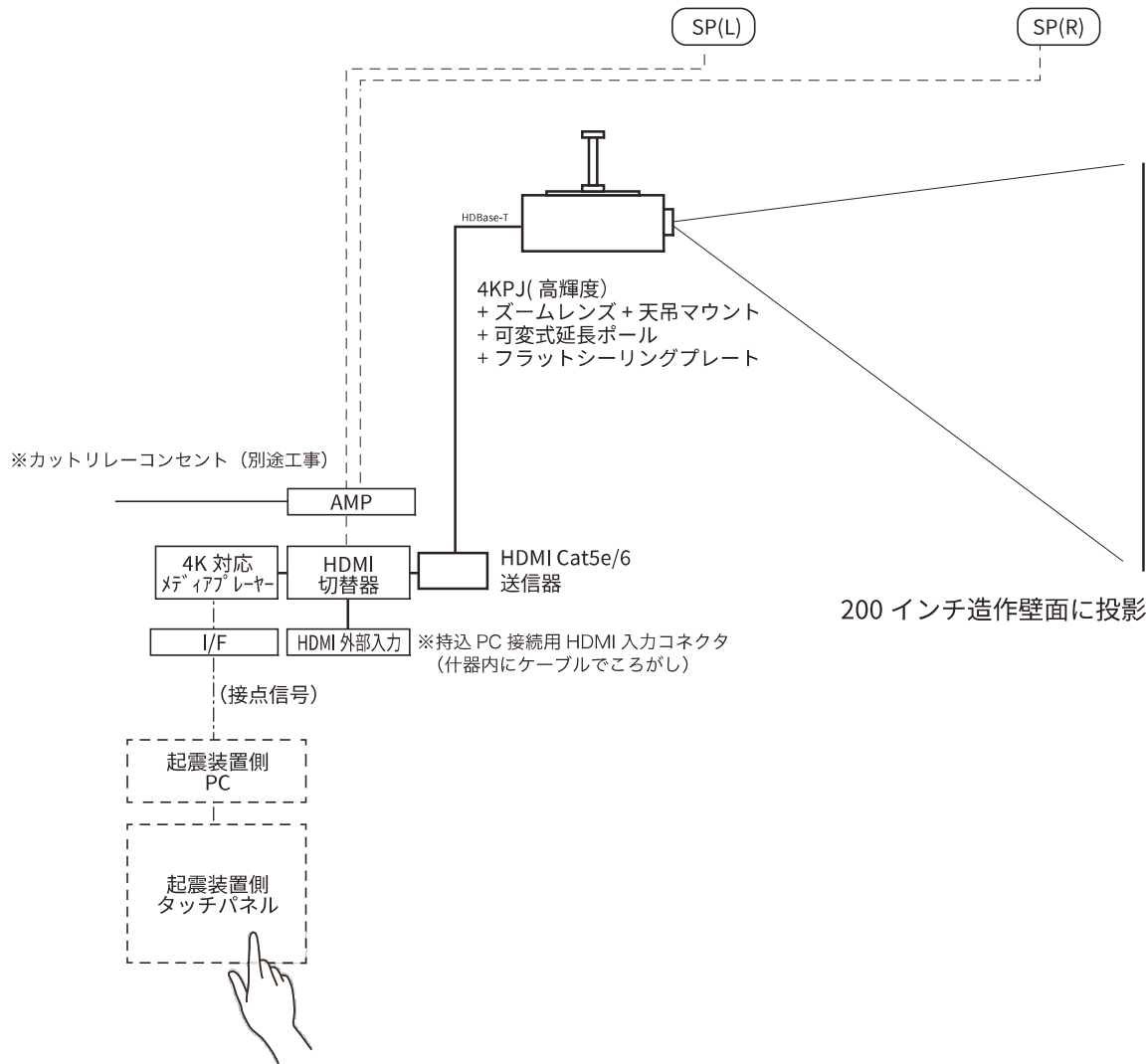
- 長い揺れがようやく収まる。安否を確認する声。
- 外から防災行政無線の音が聞こえてくる。大津波警報が発令された。
- あなたならどうする?!と投げかける。

2.他の震災を体験

過去に日本で発生した地震のなかから、9つの地震を想定。
解説員がタッチパネルから選択し体験。
スクリーン上には、地震発生年／地震名称と当時の被災資料写真数点を表示。

- ① 平成 28 年 熊本地震(本震)
② 平成 23 年 東北地方太平洋沖地震《東日本大震災》
③ 平成 16 年 新潟県中越地震
④ 平成 7 年 兵庫県南部地震《阪神・淡路大震災》
⑤ 昭和 39 年 新潟地震
⑥ 昭和 23 年 福井地震
⑦ 大正 12 年 関東地震《関東大震災》
⑧ 〇〇年 〇〇地震
⑨ 〇〇年 〇〇地震

[システム概要]



MEMO 四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託	REVISION _____ _____	TITLE 映像コンテンツ・ハード図	SUBJECTS 映像コンテンツ・ハード図			NO. 映 -02
			DRAWN	DESIGNED	CHECKED	

AV-03	タッチパネル検索
-------	----------

時間（分）	スタート	種別	待機画面	ナレーション	多言語対応	音響	送出機材	モニター / PJ(投影サイズ)
――	タッチパネル 操作(利用者)	PC コンテンツ	あり	――	なし (日本語のみ)	なし	デスクトップ PC	55 インチ タッチパネル モニター

※インターネット回線は発注者が提供。但し、利用場所までのケーブルは受注者が敷設。

※著作権処理費は展示工事で一括計上のため個別計上は不要

[コンテンツ概要]

- ・ハザードマップを表示して、自分の住む地域の災害リスクを知る。

[コンテンツ展開]

1. インターネットを介した情報提供(カスタムブラウザによる表示)

コンテンツA:「シームレスデジタル防災マップ」

- ・富山県
- ・浸水・氾濫、津波、土砂災害、雪崩、火山などのハザードマップ
- ・指定避難所などの避難情報
- ・<https://publicsite.tdcp.pref.toyama.jp/panel/1708662557817>

コンテンツB:「重ねるハザードマップ」

- ・国土交通省国土地理院
- ・洪水・内水、土砂災害、津波についてのハザードマップ
- ・<https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/maps/index.html?ll=36.695298,137.211342&z=14&base=pale&vs=c1j0l0u0t0h0z0>

コンテンツC:「液状化しやすさマップ」

- ・国土交通省北陸地方整備局
- ・液状化しやすさレベルの地図表示
- ・<https://www.hrr.mlit.go.jp/ekijoka/map/next.html>

<カスタムブラウザ仕様>

- ・ホワイトリストによるアクセス制限
- ・別ウィンドウの抑制など、指定コンテンツ以外の閲覧制限
- ・一定時間放置された場合は、メニュー画面に自動的に遷移

2. 簡易デジタルアーカイブによる画像・動画検索と閲覧

コンテンツD: 津波被害画像表示

- ・能登半島地震等の被害写真(動画)を検索表示

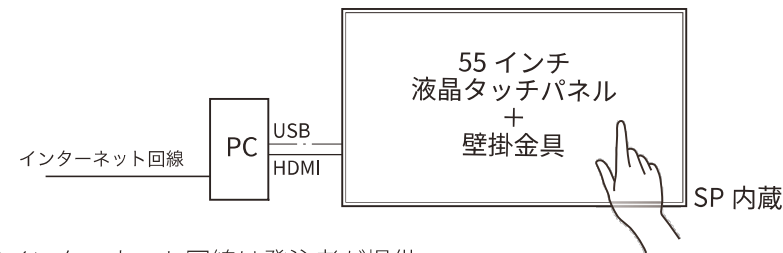
コンテンツE: 液状化被害画像

- ・能登半島地震等の被害写真(動画)を検索表示

<簡易デジタルアーカイブ仕様>

- ・画像や動画をフォルダ単位で管理。管理者による追加更新を可能とする。
 - ・指定フォルダへの画像や動画をコピーすると、選択用メニュー画面に自動追加
- ※登録枚数が増えた場合、地域や災害別のフォルダとメニューは追加生成可能とする

[システム概要]



※インターネット回線は発注者が提供。

但し、1 階事務室から利用場所までのケーブルは受注者が敷設。

MEMO

四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託

REVISION

TITLE

映像コンテンツ・ハード図

DRAWN

DESIGNED

CHECKED

SUBJECTS

映像コンテンツ・ハード図

DATE

2025.04

SCALE

-

NO.

映 -03

——— 映像信号 - - - - - 音声信号 - - - - - 制御信号

AV-04	シアター（VR）
-------	----------

時間（分）	スタート	種別	待機画面	ナレーション	多言語対応	音響	送出機材	モニター/ PJ(投影サイズ)
約2min × 2 本	タブレット 操作(解説員)	映像 コンテンツ (360°)	あり	声の演出 (日本語)	なし (日本語のみ)	あり	VRゴーグル + メディア プレーヤー	スマート フォン

※VR ゴーグルで視聴するコンテンツは両眼視差がないものとする。

※著作権処理費は展示工事で一括計上のため個別計上は不要

[コンテンツ概要]

- ・VR ゴーグルで災害現場にいるかのようなリアリティある映像を視聴することで、災害の恐ろしさを体感し、災害時の適切な行動の大切さを実感する。

[コンテンツ展開]

映像の内容

コンテンツA：地震後の津波からの避難

- 警報発令から、津波が迫る中、高台に逃げていく。迫力ある映像で津波の恐ろしさを体感する。

コンテンツ B：豪雨による浸水に見舞われ垂直避難

- ・豪雨の中、避難のタイミングが遅れ、自宅にこもるも、河川氾濫による浸水に見舞われ、九死に一生を得る。

【映像構成(映像A)】

①大津波警報

- ・海辺を散策している時、地震が発生。長く続く揺れ。
- ・防災行政無線からサイレンが聞こえ、大津波警報が発令されたことが自動放送される。
- ・携帯にもJアラートから緊急メールが届く。

②海から離れる

- ・危険を感じ、海から離れて、市街地の方へ逃げる。まわりの人も逃げ始める。
- ・振り返ると、遠くの防波堤でしぶきが上がる様子が見える。
- ・港の方から避難してきた車が通っていく。市街地に向かう道路が渋滞を始める。

③高い場所に逃げる

- ・背後から「急いで逃げろ！」と声がする。海から白波が迫ってくる。
- ・小高いところにある学校のグラウンドに着く。港の岸壁に津波が到達して、車が流されている様子が見える。
- ・港の横を流れる川を津波が遡上。堤防を越えた水が渋滞している車列を押し流す。

【映像構成(映像B)】

①大雨が続き避難所をめざす

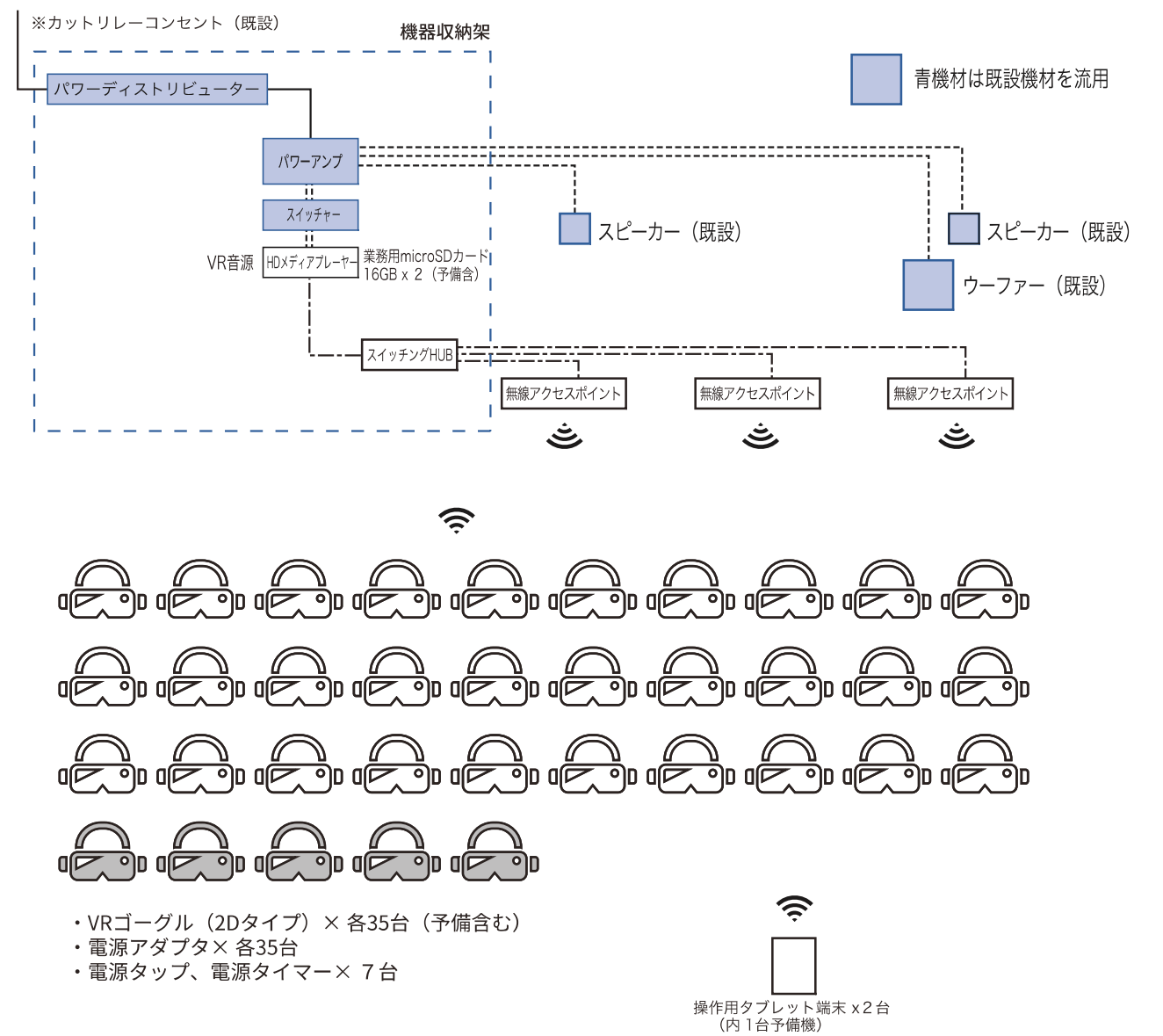
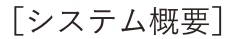
- ・郊外の住宅街にある住宅。田畑も残るのどかな地域。
- ・梅雨前線が停滞し、ここ数日大雨が続いている。テレビから富山県に線状降水帯がかかっていて大雨警報が出ていると伝えている。不安がる家族。
- ・気象庁から「記録的短時間大雨情報」が出された。聞いたことのない情報に不安が増す。続けて市役所から「避難指示」が出され、家族で避難所に向かうことに。
- ・準備に時間がかかったが身支度を整え、外に出る。何とか歩ける。

②避難が難しく一旦家に戻る

- ・途中、マンホールから水が噴き出している。用水路にかかる橋まで来たところ、水があふれて道路に流れてきて進めなくなる。
- ・避難をあきらめ、一旦家に戻る。

③床上まで浸水するも九死に一生を得る

- 家に帰ってはっとしたのもつかぬ間、停電して薄暗くなった家。音がする方を懐中電灯で照らしてみると、玄関から浸水して居間まで水が入ってきている。
- 身の危険を感じて二階に避難する。外から異音がする。
- 窓から外を見ると、車が水没し、泥水が道を流れている。家に何かが当たりきしむ音がする。これ以上水かさが増したらどうになってしまうのか…。



- ・VRゴーグル（2Dタイプ）× 各35台（予備含む）
- ・電源アダプタ× 各35台
- ・電源タップ、電源タイマー× 7台

操作用タブレット端末 x2 台
(内 1 台予備機)

—— 映像信号 ——— 音声信号 ——— 制御信号

MEMO 四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託	REVISION	TITLE 映像コンテンツ・ハード図			SUBJECTS 映像コンテンツ・ハード図		NO. 映-04
		DRAWN	DESIGNED	CHECKED	DATE 2025.04	SCALE -	

AV-05	○× クイズコーナー
-------	------------

時間（分）	スタート	種別	待機画面	ナレーション	多言語対応	音響	送出機材	モニター / PJ (投影サイズ)
約 5 min	スイッチ スタート (来館者操作)	映像 コンテンツ	あり	声の演出 (日本語)	なし (日本語のみ)	あり	HDメディア プレーヤー	PJ(8,000lm) 215 インチ 相当壁面投影

※著作権処理費は展示工事で一括計上のため個別計上は不要

[コンテンツ概要]

- ・災害時、または発災前のシチュエーションを再現し、クイズを通して自分の取るべき行動を考える。
- ・災害につながる多様な状況と、その対処方法・ヒントを提供することで、どこにでもある災害リスクや、自分で判断する重要性を実感する。
- ・出題するクイズは全 15 問を作成。1 回の体験あたり、その中から 3 問を出題する。

[コンテンツ展開]

①体験案内

- ・体験の参加方法、回答方法などを伝える。
- ・スタートまでカウントダウン。

②-1 設問

- ・映像を大きく展開し、災害場面に包まれるような状況で設問が出題される。時間制限などを設け緊張感を演出。

②-2 回答

- ・来館者は設問に対して、正しい対処行動と考えるゾーンに移動する。一定時間後、正解が表示される。

②-3 解説

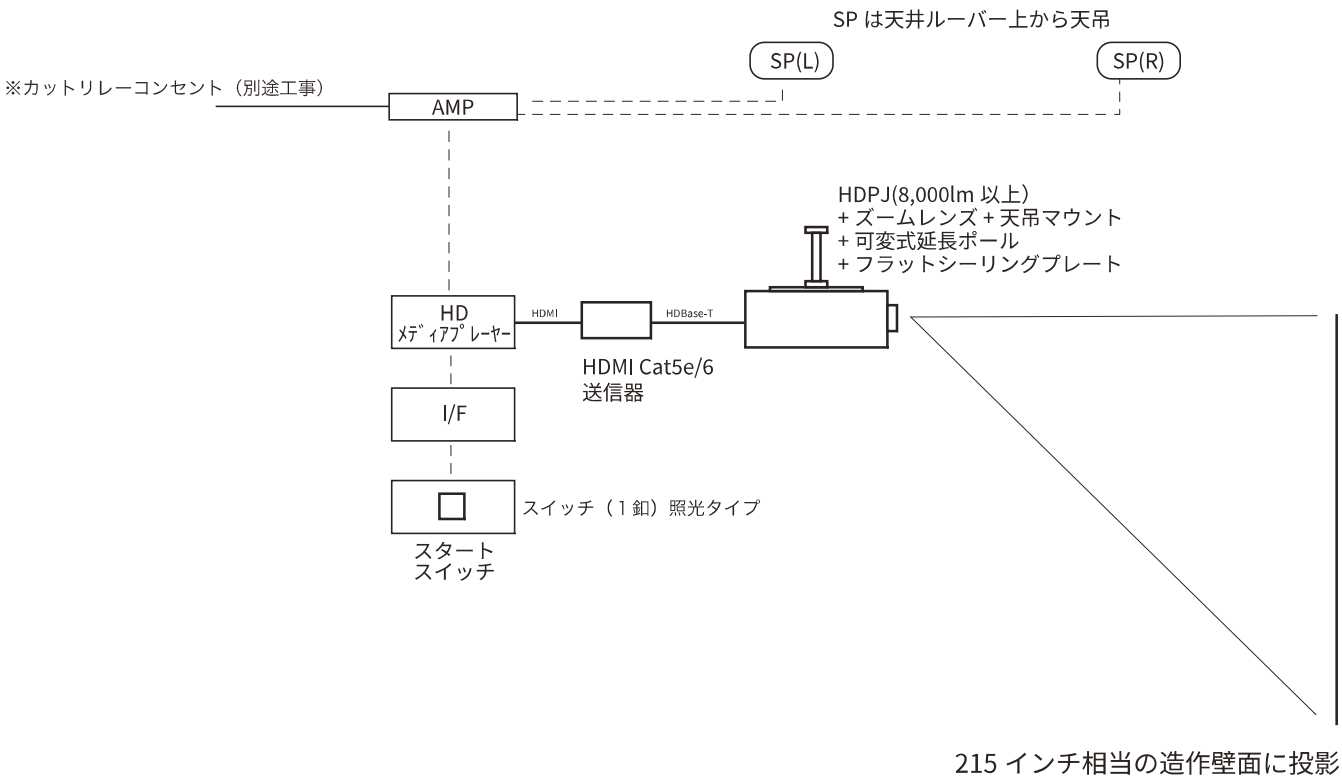
- ・災害につながるタイミングや見落とし、思い込みなど、防災のポイントを提示し、納得と実感につなげる。

③まとめ

- ・正しい情報を得て、正しく行動することの大切さを伝えて、まとめとする。

× 3 回繰り返し

[システム概要]



MEMO 四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託	REVISION _____ _____		TITLE 映像コンテンツ・ハード図			SUBJECTS 映像コンテンツ・ハード図		NO. 映 -05
			DRAWN	DESIGNED	CHECKED	DATE 2025.04	SCALE —	

AV-06	シアター（プロジェクター機器更新）
-------	-------------------

時間（分）	スタート	種別	待機画面	ナレーション	多言語対応	音響	送出機材	モニター / PJ(投影サイズ)
----	----	----	----	----	----	----	----	----

[概要]

- ・現在使用中の天吊型プロジェクター3台の機器更新（ハードウェア更新のみ）

[システム概要]（交換する機材）

- ・メディアプレーヤー（BrightSign）
- ・microSD カード
- ・映像送信器・受信器
- ・レーザープロジェクター／レンズ

※上記以外の音響機器は既存品を継続利用

AV-07	サイネージ機器
-------	---------

時間（分）	スタート	種別	待機画面	ナレーション	多言語対応	音響	送出機材	モニター / PJ(投影サイズ)
----	----	----	----	----	----	----	----	----

[概要]

- ・現在1階のシンボル映像で使用中の液晶モニターの内1台を利用し、簡易デジタルサイネージ機器として活用する。

[システム概要]（追加整備する機材）

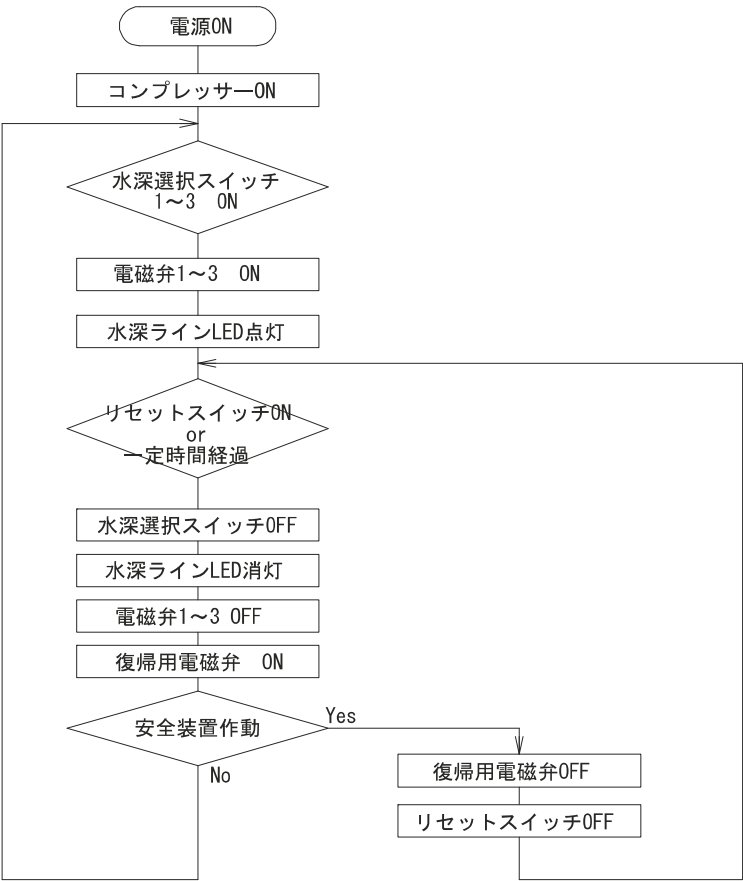
- ・液晶モニター用ディスプレイスタンド
- ・USB メモリ
- ・USB 延長ケーブル（2m）
- ・4K 対応 メディアプレーヤー
 - ※メディアプレーヤーは簡易型となり、手動による起動・終了が必要となります。

水圧ドア体験装置

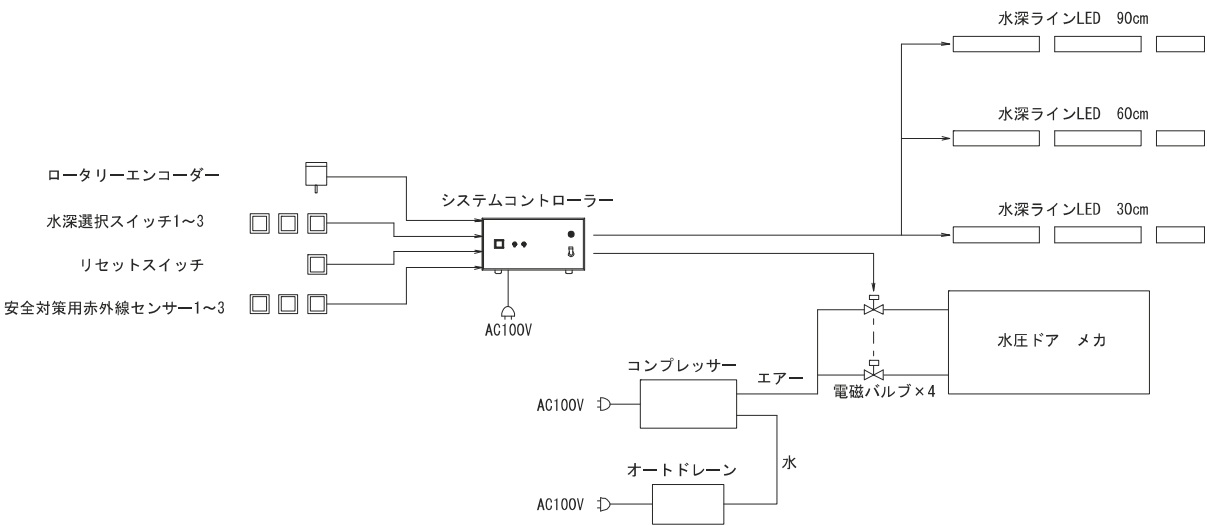
システム概要

水圧体験車に乗る込み、水深レベルを選択することにより車のドアが開きにくくなる

動作概要



システム構成



機器リスト

番号	品 名	メーカー	型 番	数量	消費電力VA	備考
1	システムコントローラー	Ai-R	特注品	1	300	PCL制御
2	水深選択スイッチ	IDEC	特注品		(3)	
3	リセットスイッチ	IDEC	特注品		(1)	
4	水深ラインLED	APジャパン	特注品		(20)	全長3000mm
5	電磁バルブ	SMC	特注品		(20)	
6	電磁バルブ	SMC	特注品		(7)	
7	コンプレッサー	日立	特注品		1700	
8	ロータリーエンコーダー	オムロン	特注品		(1)	
9	安全対策用赤外線センサー	キーエンス	特注品		(3)	
10	オートドレーン	日立	特注品		100	

MEMO

四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託

REVISION

TITLE

演出システム図

SUBJECTS

演出システム図

NO.

演-01

DRAWN

DESIGNED

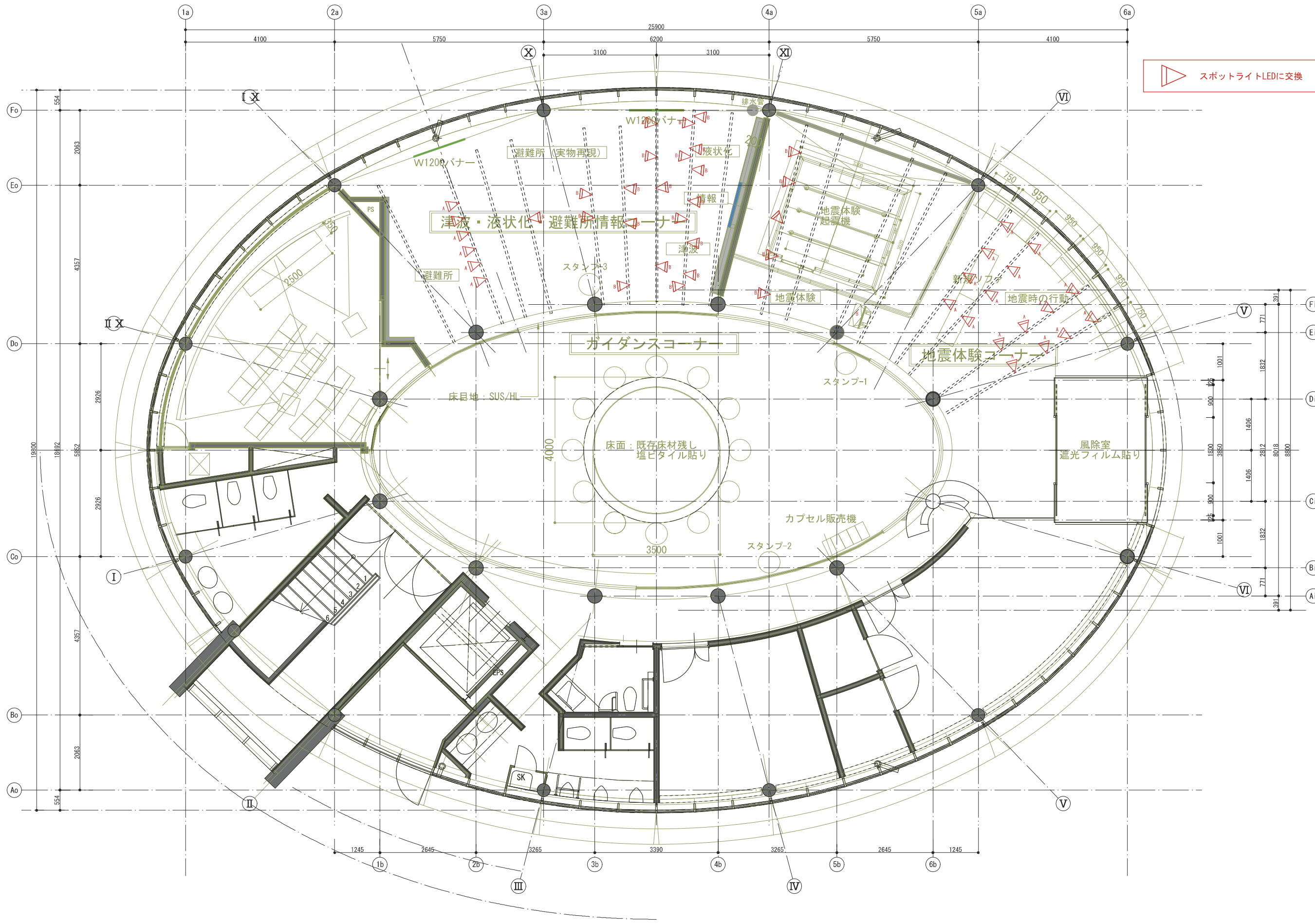
CHECKED

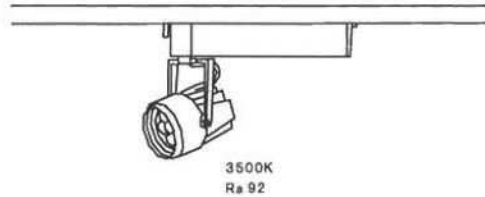
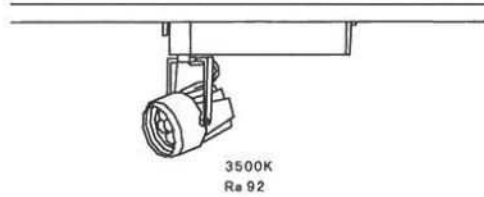
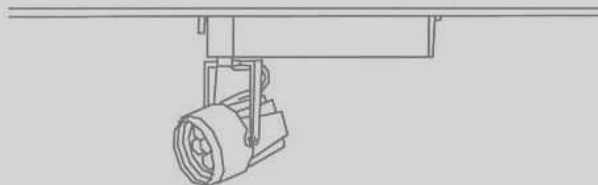
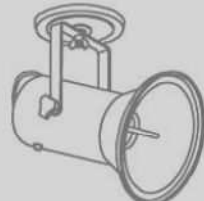
DATE

2025. 04

SCALE

-



A		LED14W SP (中角)		B		LED14W SP (広角)		C		LED24. 3W SP	
60台				25台				4台			
既存スポットライトA (中角SP) 同等品				既存スポットライトB (広角SP) 同等品							
											
3500K Ra 92				3500K Ra 92				3500K Ra 92			
パナソニック電工 NNN02002WLE1				パナソニック電工 NNN02003WLE1				パナソニック電工 NNN03614WLE1			
D		LED17. 5W ダウンライト		E		LED17. 5W ダウンライト		F		ハロゲン200W 炎エフェクト	
10台				6台				1台			
								既存スポットライトF(炎エフェクト) 同等品 2Fの操作卓でON・OFFの回路を追加			
											
パナソニック電工 NNN21116K				パナソニック電工 NDNN72603				日本応用光学 FPC-200W・FPC-033			
防湿型・防凝型											
G		ストロボライト		D		LED誘導灯		D		40W非常灯	
1台				4台				1台			
											
オーデリック OE031065				パナソニック電工 FA10302				パナソニック電工 LB94501			

MEMO

四季防災館 展示リニューアル基本設計業務委託

REVISION			TITLE			SUBJECTS			NO.
_____ _____			電気図			電気図			電-03
DRAWN		DESIGNED	CHECKED		DATE	SCALE			
					2025. 04	-			

名称	摘要	数量	単位
9 全館共通			
1階			
起震装置オーバーホール			
ACサーボモータ		6.0	式
サーボアンプ		6.0	式
モーションコントローラ内部の電子部品	CPU基板、モーター制御用基板、スイッチング電源	1.0	式
15インチタッチパネルモニタ		1.0	台
FA用小型PC		1.0	台
非常停止スイッチ・キースイッチ・光電センサ		1.0	式
補助部品		1.0	式
起震装置地震データの更新			
地震データの編集及びファームウェアの修正		1.0	式
操作プログラムの修正		1.0	式
現地インストール及びシステム調整作業		1.0	式
2階			
消火体験メンテナンス			
PC	同等品 EPSON JA998	1.0	台
上記手数料		1.0	式
保守用ディスプレイ	既存品使用	1.0	台
レーザープロジェクター	同等品 EPSON EB-L210SW	1.0	台
上記手数料		1.0	式
ネットワークカメラ	同等品 Canon VB-S920F	1.0	台

名称	摘要	数量	単位
PoE給電HUB	同等品 サンワサプライ LAN-GIHINJ2	1.0	台
入出力ボード	同等品 Contec DIO-1616L-LPE	1.0	枚
専用ケーブル	同等品 Contec PCE50/37PS-0.5P	1.0	本
プロジェクター台		1.0	式

名称	摘要	数量	単位
SWインターフェイス		1.0	台
上記プログラム費		1.0	式
ケーブル機材・消耗品費		1.0	式
システム設計費		1.0	式
消火判定プログラム制作費		1.0	式
画像再生プログラム制作費		1.0	式
システムプログラム費		1.0	式
デバック費		1.0	式
消火器 追加納品			
消火器		10.0	台
風雨体験・流水体験 表示器更新			
7セグメント表示器	風雨体験用	5.0	台
7セグメント表示器	流水体験用	2.0	台
機材消耗品費		1.0	式
風雨体験メンテナンス			
(軸流送風機オーバーホール)			
ファン吹出口取外し・取付復旧		1.0	式
ファン吹出側短管鉄格子切断復旧(溶接作業)		1.0	式
ADH型(固定可変式)ファンオーバーホール		1.0	式
モータ軸受		2.0	個
(ファン用インバータ交換)			
インバータ(AC200V・45Kw用)		1.0	台

名称	摘要	数量	単位
流水体験メンテナンス			
メカニカルシール FH-150		1.0	個
Oリング G-130		1.0	本
グランドパッキン 25X41X8		4.0	本
試運転調整費		1.0	式

地震体験機 地震データ

No.	地 震 名	実行時間	観測点名	観測日時	説 明
1	令和 6 年 能登半島地震	40sec	石川県 輪島市	2024 年（令和 6 年） 1 月 1 日 16 時 10 分	震源は能登半島 震度 7、マグニチュード 7.6
2	平成 30 年 北海道胆振東部地震	30sec	北海道 厚真町	2018 年（平成 30 年） 9 月 6 日 3 時 7 分	震源は胆振地方中東部 震度 7、マグニチュード 6.7
3	平成 28 年 熊本地震（本震）	35sec	熊本県 益城町	2016 年（平成 28 年） 4 月 16 日 1 時 25 分	震源は熊本地方 震度 7、マグニチュード 7.3
4	平成 23 年 東北地方太平洋沖地震 «東日本大震災»	90sec	宮城県 涌谷町新町	2011 年（平成 23 年） 3 月 11 日 14 時 46 分	震源は太平洋三陸沖 震度 7、マグニチュード 9.0
5	平成 16 年 新潟県中越地震	35sec	新潟県 川口町川口	2004 年（平成 16 年） 10 月 23 日 17 時 56 分	震源は新潟県中越地方 震度 7、マグニチュード 6.8
6	平成 7 年 兵庫県南部地震 «阪神・淡路大震災»	20sec	兵庫県神戸市 中央区中山手	1995 年（平成 7 年） 1 月 17 日 5 時 46 分	震源は淡路島 震度 7、マグニチュード 7.3
7	昭和 39 年 新潟地震	45sec	新潟地方気象台	1964 年（昭和 39 年） 6 月 16 日 13 時 1 分	震源は新潟県粟島南方沖 震度 5、マグニチュード 7.5
8	昭和 23 年 福井地震	25sec	福井地方気象台	1948 年（昭和 23 年） 6 月 28 日 13 時 13 分	震源は福井県坂井市 震度 6、マグニチュード 7.1
9	大正 12 年 関東地震 «関東大震災»	45sec	岐阜測候所 (現岐阜地方気象台)	1923 年（大正 12 年） 9 月 1 日 11 時 58 分	震源は神奈川県西部。 震度 6、マグニチュード 7.9